

農林漁業就業・ふるさと情報

Free
Magazine
無料

2007
秋号 No. 07
<http://web-iju.info/>

イジュウインフォ

IJU
info

特集1
えひめで磨く!
新・農業人へのワザ



特集2
東北地方の
IJUライフ

無料送付登録



web-iju.info/i

ここから始まるI・J・Uターン

たまむら・とよお

エッセイスト・画家・農園主・ワイナリーオーナー。
1945年東京生まれ。画家玉村方久斗の末子。1971年
東京大学仏文科を卒業。通訳、翻訳業を経て、1977年
に『バリ 旅の雑学ノート』を刊行。以後、旅と都市、
料理、食文化、田舎暮らし、ライフスタイル論など幅
広い分野で執筆。1983年より8年間、軽井沢町で生
活。1991年より長野県小県郡東部町（現・長野県東御
市）在住。ワイン用ブドウ、ハーブ、西洋野菜を栽培
する農園ヴィラデストを経営。2004年には「ヴィラデ
スト ガーデンファーム アンド ワイナリー」を開く。
2005年フランス共和国農事功労章受章。最新刊は「田
舎暮らしができる人 できない人」（集英社新書）。



田舎暮らしに期待する

玉村 豊男

夏は野菜の季節だ。

信州の標高850メートルの高原にある私の農園では、6月の後半から9月の終り頃までがハーブと野菜の最盛期、10月がワイン用ブドウの収穫期である。原則無農薬の露地栽培だから、ズッキーニ、トマト、ナス、ピーマン、タマネギ、ニンニク。ラタトゥイユに必要な材料がすべて自家産でまかなえるのは夏休みの1カ月間だけ。だが、その短い期間の自然の恵みはなにものにも換えがたい最高の美味である。

私たちがこの土地に引越して農業をはじめたから、今年で16年になる。最初はまったくの未経験で、荒れていた土地の開墾からスタートして収穫物が出荷できるようになるま

では、夫婦ふたりで腰が痛くなるまで働いた。

4年前に開いたワイナリーのレストランに見えるお客さんは、整然とした区画にさまざまな花が咲くフラワーガーデンや雑草がきれいに刈られたブドウ畑を見て、

「ここまでにするのは、さぞ大変だったでしょう」

とってくれるが、不思議に私たち自身には大変だったという感覚がない。たしかに素人が突然3500坪の農地を耕しはじめることじたいが無謀といえは無謀で、背よりも高い草を刈ったり重い石を拾ったりする開墾作業も、広い畑の世話や際限のない雑草取りも、いまその頃の写真を見ると、

「若かったなあ」

とわれながら思うけれども、辛かったとか



しんどかったという思い出はなにひとつ残っていないのである。それよりも、未知の経験が面白くて、へえ、加工用トマトはこうやって収穫するのか、ズッキーニはこんなふう

に生長するのかと、子供が自然を観察するような興味に引きずられ、そのうえでできた野菜がこれまで世界中のどこで食べた野菜よりもおいしいという実益にも魅せられて、あつというまに16年が経ってしまった。もう都会では暮らせないから、死ぬまでこの土地で野菜をつくり続けることになるだろう。東京生まれの東京育ち、40歳になるまでは田舎暮らしをするようになるとは考えたこともなく、もちろん自分たちが農業にかかわるなど想像したことすらなかった夫婦が、変われば変わるものだと思う。

最近、団塊の世代を中心に田舎暮らしを考

える人が多いということで、私もよく体験談が聞きたいと引つ張り出されるため、田舎暮らしに関する基本的な問題が一読してわかるように『田舎暮らしができる人できない人』という本を最近上梓したのだが、団塊の世代に限らず、私の周辺でも田舎で農業をはじめたいという人が確実に増えてきている。

なった数年目から若いスタッフを雇うようになったのだが、そのうちのひとりが最近、専業農家として独立を果たした。イケメンの湘南ボーイなのだが小さい頃から植物が好きで、10年ほど農園のスタッフとして働くあいだに地元の人たちの信用も得て、去年から畑を借りて独力で営農を開始したのである。

ほかに、東京で勤めていた会社を辞め、結婚した相手の実家に引越してきて農業をはじめた青年や、将来はふたりに農業をやりたいが当面は資金がないので奥さんだけがうちの事務所で働く、といったケースなど、私のまわりには、農業志望の若者がたくさんいる。また、ワイナリーを持つのが夢でまずドウの栽培からはじめる、という青年や中年もしだいに増えてきて、農業離れというけれど、意外にそうでもないのではないかと私は思いはじめている。だって、こんなに楽しくてやりがいのある仕事なのだから、苦労は買ってでもするという頼もしい人間がかならずいるはずなのだ。

10数年前に較べると、高齢化が進行する農村の集落は外から人間が来ることを歓迎する気分になっていく。よそ者を排斥する元気はなく、都会からの移住者は村の活性化のために必要だ、と多くの人が思うようにな



った。また、インターネットの普及は情報の格差を一気になくし、田舎に住んでいても都会とそう変わりなく買い物や仕事ができるようになってもいる。田舎暮らしを取り巻く環境は大きく変化しているのである。

私は、団塊の世代の定年問題を契機に、もっと幅広い年齢層の人が、大挙して都会から田舎に移住してくれることを望んでいる。そのことによって、失われつつある田舎の自然が再生し、使われなくなった農地が復活し、日本の古い村落意識に都会の風を吹き込むことでより風通しのよいコミュニティが生まれることを期待して。

とりあえずこの夏は、田舎のきれいな空気の中で、採れたての野菜を味わってみることははじめてはどうだろうか。

読者プレゼントコーナー

抽選で5名の方に岩手県白沢の味「南部せんべい」をプレゼント！かわいい缶入りです。詳しくは78ページをご覧ください。

Diver of life — 探求者 — 田舎暮らしに期待する 玉村豊男

47 農園歳時記 第5回 すべてをやるところにチョッピリ価値がある 中村顕治

03 特集1 愛媛で磨く！ 新・農業人へのワザ

04 研修受け入れ23人の実績 愛媛県久万高原町 久万農業公園農業研修センター

06 先進農家で学ぶ研修スタイル 有機JAS認証かんきつ農園 (有) 三皿園

08 イチゴなど果菜の研修生募集中 愛媛県北宇和郡鬼北町 鬼北農業支援センター・鬼北町農業公社

09 愛媛県内における研修受け入れ情報

10 農林漁業へのファーストステップ

10 農業を始めるための道筋がわかる 就農準備校 準備校がまさに就農への入り口だった 千葉県山武市 田中秀門さん

12 基礎知識をしっかりと身に付ける 林業就業支援講習

14 2007年度より新規スタート 漁業チャレンジ準備講習会

17 特集2 東北地方のIJUライフ

18 型にはまらないこだわりの酪農 岩手県一戸町 三谷剛史さん 雅子さん

20 就農7年目が農家のスタートライン 秋田県北秋田市 土田政広さん 紀子さん

21 モノづくりの難しさを噛みしめ、収益的独立目指す 山形県飯豊町 厚母稔さん

22 気持ちを込めた分だけ作物は返してくれる 福島県会津美里町 (有) グリーンサービス 安永知広さん

23 林業への転身でライフスタイルも一変 宮城県仙台市 宮城中央森林組合 須田勝久さん

24 海の可能性は未知数。だから、やりがいあり 宮城県石巻市 後藤草さん 千恵さん

25 世界遺産の守人 青森県鯉ヶ沢町 ミニ白神くろもり館 福間功さん

26 東北地方I・J・Uターン情報

29 農林漁業・ふるさと情報

30 大規模農場を動かす新進女性農業経営者 滋賀県湖北町 (有) ニューファームSAYURI 田中小有里さん

32 農業のイメージを変える仕事したい 茨城県東海村 (株) 照沼勝一商店 廣瀬将考さん 表紙の人

33 営業のプロとして攻めの姿勢を貫く 広島県東広島市 (有) 有田園芸農場 麓久志さん

34 トップランナーの視野【農業】 長野県東御市 (有) 永井農場 専務取締役 永井進さん

50 林業ビジネスモデルを考える日々 徳島県美波町 日和佐森林組合 正木肇さん

52 トップランナーの視野【林業】 長野県飯田市 飯伊森林組合 遠藤寛子さん

54 “いつかいけすを持つ” 夢に向かって修業中 鹿児島県東町 長元水産 富室明登さん

56 トップランナーの視野【漁業】 北海道留萌市・小平町 新星マリン漁業協同組合専務理事 小河守さん

58 寄木細工はコミュニケーションツール 神奈川県箱根町 (株) 金指ウッドクラフト 清水勇太さん

60 「農」のある暮らしをサポート 愛知県豊田市 農ライフ創生センター

- 36 新・農業人フェア'07の歩き方
- 46 データで見る新規就農①
- 48 サイエンス◎実は、緑茶と紅茶、同じ木の葉!?
- 49 馬産地だより
- 62 サイエンス◎ミツバチ君の情報伝達
- 63 ご存じですか? “農業” インターンシップ
- 64 Voice iju info 読者コーナー
- 66 データで見る新規就農②
- 68 農業就業ガイド
- 70 林業就業ガイド/森林作業のサイクル
- 73 漁業就業ガイド/代表的な漁法
- 76 I・J・Uターンガイド
- 78 iju infoサポーター

広告

- 16 全国森林組合連合会
- 27 岩手県農業公社
- 28 青い森農林振興公社・青森県担い手育成総合支援協議会
- 38 中国地方各県農業会議
- 39 しまね農業振興公社
- 40 宮崎県農業法人経営者協会
- 41 やまぐち農林振興公社・山口県森林企画課
- 42 鳥取県立農業大学校/長野県飯田市
- 43 熊本県阿蘇市/阿蘇エコファーマーズセンター
- 44 高知県立農業大学校/北海道幕別町
- 45 日本農業実践学園/宮崎県新規就農相談センター

読者コーナー
お便り大募集!
詳しくは64ページを
ご覧ください。

特集 1

えひめで磨く! 新・農業人へのワザ

農業に縁のない人や都会暮らしの人たちが、「農業を始めたい」、「定年帰農したい」という希望を実現するには、技術や経営のノウハウなどを身につけることが必要になる。

しかし、「どこで、どんな農業をするために、どのような技術を身につけるか」というと頭を悩ませるのではないだろうか。自然に恵まれ、温暖で穏やかな瀬戸内・愛媛県は、就農・帰農を考えている人を積極的にサポートしている。

新・農業人となるために必要な技術やノウハウの習得などをサポートする愛媛県、市町独自の公的な研修制度を紹介する。



研修受け入れ 23人の実績

愛媛県・久万高原町
久万農業公園農業研修センター



農業公園農業研修センターには、実習温室6棟などがある

愛媛県の久万高原町に、久万農業公園農業研修センターがある。新規就農希望者の研修受け入れ実績は、1998年度からの10年間で23人に上る。そのうち、16人が定住している（表参照）。新規就農者の高い定着率で定評のある久万高原町の農業研修制度、その秘密を探ってみよう。

07年度2人の女性が研修中

07年4月からは、東京出身の2人の女性が農業研修中だ。



トマト苗を世話する研修生・土屋ゆきさん

そのうちの1人、土屋ゆきさん（38歳）は、東京都生まれの茨城県育ち。東京農業大学の農芸化学学科を卒業した後、肥料会社に就職した。名古屋市の会社に勤務中は、緑化関係のバーク堆肥を取り扱い、取引のある農業生産者と直接話をする機会が多かったという。そうしたなかで、農業をやりたいという思いがつのつていった。

農業法人への就職も考えながら、06年5月、7月と2度、「新・農業人フェア」に参加した。求人を出している農業法人の面接を受けたが、農業法人も会社組織、

会社勤めの経験から、会社組織のなかに入ると自分の得意分野に割り振られてしまふと感じた。そこで「自分で農業経営をして、最初から最後まで農作物の栽培にかかわりたい」と思い、イターン・自営の農業経営開始を目標と定めた。

06年7月のフェアで、愛媛県のブースを訪れた。そこで出会ったのが、久万農業公園農業研修センターの松本利広主任だ。

なぜ愛媛県か……お母さんの出身地は、松山市の瀬戸内海のミカンの島。夏休みになると、お母さんの実家で過ごすのが楽しみだった。その原体験が決め手となった。

なぜ久万高原町か……すでに10期にわたって新規就農希望者の研修生を受け入れている実績があり、定着している先輩たちが大勢いたためだ。町をあげての支援体制が整っていることが、大きな魅力だった。

早速06年8月、久万高原町に10日間の農家での事前研修に訪れた。土は黒ぼく土壌。関東出身者としては、親しみがわいた。久万高原町は、林業の町でもある。木質の材料があるので、「バーク堆肥がたぐさんつくれそう」というのが第一印象だった。

「やっと体が慣れてきた」

農業研修は、07年4月から。2カ月ほど経ったところから、やっと体が慣れてきた。研修中の住まいは、農林関係者の独身寮「やまぶき荘」。朝7時25分に車で寮を出発。7時40分に実習農場に着く生

久万農業公園農業研修センターの新規就農希望者の研修受け入れ実績

受入年度	受入者数	Uターン	Iターン	リタイア	町外出身者の出身地	就農品目
1998年度	1	1				トマト
1999年度	3	2	1		愛知	花・トマト・葉物
2000年度	3		3	2	県内・兵庫・愛知	米
2001年度	3	1	2	1	県内	トマト
2002年度	4	1	3		大阪・京都・神奈川	トマト・花
2003年度	4	1	3		東京・大阪・神奈川	トマト
2004年度	1	1				トマト
2005年度	1		1		県内	トマト
2006年度	1	1				トマト
2007年度	2		2		東京	トマト研修中
計	23	8	15	3		



久万農業公園には、農業研修センターに加え、久万高原農業公社、久万高原町営農業支援センターの事務局がある

新規就農希望者へのアドバイス

農業研修センター長の高岡啓一さんは、「農業が好き」といったあこがれだけでは就農は成功しないとアドバイスする。資金準備（当初資金に500万〜600万円）や事前の勉強は必要だ。就農は、「業」を起すこと。「業」の中でもいちばん難しいのが「農業」だという。また、地域のなかにとけ込むこと。田舎は人のつながりを大事にするところだ、と。

楽しみは、友だちとのメール。トマト栽培風景の写メールも送る。現在、農業公園内の市民農園を1区画借りて夏野菜、ズッキーニやバジルなどを栽培中。「大きく育ったら、夏野菜カレーができる」とメールしたばかりだ。

5月下旬に少し体調を崩した。2日休んだら、トマトの変化に気付いた。「現場で生きているトマトを毎日見ることが勉強」という。葉先が軽くねじれるくらいが、ちょうどいい水分量というが、実際の病気を見たことがないので、少し慌てることもある。

農業実習は、温室内でのトマトの養液土耕栽培。土づくり、苗づくりから定植、肥培管理、収穫、出荷販売まで一連の作業を行う。トマト苗に水をやるときは、1から10までゆっくり数えるようにしているが、「せっかちな性格だから、数えるのがだんだん早くなる」と土屋さん。トマト苗のわき芽をとるのは苦ではないが、高い所からトマト苗をつり下げるのはどうも苦手とか。

久万高原町のサポート体制

久万高原町は、新規就農希望者に対する農業研修後、就農時の農地の仲介、就農1年目の補助金助成、専属の農業アドバイザーをマンツーマンで配置するなど、研修後のアフターケアと支援体制を整えている。

農業研修はおおむね2年間。トマト、イチゴの養液栽培や花壇苗生産など施設園芸が中心で、生産実習と合わせて、パソコン、農業簿記など経営知識も習得できる。トマト実習は、ロックウール栽培とスギ皮100%の新素材培地による養

土屋ゆきさんは、「やる気が大切」「お金にはシビアに」「田舎暮らしがメインか、農業での収入確保がメインか、目的をはっきりさせること」と説く。

研修後は、東京で出版社を自営するお父さんといっしょに就農する予定だ。



「新・農業人フェア」での久万高原町との出会いによって、土屋さんの農業研修への道が開けた（写真右：高岡センター長）

<久万高原農業公園研修センター研修制度>

- ①久万高原町内で新規就農したい者に対して、「久万高原農業公園研修センター」での農業研修機会を提供し、農業の担い手として育成する対象
 - ・おおむね50歳以下の者
 - ・終了後に、久万高原町で就農すること
 - ・研修期間はおおむね2年
 - ・研修品目については施設園芸による、トマト、イチゴ、花き、ホウレンソウの栽培を志す者・ある程度の就農準備金を有する者
 - ②研修補助金※
 - ・町内出身者 12万円/月
 - ・Iターン者 15万円/月
 - ③農業機械・施設整備補助金※
 - ・就農時の機械購入、施設整備のリースを受ける際、300万円もしくは事業費の60%のいずれか低い額を補助金として交付
 - ④新規就農初年度的生活費貸与（無利子）
 - ・月額本人15万円（以内）、配偶者5万円（以内）、第一子3万円（以内）、第二子2万円（以内）
 - ⑤住居対策
 - ・Iターン者でかつ独身者であれば、後継者独身寮を斡旋
- ※注：ただし、就農開始後5年未満に営農活動を中止した場合は、返還の必要あり
- 【問い合わせ先】
 (社) 久万高原農業公社
 〒791-1212 上浮穴郡久万高原町下畑野川甲500
 ☎ 0892 (41) 0040

液栽培。10㍓あたり収量12トンを目標に、夫婦二人をモデルケースにするなら20㍓規模の施設栽培を目指す。

研修後の新規就農者には営農支援センター指導班の集中指導、専任アドバイザーの定期巡回（総合指導）、地域別農家アドバイザーの指導、農地相談や定期懇談会など、技術・経営指導の支援を行っている。農業公社による冬季アルバイト先の紹介もある。

先進農家で学ぶ 研修スタイル

有機JAS認証かんきつ農園 有限会社三皿園 みさらえん



急斜面のかんきつ園地で、下草の草勢と樹勢を確かめる越智章太郎さん（右）と研修生の下川正代さん

愛媛県今治市の(有)三皿園は、かんきつ園全園（6・4畝）で有機JAS認証を受け、生産・販売を行っている。また、自家でのかんきつ類のジャム（マーメイド）とピールの加工をはじめ、委託加工しているジュースまで、すべて有機JAS認証を受けている。

作付けは、温州みかん2畝、晩柑類の「はるみ」2畝、デコボン0・4畝、伊予柑1・8畝、その他のかんきつ0・2畝。伊予すべて有機・無農薬の草生栽培。園地の下草は刈らず、樹下の草だけ生育の邪魔にならないよう管理している。

同園代表の越智章太郎さん（56歳）は、有機・無農薬のかんきつ栽培に転換した理由を次のように話す。

「37歳の時、突然、全身に原因不明のじんましんが出た。この時、無農薬・無化学肥料栽培への転換を考え、1994年にまず30[㍓]の園地を転換。05年に全園を有機・無農薬に転換し終えた」

転換していく考えを両親に相談すると、結論は「やってみい」だった。

越智家は、1902年（明治35年）から100年以上、温州みかん栽培をしている。章太郎さんは、その4代目だ。み

かんづくり100年の歴史のなかで、化学合成農薬・化学肥料を使った時期はここ30年間ほど。その前の70年間には、有機・無農薬のみかん栽培だった。「元に戻るだけだ」、そう思ったという。

後継者づくり目指し 研修受け入れ

ある日、一人息子の長男が「自分のやりたいことがある」と、農業を継がないことを宣言した。明治の年代からのみかん農家として栄え、67年に法人化し、ここまでやってきた。

越智さんは「一人息子が農業を継がないのなら、ほかの人間を養成しよう。農業研修生を受け入れ、人材を育てよう。幸い、園地に余裕があるから、自立経営農家の立場で、『三皿園』グループとして有機かんきつ経営を協業にしてみようかどうか。生果も加工原料果も不足しているのだから、グループとして増産に取り組めないだろうか」と考えた。

農業研修の受け入れを始めたのは、後継ぎの育成のためである。果樹農業は、新規就農者がゼロから農地などの経営資源を取得して農業経営を始めることが困難な経営タイプ。協業のパートナーとして、越智さんが無農薬・無化学肥料栽培を続けてきた園地に新規参入するシステムなら、少しは荷が軽くなる。

受け入れた研修生が自立

農業研修生の一人、吉岡秀樹さん（25歳）が昨年、自立した。園地を借り、グ



「経営に必須のパソコン技術は、若い研修生に教わっている」と越智さん（写真右）

三皿園のかんきつ・ジャム（マーメイド）は有機JAS認証食品として「安全・安心・健康」と好評（写真左）

農家出身の女性が研修中

同園が農業研修生を受け入れていることをホームページなどで知り、10日に一人ほどの割合で問い合わせがあるという。月に一人くらいが10日間の短期研修にやってくる。だが、テレビで見る農業体験と違い、実際は、暑いなかで草を管理するなどの単純労働の積み重ねがメイン。3日で音上げる人も出てくる。



ループの一員として、有機・無農薬の草生栽培でかんきつを作っている。かんきつ経営の場越智さんはいう。

下川正代さん（22歳）は、九州東海大学を卒業したばかり。実家は、熊本県玉名市で水田10畝を営んでいる。大学の主任教授が越智さんの1年先輩ということもあり、在学中からメールのやりとりをし、昨年夏には同園で短期研修を体験。今年4月から、2年間の予定で長期研修生になった。

このかんきつ園は、急な斜面にある。下草をかき分けて上り下りし、かんきつ木の木の根元の草を管理する。春草は倒すだけ。春草を刈り取ってしまうと、草勢の強い夏草が繁茂してしまうからだ。

有機かんきつ園の夢を実現するために、そうした急斜面での作業研修を、下川さんは黙々とこなしていく。

「大変だけど、がんばっていく。研修を終えたら熊本に帰り、母方の祖父母が経

経営者以上の人材は育たない

越智さんは「一般の会社でも、経営者以上の人材は育たないといわれる。後継者を育てるためには、自分自身を磨いて高めないと。勉強会や研究会といった機会には必ず出かけている」と話す。

また、「パソコンができないと、今の農業経営はできない。パソコンは、若い研修生から教わっている」と笑った。

協業経営を目指して

同園の商品の特徴として、加工している有機JAS認証のピールがある。これはチョコレートの芯やクッキーなどの原材料にする乾燥果皮。生ではなく、乾燥させる果皮を、このように手間をかけて有機農業でつくる人はほとんどいない。それだけに貴重な商品といえる。

「営業はほとんどしない。それでも、ホームページを見て、業者から一般のお客さんまで問い合わせがしきりにくる」

このように、栽培だけでなく、近年は加工業のほうも忙しい三皿園。

「園地・加工所・営業とそれぞれ責任者を配置して、研修修了者の自立も増やし、協業グループ経営を確立することが今後の目標」という越智さん。

自立経営農家のパートナーが増え、協業経営が軌道に乗る日は、そう遠くないかもしれない。

<愛媛県東予地方・自治体の支援制度>

上島町農林漁業インターン事業
 ①上島町に転入し10年以上居住する意思のある農林漁業を営もうとするおおよね50歳以下の人
 ②経営ノウハウや技術を習得するための研修期間の2年以内について、月額10万円の研修費を支給
 【問い合わせ先】
 上島町 岩城総合支所 産業建設課
 〒794-2492
 越智郡上島町岩城 1427
 ☎0897(75)2500

<県段階の農業研修制度>

先進農家での農業体験研修

●農林漁業体験ステイ事業
 実施主体：えひめ農林漁業担い手育成公社
 都市青年や学生（40歳未満）等を対象に、県内先進農林漁家等で概ね5日間から10日間の体験研修を実施している。

本格的な農業研修

●営農インターン推進事業
 実施主体：えひめ農林漁業担い手育成公社
 愛媛県内で、就農予定又は確実な方（40歳未満）を対象に実務研修を実施します。
 新規参入者対象の長期コース（1年以上2年以内）の研修には、1カ月当たり7.5万円の助成措置がある。

問い合わせ先：えひめ農林漁業担い手育成公社 ☎089(945)1542 URL <http://www1.odn.ne.jp/cek31650/>

農業の仕組みや制度を勉強

●えひめ農業入門塾（基礎コース）
 実施主体：愛媛県立農業大学校
 農業に関心のある他産業従事者等を対象に、土、日曜日を利用した就農準備のための基礎研修を実施している。

●えひめ農業入門塾（実践コース）
 実施主体：愛媛県立農業大学校
 就農を考えている方を対象に、講義及び実践的な実習を通じ、農業を行うために必要な知識や栽培技術を取得できるコースを設けている。



イチゴの栽培を研修。土耕栽培ガラス温室（約2000㎡）では、メロン、スイカ栽培の研修ができる。水稲作、

愛媛

特集 1

イチゴなど果菜の研修生募集中

愛媛県北宇和郡鬼北町
鬼北農業支援センター・鬼北町農業公社

鬼北町の農業支援センターと町農業公社は、農業研修生を募集中だ。

愛媛県の西南部にある鬼北町は、2005年1月、広見町と日吉村の合併により誕生した町である。

農業研修は、07年10月から原則、2年間。農業研修生の条件は、研修終了後、鬼北町で5年以上、農業に従事することができる満40歳未満の人。

町農業公社のガラス温室などの研修施設を利用して、実践的な農業体験研修ができる。研修内容は、施設園芸作物が中心。

その他農産物の栽培研修のほか、農業生産技術と農業経営の基礎が学べる。

研修手当この支給などで支援

研修生に対しては、研修期間の2年間、町外からのイターン者には月額15万円の研修費（手当）が支給される。

研修終了者に対して、就農時に、農業機械購入・施設建設の事業費の60%以内（限度額300万円）の補助がある。そのほか、農地のあっせん、住居情報の提供など、就農に必要な支援を受けられる。

鬼北町農業公社は、町全体の農業振興のため、①農作業の受委託、②担い手育成のための農業研修、③農業機械・施設の貸し付け、④特産品の試験研究・販売、⑤都市農村交流事業、⑥農業研究施設の活用、など多彩な活動を行っている。

とくに④特産品の試験研究は、菌床シイタケ（品種「媛王」）の試験栽培、水耕・



ガラス温室でのアールスメロンの土耕栽培

高設施設のガラス温室でのイチゴの周年栽培、土耕栽培のガラス温室でのアールスメロンの試験栽培や地這いメロン、地這いスイカ栽培などである。

新規参入の先輩たち

旧広見町には、土地付き住宅を借りて新規就農した栃木県出身のイターン者がいる。農地20アを基礎にして、ビニール温室2棟でネギなどを栽培している。就農1年目から消防団に入り、地域に溶け込んでいる。高齢化が進んでいる地域のため、「うちの農地も預かってくれ」といった話が次々と出ている。旧日吉村（現大洲市）では、定年3年前に退職し、脇川町の有機農業塾「皆農塾」で1年研修してから就農した、名古屋からのイターン者が有機農業に取り組んでいる。

鬼北町農業公社の高橋哲生事務局長は、「研修期間2年間に研修費を支給するな

<愛媛県南予地方・自治体の支援制度>

●鬼北町新規就農促進事業

①(社)鬼北町農業公社研修生募集条件

- ・40歳未満
- ・研修終了後5年以上鬼北町で農業に従事すること

②農業研修補助金

- ・町内在住者月額12万円・町内以外月額15万円

③農業機械・施設整備補助金支給

- ・事業の60%以内、もしくは300百万円のいずれか低い額

【問い合わせ先】

鬼北町産業課

〒798-1395 北宇和郡鬼北町近永800-1 ☎ 0895(45)1111

(社)鬼北町農業公社

〒798-1323 北宇和郡鬼北町岩谷352-1 ☎ 0895(30)6521

●松野町新規就農促進条例

①研修生の募集条件

- ・おおむね18歳以上～45歳未満

②研修内容

- ・水耕栽培研修 ・花苗生産研修

③支援措置

- ・研修期間2年 ・研修補助金月額12万円 ・農地等の斡旋

【問い合わせ先】

松野町 産業振興課

〒798-2192 北宇和郡松野町松丸343 ☎ 0895(42)1111

(株)松野町農林公社

〒798-2111 北宇和郡松野町吉野222 ☎ 0895(42)2103

えひめ ふるさと農村体験ツアー 今秋開催予定!!

愛媛県では、農業への就業を希望する団塊の世代等の方を対象に、農業体験や地元の農家との交流会を行うツアーを今秋開催します。東京・大阪からの発着プランも計画予定ですので、興味がある方はぜひご参加ください。開催日や費用などの詳細は、9月中旬に下記のホームページで公開されます。

○えひめ農林漁業担い手育成公社HP

URL: <http://www1.odn.ne.jp/cek31650/>

【問い合わせ先】

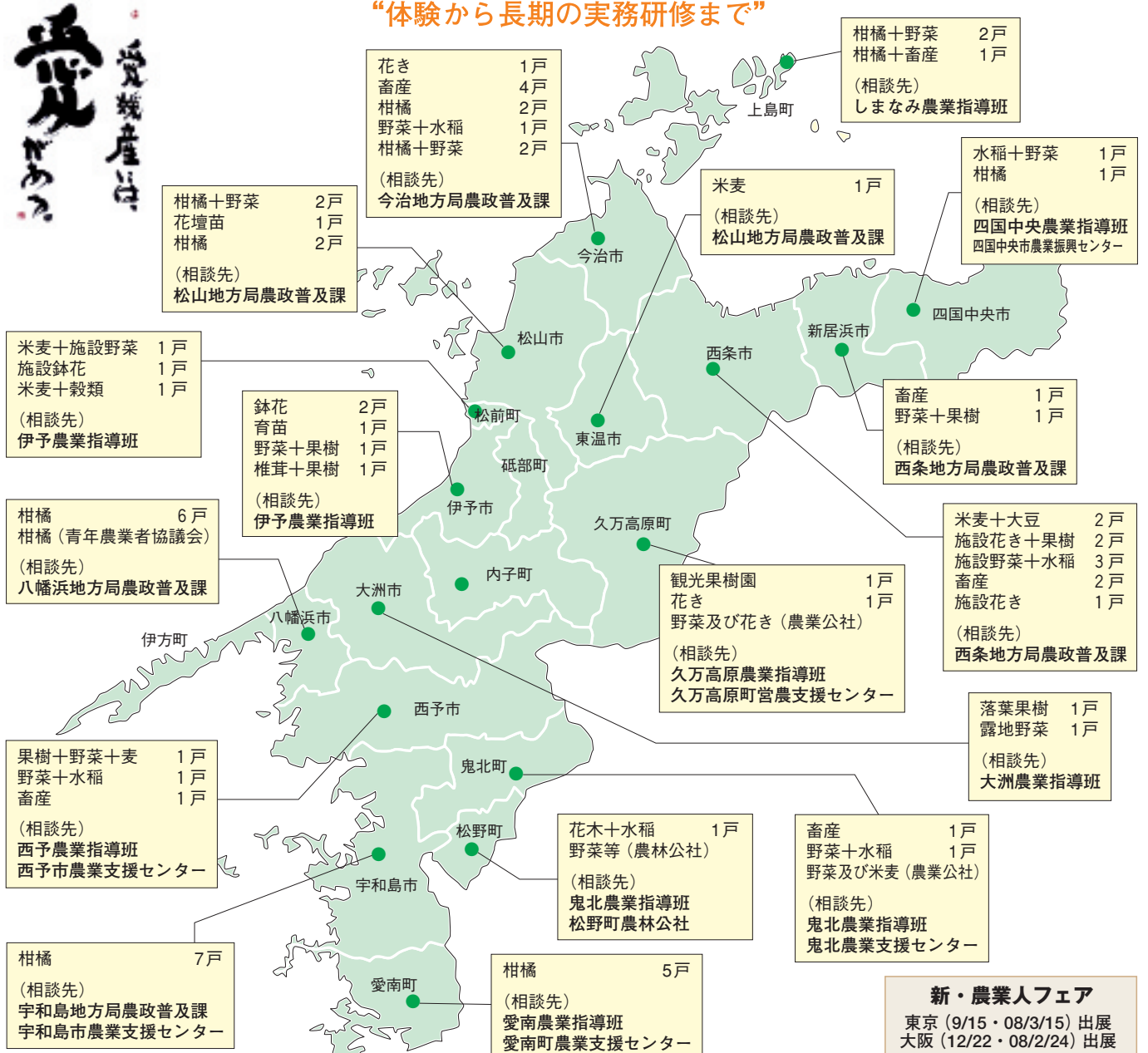
愛媛県農林水産部農業振興局農業経営課担い手対策推進室

TEL: 089(912)2553

ど、新規就農希望者に手厚く支援している。だが、既存の農家も兼業の農外収入で生活するなど、中山間地の農業生産条件は厳しい。ほかの地域と条件を比べて、その上で鬼北町を選んでくれるなら、できるだけ支援はする。しかし、研修費も生活費に消えることがほとんど。自己資金を300～500万円用意するなど、それなりの就農準備が必要だ」と話す。

愛媛県内における研修受け入れ情報

“体験から長期の実務研修まで”



相談窓口	電話	相談窓口	電話
農林水産部担い手対策推進室	089 (912) 2553	宇和島地方局農政普及課	0895 (22) 3514
愛媛県立農業大学校	089 (977) 3261	鬼北農業指導班	0895 (45) 0037
西条地方局農政普及課	0898 (68) 7322	愛南農業指導班	0895 (72) 0149
四国中央農業指導班	0896 (23) 2394	四国中央市農業振興センター	0896 (28) 6040
今治地方局農政普及課	0898 (23) 2570	久万高原町営農支援センター	0892 (41) 0040
しまなみ農業指導班	0897 (72) 2325	(社) 久万農業公社	
松山地方局農政普及課	089 (909) 8762	内子町農村支援センター	0893 (44) 2199
久万高原農業指導班	0892 (21) 0314	西予市農業支援センター	0894(62)1111(内650)
伊予農業指導班	089 (982) 0477	宇和島市農業支援センター	0895 (24) 1111
八幡浜地方局農政普及課	0894 (23) 0163	鬼北農業支援センター	0895 (45) 2911
大洲農業指導班	0893 (24) 4125	愛南町農業支援センター	0895 (72) 1211
西予農業指導班	0894 (62) 0407	(社) 鬼北町農業公社	0895 (30) 6521
		(株) 松野町農林公社	0895 (42) 0344

※研修受け入れに際して宿泊有無・年齢要件があります。また、体験程度から1年以上の長期の受け入れが可能です。
※研修希望に際しては相談窓口または、(財)えひめ農林漁業担い手育成公社にご相談ください。

総合相談窓口

(財) えひめ農林漁業担い手育成公社 URL <http://www1.odn.ne.jp/cek31650/>
〒790-8570 愛媛県松山市一番町4-4-2 TEL. 089(945)1542 FAX. 089(932)7825

準備校がまさに 就農への入り口だった

千葉県山武市 田中秀門さん

千葉県山武市に新規就農した田中秀門さん(45歳)は、就農準備校の修了生の一人だ。就農9年目の現在は、1.2haの畑で、シュンギクやコマツナなどの葉もの野菜を生産し、食品加工業者やスーパー、JAなどに周年出荷している。

雑誌の中づり広告に「農業特集」の文字

14年間のサラリーマン生活に終止符を打ち、本格的に農業で生きていこうと決心させてくれたのが、就農準備校だった。本社のある静岡県三島から東京の子会社に出向していた時のこと。通勤電車のなかで、ある雑誌が農業特集をしているという中づり広告を見た。静岡にいたころから漠然とだが「将来は農業を」と思っていた田中さんは、さっそく雑誌を購入。そこに就農



トウモロコシの生育状態をチェック。知人に直売しているトウモロコシは、家族にとってもお楽しみだ

準備校の紹介記事が載っていた。「経験もつてもなく、仕事に追われて自分で情報を探す時間もなかった私にとって、まさに農業への入り口が就農準備校でした」と田中さんはいう。

法人説明会でさらに一步前進

田中さんが受講したのは、平日の夜間に開かれている入門コース。「受講生は老若男女実に多彩。時間のやりくりは大変だったけど、教室にみなぎる熱気が一步踏み出す勇気を与えてくれた」と当時を振り返る。週2日全10回の授業に、時々遅刻しつつも通い抜いた。準備校で聞いた新規参入者の成功事例や農家の苦労話が、就農後の励みにもなっているという。

1カ月半の講座が終わろうという時、千葉県合同農業法人説明会の案内チラシを手にする。そこで出合った山武町(当時)の農事組合法人が、「休日だけでもいいから手伝って見ないか」というしてくれた。法人の事務や組員農家の仕事を手伝いながら、農地探しを続けること半年。ついに、組員農家の紹介で30aの畑を借りることができた。



「家族の協力がなくては、農業はやっていけない」と田中さん。子どもたちも学校が休みの日は手伝ってくれるという

就農準備校でもらった1枚のチラシが、さらなる一步を踏み出すきっかけを与えてくれた。

農業で生きる覚悟と蓄えを

37歳で就農した時、田中さんにはすでに、妻のベルナデットさん(現在38歳)と2人の子どもがいた。妻と二人で農作業に打ち込んだが、1年目の収入は180万円ほど。貯金を崩さずに済むようになったのは、5年目くらいからだ。「農業は、一人前になるまで時間がかかる。20代の独身ならともかく、ある程度の年齢から農業を始める場合は、それなりの覚悟と蓄えが必要」とアドバイスする。

数年前に作業小屋付きの空き家を借りて、出荷作業の能率が一気に上がった。子どもたちも成長し、いよいよ農業に集中できる環境が整いつつある。「契約栽培は穴があげられないから、毎日追われるよう。でも、やりがいはある」と、二人はほほ笑みながら顔を見合わせた。

初級者
向け

E-mail 塾

ホームページ教材より全国どこからでも学習でき、5つの専門コースの担当講師による添削指導も受けることができる。各コースの章ごとに小テストがあり、8割以上正解しないと先に進めない方式。コース終了時には作文形式の修了試験があり、合格者には修了証書が発行される。

【受講料】1コースにつき5,000円

【受講期間】受講料振込確認後4カ月間

中・上級者
向け

農業
e-ラーニング講座

在宅のまま、時間を選ばず農業技術を習得できる、インターネットを活用したe-ラーニング方式による研修コース。野菜(果菜・葉菜)コースでは、種まき、発芽、病害虫の症状と対応、品種など、形態から成育までを学習する。養鶏コースでは平飼いと舎飼いの違い、経営や流通などを学ぶ。合格者には修了証書が発行される。

【受講料】1コースにつき8,000円

【受講期間】受講料振込確認後6カ月間

お問い合わせ
連絡先

就農準備校本部

【(社)全国農村青少年教育振興会】

☎ 03(3949)3332

担当/伊丹・藤田

〒114-0024

東京都北区西ヶ原1-26-3

農業技術会館2F

FAX. 03(3949)3301

URL <http://www.ryeda.or.jp/>

新・農業人フェア

東京(9/15・11/17) 出展

大阪(12/22) 出展

農業を始めるための道筋がわかる 就農準備校



農業を始めるには、まず、「どこで、どのような作物を栽培し、それをどのように販売するのか」「技術の習得や経営資源の確保をどうするのか」といった自身のビジョンを明確にする必要がある。

自分の考えをまとめ、今後の計画や目標を立てるのは、意外に難しい作業。作物の栽培だけでなく、農業経営の概観も含め、座学、実践を交えた就農準備校の講座でステップを踏めば、初心者でも、農業を始めるための道筋が見えてくる。農業を仕事にするための「はじめの一步」をサポートしてくれる就農準備校をチェックしてみよう。

就農準備校とは、農業に興味のある人が、農業の基本的な知識や技術を学ぶ学校。ビジネスマンを中心とした都市生活者が、土日や平日の夜間などを利用して無理なく農業について学べる。

全国6校10教室で講座が開講されている。受講者のレベルに応じた4段階のコースが準備されており、1年あれば4コースすべてを受講できる。

通学や時間の確保が難しい人には、イ

ンターネットの通信講座「Eメール塾」、
「e-ラーニング講座」も準備されている。

講座は、農林水産省の支援を受けているため、受講料は教材などの実費のみ。小さな負担で受講できるのもうれしい。

平成8年に開校してから現在までの受講者は、1万2千人以上。そのうち就農者は400名を超え、農業法人に就職した人もいる。これから就農への第一歩を踏み出したい人は、ぜひ参加してみよう。

ステップ1 体験コース

日帰り、または1泊2日で実習体験するコース。種まき、収穫作業、牛の観察、パン・豆腐づくりなど、内容もお土産も盛りだくさん。農業を始めるためには家族やパートナーの理解が不可欠。そうした人に農業を知ってもらおう機会としても活用できる。

ステップ2 入門コース

実習または講義で作物全般のことを勉強するコース。作物のつくり方、有機農業、農産物の流通など、専門用語を覚えながら、基礎的なことを学ぶ。

ステップ3 専門コース

主に農業経営について学ぶコース、有機農業についてより高度な技術を学ぶコースなど、就農に向けての本格的な講義が中心。

ステップ4 実践コース

入門コース、または専門コースを修了した人が、直接指導を受けながら農作業を学ぶコース。7カ月間に7回以上、特定の受入農家に行く。作物別にコースが分かれているので、自分の希望する作物のつくり方をじっくりと学べる。

今年度は受付を終えているが、水戸校、福岡校には、一定のほ場の割り当てを受け、通年で栽培するコースもある。



07年8月～08年3月までの開講スケジュール

校名	教室名	コース別	受講内容	受講期間	受講料 (円)
東京校 【(社)全国農村青少年教育振興会】 〒114-0024 東京都北区西ヶ原 1-26-3 農業技術会館内 TEL: 03 (3949) 3332 FAX: 03 (3949) 3301	滝野川	体験	農業体験	10/27、28	6,000*
	滝野川 E-mail 塾	入門	農業一般、野菜、花き、果樹、有機農業の5コース 複数コース同時受講可	受講申込み随時 受付認可後120日	各コース 5,000
	代々木	入門	作物全般	10/5～11/13	20,000
			作物全般	11/16～12/21	20,000
	岡崎 (愛知県)	入門	農業全般	10/20～3/8	20,000
	滝野川 e-ラーニング講座	専門	野菜(果菜)、野菜(葉菜)、養鶏の3コース 複数コース同時受講可	受講申込み随時 受付認可後180日	各コース 8,000
水戸校 【日本農業実践学園】 〒319-0315 茨城県水戸市内原町 1496 TEL: 029 (259) 2002 FAX: 029 (259) 2647	水戸	専門	農業経営	8/24～9/28	20,000
		専門	農業経営	1/16～2/19	20,000
		実践	農家派遣	11/29～5/28	20,000
	小川	体験	農業体験	9/29、30	6,000*
ハヶ岳校【ハヶ岳中央農業実践大学校】 〒391-0112 長野県諏訪郡原村 17217-118 TEL: 0266 (74) 2111 FAX: 0266 (74) 2382	水戸	体験	農業体験	9/29、30	6,000*
		体験	農業体験	2/16、17	6,000*
		入門	有機野菜	10/13～12/15	20,000
		入門	農産加工	10/13～12/15	20,000
	小川	専門	有機農業	10/6～3/22	40,000
名古屋校【全国愛農会】 〒518-0221 三重県伊賀市別府 740 TEL: 0595 (52) 0108 FAX: 0595 (52) 0109	ハヶ岳	体験	農業体験	8/18～19	4,000*
		入門	野菜	8/12～18	25,000*
		入門	野菜	9/3～8	25,000*
大阪校【大阪テクノ・ホルテイ園芸専門学校】 〒584-0021 大阪府富田林市中野町 2-518-2 TEL: 0721 (24) 5147 FAX: 0721 (25) 0726	三重	体験	農業体験	11/2～4	21,000*
		入門	有機農業	8/10～19	26,000*
	富田林	有機農業	3/14～23	26,000*	
		体験	農業体験	2/24	2,000
福岡校【福岡地区職業訓練協会】 〒813-0044 福岡県福岡市東区千早 5-2-24 TEL: 092 (671) 6831 FAX: 092 (672) 2133	富田林	入門	野菜、花き	9/2～11/4	20,000
	大阪	入門	園芸作物	9/4～11/13	20,000
	富田林	専門	野菜、花き	9/2～11/4	20,000
福岡	入門	野菜	8/18～12/15	35,000	

※受講料欄に「*」印のあるものは、別途1泊あたり3,000円程度の宿泊費を要します。

林業就業支援講習標準カリキュラム

1日目	10:00～12:00	開講式	オリエンテーション
	13:00～15:00	作文	作文の課題：なぜ職業として森林整備の仕事を希望したか
	15:00～17:00	林業と山村地域の現状 林業就業にあたっての心構え	林業に対する職業理解を深める (体力、気力、集中力、協調性等の必要性を含む)
2日目	9:00～17:00	森林と林業の知識①	森林の有する多面的機能の発揮と健全な発展 材木の育成作業と森林の管理方法
		森林と林業の知識②	主な林業樹種とその特性など森林の生態
3日目	9:00～12:00	林業労働安全衛生教育	安全作業と関係法令 林業における労働災害の現状と対策
	13:00～17:00		現場における救急措置(救急訓練法)
4日目	9:00～17:00	刈払機操作講習	刈払機の構造・点検・整備、刃の目立、刈払機の操作、安全作業講習等
5日目	9:00～17:00	チェーンソー作業講習	チェーンソーの構造・点検・整備、刃の目立、チェーンソーの操作、伐木・造林に関する知識
6日目	9:00～17:00	チェーンソー作業講習	安全作業講習 伐木・造林の方法、災害事例 振動障害及び予防に関する知識
7日目	9:00～17:00	現地講習	手工具、刈払機、チェーンソーの現場での操作等
8日目	9:00～17:00	グループ討議	これまでの講習、体験を通じて生じた疑問点や問題点などを解消
9日目	9:00～17:00	施設見学	川上から川下まで、林業・木材産業の関係各施設を見学
10～18日目	9:00～17:00	実地講習	林業適正を総合的に判断するため、植え付け、下刈り、除伐、枝打ち、間伐等の各作業を実地で研修。座学で習った安全教育等を確認
19日目	9:00～17:00	就業相談・生活相談	
20日目	9:00～15:00	講習の総括、講習終了証の交付、閉会式	

っている。ここで受けておけば、講習の終了証が与えられる。

また、カリキュラム後半の約10日間に及ぶ現場体験も森林作業のイメージをつかむためにはいい経験になるだろう。「実際にどのようなことをするのか」を、体で試せる機会は多くはない。現場に携わる人たちから仕事や生活面の「生」の声を聞ける機会でもあり、これらの話が転職を考えるときのよき判断材料になるはずだ。

すべてのカリキュラム終了後には、個別の就職相談、生活相談を受け付けている。この就業支援講習の特徴ともいえ、参加者の声からも「対応がきめ細かい」と評価が高い。「林業に就業したい」と本

気で考えている人を対象とする充実した内容は魅力である。

林業就業支援講習は主に各県の林業労働力確保支援センターが開催しており、詳しくは開催を予定しているセンターに問い合わせしてほしい。



目指せ! 就業

ツアーや講習後、実際どのようにしたら林業就業に結び付くのだろうか？ 森林組合や事業体に直接コンタクトを取る方法もあるが、求人をしているかはわからない。効率のよい方法として、全国森林組合連合会が主催するフェア「森林の仕事ガイドダンス」に出向いたり、各県に置かれた林業労働力確保支援センターに相談したりする方法がお勧めだ。
<林業労働力確保支援全国センター>
TEL: 03(3294) 9713

基礎知識をしっかりと身に付ける

林業就業支援講習

農・林・漁業への就業を考えたとき、その仕事内容を最もイメージしにくいのが林業ではないだろうか。経験のない仕事への転職は、仕事内容の具体的なイメージがあるほうが計画を立てやすいし、なにより体を動かす仕事は「続けていけそうかどうか」という判断も重要だ。そこでまず試したいのが、国の支援を受け、全国森林組合連合会や都道府県林業労働力確保支援センターなどが実施する体験ツアーや講習への参加だ。全国各地で1～2日間の行程で行われる「林業見学・交流ツアー」のほか、各県で座学と実習が受けられる20日間の「林業就業支援講習」がある。今回は「講習」のほうを詳しく紹介しよう。



座学+実地
20日間

仕事の流れから機器の操作まで充実した内容の就業支援講習

林業とは、木を植え、育て、木材を作る産業だ。木の植え付けから維持・管理、加工・出荷までを行うため、仕事は多岐にわたる。学びながら仕事の知識や技術を覚えていくのは当然だが、ときには危険が伴うため、就業前に安全に関する知識や、機器の基本操作を身に付けておく必要がある。

「林業就業支援講習」はそのために設けられている講習だ。林業の仕組み、林業を取り巻く状況、森林・林業の知識などを体系立てて学ぶ座学に始まり、



機器の操作や施設見学などの実習に移った後、後半はすべて、実際の森林現場での作業を体験するというカリキュラム。総合的に、実践的に林業の基礎知識を身に付けることができるようになっている。期間は約20日間。現地まで

の交通費、宿泊費、食費を除き、講習料は無料だ。

なかでも、実地でチェーンソーや刈払機の講習を受けられるのはありがたい。これらの操作は危険が伴うため、講習を受けなければ使ってはならないこととな



林業就業支援講習の開催予定（2007年9月～08年3月）

開催場所：各都道府県の林業労働力確保支援センター

開催地域	2007年度開催予定	年次予定者数	開催地域	2007年度開催予定	年次予定者数
北海道	10月下旬～11月上旬	20	福井県	11～12月	10
青森県	11月下旬～12月上旬	30	山梨県	10～12月	15
岩手県	10/16～11/8	15	静岡県	10～11月	20
宮城県	10～11月	20	三重県	10～11月	20
秋田県	11月	10	大阪府	11月	10
福島県	10～11月	20	奈良県	11～12月	20
茨城県	11月	11	和歌山県	11～12月	10
栃木県	11月	30	香川県	11月	5
群馬県	10/2～10/26	15	高知県	11～12月	10
東京都	10～11月	8	熊本県	9月	10
新潟県	11～12月	20	鹿児島県	11～12月	20
石川県	9月	20			

2007年度の実施日程等、お問い合わせは、都道府県林業労働力確保支援センターへ。連絡先は、71頁を参照してください

漁師になるための心構えに始まり、漁業の種類や漁業権、船舶免許の種類、ロープの結び方、網目の作り方など、短時間で幅広く学べるのが特徴だ。漁師になるためのステップや、漁業就業支援フェアの様子について事前に話を聞けるのも大いに参考になる。漁師にとって必須となるロープワークについても、各自が実際のロープを使って、講師の実演を見ながら体験すれば、漁師という仕事を少し身近に感じられるのではないだろうか。

ベテラン講師による経験を交えた話や、スライドを見ながらの説明を聞くと、本を読んだだけではわかりにくいことも、すんなり頭に入ってくる。独学で学んでいて疑問に思っていることを、質問できるチャンスでもある。

2007年度の開催地は東京、大阪、名古屋を含む全国14都市で、各3回ずつ計42回開催される。6月から順次実施されているため既に終了しているものが

多いが、8月開催分については下の表2に示している。この機会に、ぜひ参加してはどうだろうか。



漁船に乗って学ぶ「漁業体験講習会」

陸上で開催される座学講習会に対し、洋上で開催されるのが漁業体験講習会。各地の漁協の協力を得て、体験乗船ができる。

自分が漁師に向いているかどうかを見極めるには、実際、漁船に乗ってみるのが一番。船酔いなど自分の体質も確認しておきたいところだ。とはいえ、漁船は誰でも乗せてくれるものではない。その点でも、漁業体験講習会は貴重な機会といえるだろう。

講習内容は開催地によって若干異なるが、その一例を右の表3に示している。

2007年度の開催地は北から宮城県、

千葉県、神奈川県、和歌山県、愛知県、兵庫県、三重県、広島県、愛媛県、福岡県の計10カ所。座学講習会と同様、多くは既に終了しているが、下の表4に示した8月開催分については、間に合えばぜひ参加したいところだ。集合時間や集合場所など詳細については、事前申込者に対して連絡が入るようになっている。



養殖場でのエサやりに参加者の目も釘付け（漁業体験講習会）

図2 講習内容

座学講習会、漁業体験講習会ともに参加費無料です。

※座学講習会のみ・体験講習会のみ、の参加も可能です。
※都合により講習内容は変更される場合があります。

座学講習会

講習内容

- ・漁業全般について
- ・漁業の仕事について
- ・漁村の生活についてなど

漁業体験講習会

講習内容

- ・実際に乗船して漁業の仕事体験

漁業就業支援フェア 2007 漁師へ！

漁業就業支援フェア 2007 開催予定 8/25 東京会場 8/18 大阪会場

表2 座学講習会

エリア	開催会場	開催日時
関東	●横浜会場 横浜情報文化センター小会議室 (横浜市中区日本大通11番地)	8/9(木) 18:30～ 8/10(金) 18:30～ 8/11(土) 13:30～
	●新潟会場 新潟駅前カルチャーセンター 801 (新潟市中央区東大通1-1-1)	8/22(水) 18:30～ 8/23(木) 18:30～ 8/24(金) 18:30～
関西	●神戸会場 兵庫県民会館304号室 (神戸市中央区下山手通4-16-3)	8/1(水) 18:30～ 8/2(木) 18:30～ 8/3(金) 18:30～
	●京都会場 京都市立サテライトセンター 中会議室 A (京都市下京区中堂寺南町134番地)	8/15(水) 18:30～ 8/16(木) 18:30～ 8/17(金) 18:30～

表4 漁業体験講習会

エリア	開催会場	開催日時
関東	●神奈川県内漁協	8/18(土)
関西	●兵庫県内漁協	8/4(土)
	●三重県内漁協	8/11(土)

表1 漁業チャレンジ準備講習会 座学講習会の講義内容 (全講習会とも)

1. 漁師になるために
2. 沖合・遠洋漁業
3. 沿岸漁業
——休憩—— (5～10分)
4. 水産物の生産構造
5. 漁業権とは
6. ロープの結び方、網目の作り方
7. その他(質疑応答など)

表3 漁業チャレンジ準備講習会 漁業体験講習会の内容の一例 (千葉県開催分)

<開催地> 富浦町漁業協同組合

<開催日> 2007年6月16日(土)

<参加者> 13名

<タイムスケジュール>

【AM9:00】JR 富浦駅前集合。参加者の出欠確認後、富浦漁港へ移動

【AM9:50】陸上で簡単な説明を受けた後、乗船開始

【AM10:00】漁場へ向けて出港。最初に到着した定置網の漁場で網の仕組みや上げ方などについて話を聞く。その後、養殖場へ移動し、エサやりの実演を見学

【AM10:50】寄港。船から下りた後、近くの漁村センターへ移動

【AM11:10】組合長を始め関係者による説明会。地元水産業の紹介や漁協の概要、漁業権などについて説明を受けた後、参加者との質疑応答

【AM12:20】講習会終了

2007 年度より新規スタート

漁業チャレンジ準備講習会

漁師になりたいけれど、そのための方法がわからない。だから、未経験から漁師になるにはハードルが高いというイメージを持っている人も少なくないだろう。確かに、自力で漁師になろうとすると困難なことも多い。そんなときに、活用してほしいのが「全国漁業就業者確保育成センター」。未経験者でも漁師になれるよう、さまざまな活動を行っている。



現役の漁師さんから漁場での説明を聞く（漁業体験講習会）

「全国漁業就業者確保育成センター」のトータルサポート

漁師になりたい人を支援する全国漁業就業者確保育成センターでは、経験ゼロから漁師になるまでのトータルサポートを提供している。その流れは図1に示したとおりで、これに沿って進めば、就業までたどりつけるようになっている。

<全国漁業就業者確保育成センター>
TEL : 03 (3585) 6319
e-mail : info@ryoushi.jp

※漁業就業者確保育成センターについては P.75 を参照。

漁業就業支援フェアの前に！ 「漁業チャレンジ準備講習会」

図1の中でとくに注目してほしいの

が、ステップ2の「漁業チャレンジ準備講習会」。昨年度まで、漁師希望者は直接、漁業就業支援フェアに参加し、その場で面談を受け、採用されれば長期の漁業研修に入っていた。しかし、今年度からは、漁業就業支援フェアに参加する前のステップとして、漁業チャレンジ準備講習会（図2）が開かれている。つまり、漁業就業支援フェアに臨む前に知識と心の準備をする場が設けられたということ。

講習会は、陸上で学ぶ「座学講習会」と洋上で学ぶ「漁業体験講習会」の2種類があり、両方またはいずれか一方のみの参加もできる。漁師を目指す人なら誰でもOKで、参加費は無料（現地への交通費、宿泊費等は本人負担）。事前申し込みが必要となるので、詳しくは全国漁業就業者確保育成センターのHPで確認しよう（<http://www.ryoushi.jp/>）。



漁師の基礎知識を学ぶ「座学講習会」

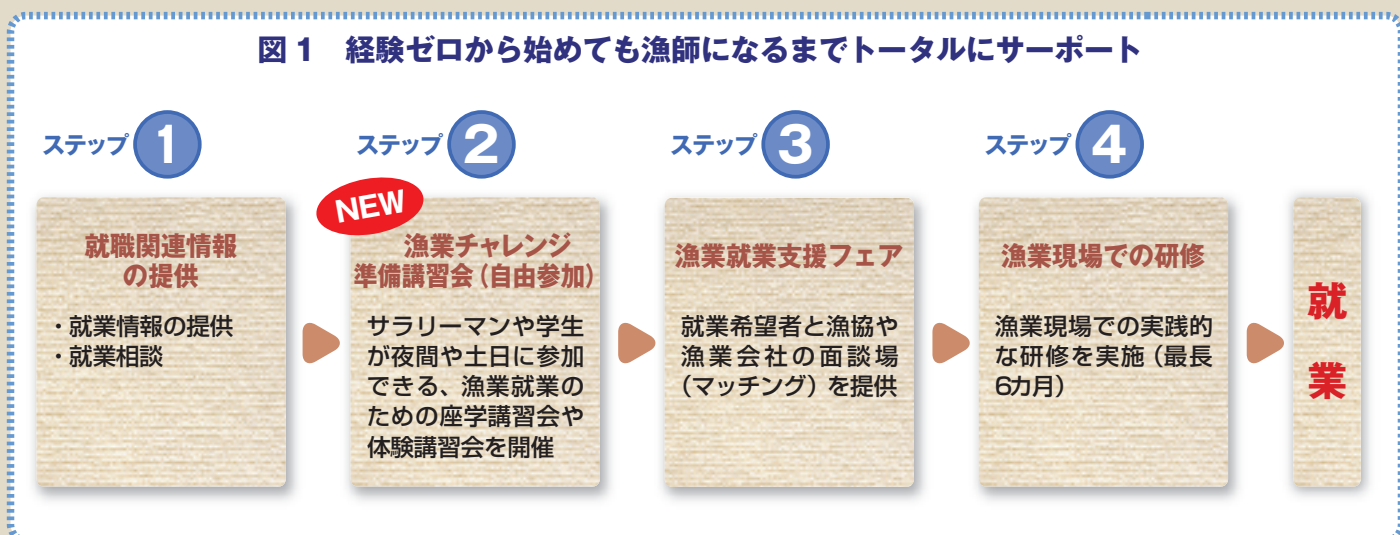
漁業チャレンジ準備講習会のうち、陸上で開催されるのが座学講習会。漁業全般について基礎的な知識が学ぶことができる。サラリーマンでも働きながら参加できるよう、平日の夜または土曜の昼に開かれている。

講習は1回完結型で、時間は2時間。講習内容は右の表1に示したとおりで、



イスのひじ掛けを芯にロープの結び方を体験（座学講習会）

図1 経験ゼロから始めても漁師になるまでトータルにサポート





林業見学・交流ツアー 2007

林業の現場で働いてみたい方。まずは現場を体験して、そして見てください。森林の仕事の職場見学会です。

1泊開催 日程	三重県 速水林業・森林組合おわせ	<ul style="list-style-type: none"> ■日程/2007年9月29日(土)・9月30日(日) ■集合予定地/松阪駅 ■集合時間/9:00(予定) ■締切/2007年9月13日(木)12:00
	愛知県 豊田森林組合	<ul style="list-style-type: none"> ■日程/未定(9月から11月の土日開催) ■集合予定地/名古屋駅 ■集合時間/9:30(予定) ■締切/未定
日帰り開催 日程	埼玉県 秩父広域森林組合	<ul style="list-style-type: none"> ■日程/未定(9月から11月の土曜日開催) ■集合予定地/飯能駅 ■集合時間/9:30(予定) ■締切/未定
	神奈川県内森林組合	<ul style="list-style-type: none"> ■日程/未定(9月から11月の土曜日開催) ■集合予定地/未定 ■集合時間/10:00(予定) ■締切/未定
	山梨県内森林組合	<ul style="list-style-type: none"> ■日程/未定(9月から11月の土曜日開催) ■集合予定地/未定 ■集合時間/9:30(予定) ■締切/未定

日程が未定の開催地に関しましては、決まり次第下記Webサイトにて公開致します。

プログラム	林業従事者の方との交流会 林業作業体験・見学・学習 ※雨天決行・内容は学習・交流会をメインに実施。 体験・見学は天候を見て考慮。
参加資格	18歳以上(高校3年生に限り、17歳でも参加可能) ※ご家族でお申し込みいただけますが、18歳未満のお子様は 同伴できません。
募集人数	各会場50名 ※応募者多数の場合は抽選とさせていただきます。 ※定員に満たない場合、 締切日以降先着順でお申し込み受付いたします。
参加費	<ul style="list-style-type: none"> ■1泊2日/3,000円(食費等) ■日帰り/無料 ※集合場所までの交通費はご負担ください。

申し込み方法	林業見学交流ツアー事務局まで、メール、ファックス、インターネットの応募フォームいずれかで以下の内容をご連絡ください。
1.参加希望地域・日程	
2.氏名(氏名ふりがな)	※ご家族同伴の方は2~4について 同様にお知らせください。
3.年齢	
4.性別	
5.参加要項発送先住所(郵便番号、住所)	
6.連絡先電話番号	※内容に不備がある場合、ご連絡をさせていただきます。
7.メールアドレス(ある方のみ)	

個人情報の取り扱いについてのご案内
 ご応募いただく際にお預かりする個人情報につきましては、林業見学・交流ツアーの事務局及び開催の運用のみ
 に利用されます。取り扱いに関する詳細についてはぜひインターネットのサイトをご覧ください。また、事務局にて、
 公開しておりますので、お問合せください。取り消し、削除、変更等のお問合せ連絡先は事務局連絡先となります。



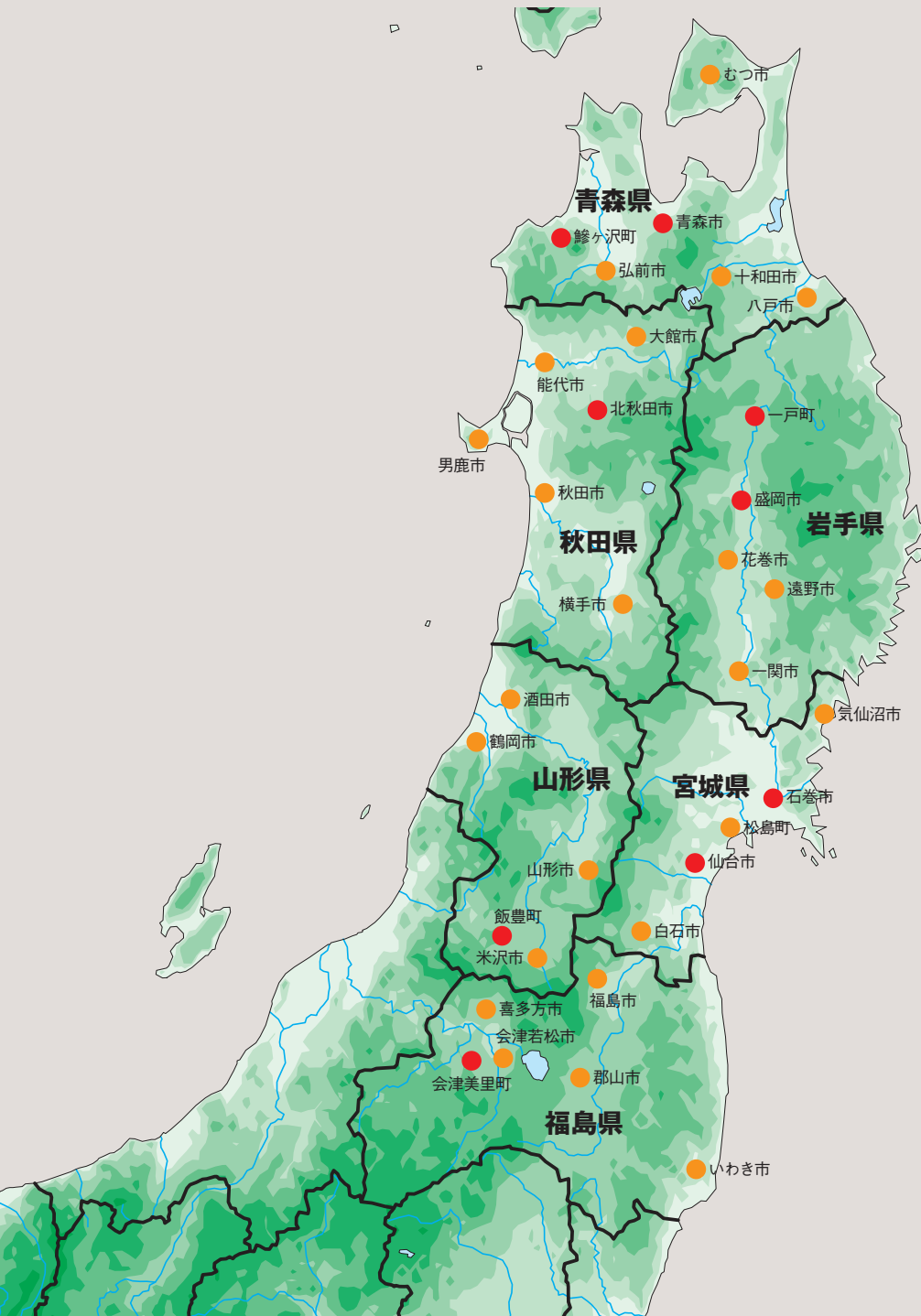
特集 2

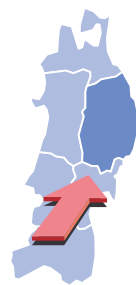
東北地方の IJUライフ



東北地方は、豊かで美しい自然を有し、スキーなどのアウトドアスポーツや観光で訪れるなど、関東地方に暮らす人は、身近に感じるエリアではないだろうか。親戚や知人がいたり、東北地方に縁のある人も多いと思う。

農林漁業を仕事にするにあたって、また、セカンドライフのステージにと、東北地方を選んで移住した人などの事例をもとに、東北地方のI・J・Uターン事情を紹介する。





岩手県一戸町 おさんぼジャージーみたに牧場
三谷 剛史^{たけし}さん 雅子^{あきこ}さん

ジャージー種の放牧という独自のスタイルで就農した三谷さん夫妻。自分たちが追求する酪農にこだわっている。1年半かけて開発したヨーグルトが、岩手県のコンクールで二つの賞を受賞した。「これでよかったんだ」と仕事に自信をつけ、新たな夢を描いている。

型にはまらない こだわりの酪農



白い紋様から「紋付」と名付けられた牛をなでる三谷剛史さん。左の牛の名は「ひょうきん」。牛の名前はすべて雅子さんが付けた。識別ができると個性もわかるようになる

黄色味の強いクリーム層がヨーグルトの表面をおおっている。「金のヨーグルト」という命名の由来だ。その下のヨーグルトは、ジャージー種の生乳ならではのコクと風味、乳酸菌の酸味、とろみが絶妙のハーモニーを奏でる。
2006年の秋に岩手特産品コンクール知事賞と、岩手ふるさと食品コンクー

ル優秀賞をダブルで受賞した、みたに牧場こだわりの逸品だ。

「受賞は、自分たちが一番驚きました。急に収入が増えるわけではないのですが、『自分たちがやっていたことは間違っていないかったんだ』という自信が付き、将来の見通しが立ちました」と、三谷剛史さん（31歳）は語る。

剛史さんが、岩手県一戸町奥中山高原の、戦後の開拓牧場地域で新規就農したのは、受賞からさかのぼること5年、01年秋のことだ。

離農した酪農家の住宅、牛舎、農地を、岩手県農業公社の仲介でそっくり借り受けた。土壌改良、牛舎や住宅の手入れなど、周辺環境を整えた上で、03年春に最初のジャージー子牛13頭を導入。04年1月から本格的な搾乳を開始した。

現在は10鈴の牧草地で、ジャージー種20頭の経産牛と7頭の育成牛を放牧している。

就農場所を求め、全国行脚

剛史さんは、大阪府堺市の出身。農業とは無縁の家庭だったが、自然の中で遊ぶのが大好きで、全盛期だったファミコンには見向きもせず、「魚釣り命」の小学生だった。高校時代にたまたま見かけた砂漠緑化のパンフレットがきっかけとなり、



東京農業大学林学科に進学。畜産学科の雅子さん（28歳）と出会う。
雅子さんも愛知県岡崎市のサラリ

お産の予定日を迎えている牛を、牛舎で見守る



こだわりの作品。仕上がりが納得できないロットは、市場に出さない(写真左)

お兄ちゃんの竜樹くんは2歳。お手伝いもしてくれる(写真左)



「マン家庭に育ったが、大学時代から「将来は農業をやる」と、決めていた。在学中に二人は結婚と就農を誓い、3学年上の剛史さんは先に卒業。就農場所を求めて農業研修という全国行脚の旅に出た。

「卒業から二戸にたどり着くまでの2年半が、精神的にも経済的にも一番つらかったですね」と剛史さんは振り返る。

農業の実際を知っておこうと、野菜の有機栽培、コメ、酪農など各地でいろいろな研修をしたが、手当ては少なく、本当に苦しい生活だった。

やがて酪農に的を絞り、就農者受け入れに積極的な北海道のある町を二人で訪ねた。就農システムはしっかり整っていた。しかし、反対にそのことに不自由さや不安を感じた。

「ホルスタイン40頭、農地40畝からスタートするようレールが敷かれていました。あそこで就農していたら借入金の返済に手一杯で、ヨーグルトにはまだ手を出せていなかったと思います」

型枠がないから築けた 柔軟な経営スタイル

二戸町に来たのは、岩手県で酪農を営む先輩がいたことと、当時、いわて奥中山農協が出していた「新規就農者、応援します」のパンフが縁。だが、北海道の例とは正反対。「応援」のモデルはなく、当初は「本当にこのひと、就農するの？」という半信半疑の目で見られたという。

それでも、酪農の現場にしがみつき、なにかしら学ぶ気持ちで、農協が紹介してくれた酪農ヘルパー、公共牧野の夏の監視

員、削蹄などの仕事をして着実に地歩を固めていった。地域の酪農農家や行政も、その姿を見て手を差し伸べてくれた。

土地と施設を借り受けた後、搾乳した牛乳を集める牛舎内のパイプライン以外は、大きな設備投資はなし。牧草の刈り取りやロールにする作業は、組合に委託して、大型機械の導入もしなかった。

「いま思うと、決められた型枠がなかったことが、逆に無理のない経営や自由な発想につながった気がします」

03年秋に結婚。雅子さんは卒業後、就農資金の足しにと岡崎のコーヒー挽き売り店で働いていた。離れていても同じ夢を温め続けた二人が、ようやく合流。加工品の試作などにも取り組み始めた。

こだわりでつくりあげた 本物の味

雅子さんは「牛乳は価格の変動が大きくて、加工などでリスク配分が必要だと考えました。とくに就農直後でなにももたない私たちは先行きが不安だったんです」と語る。

加工品の開発は、「正直に、本物を」というこだわりの一念で始めた。基本となる牛はジャージー種の放牧。青草を十分食べて運動するため、栄養価が高く風味のいい乳がとれる。また、放牧だと牛乳にも季節ごとに旬の味があるのが魅力だ。絞った牛乳は、本来の味を残すため低温で殺菌する上、均質化しない(ノンホモ)ので表面にクリーム層ができる。

ヨーグルトの製品化は、運よく花巻市の加工業者が小口のロットでも引き受け

てくれることになったおかげで実現した。ところが、乳酸菌の選定に1年以上もかけ、試行錯誤しながら完成させたレシピどおりにつくっても、同じ味がなかなか出せない。

高温殺菌の牛乳はたんばく質が変性していて4時間もあれば固まるが、低温殺菌だと20時間近くかかる。工場の強力な攪拌機を使うとノンホモ牛乳は脂肪の粒ができてしまう。数多くのが、やってみて初めてわかった。

「工場に面倒がられながらも、粘り強く交渉して、半年かけてようやく納得がいくものの製品化にこぎつけました」
それでもまだ8割の出来だという。

農業は、やり始めたらやれるもの

就農してよかったことは、「自分たちでなんでも決められること。こだわりを実現する場があること。加工品がだんだん形になっていく、つくるおもしろさがあること」だという。

一方、サラリーマンのように月々の生活の保障がなく、老後に不安を感じることもある。

「でも、『こうだったらいいのに』と思うことはどんどん現実にしていけばいい。農業は、やり始めたら案外やれるものです。踏み出すことが大事」

4月に二人目の男の子が生まれ、ますます人生が充実。自前の工房を建て、ヨーグルトのほかに加工品をつくるのが目下の夢だ。加工する分だけの牛を飼い、堆肥もうまく回せる「小規模のきれいな酪農」を目指す。



やめたいと思ったことはあるが、「始めたからにはやめられない」と互いに励まし合ってきた



就農7年目が農家のスタートライン

秋田県北秋田市 杜のやさい畑
土田 政広さん 紀子さん



シールや売り場の札に
紀子さんのアイデアとセンスが光る

借りている農地の脇に昨夏、とうとう念願のわが家を建てた。新規就農して7年目、ようやく一軒の農家としての土台ができた実感する節目になった。

土田政広さん（39歳）、紀子さん（36歳）夫妻は、北秋田市で野菜栽培と比内地鶏の飼育を行っている。70坪のハウス8棟と5反の露地で作る野菜は、すべて直売とネット販売のため少量多品目。有機肥料を施し、農薬はほとんど使わない。

移住して10年目の今年、3歳で秋田に来た上の娘が中学校に、就農後に生まれた下の娘が小学校にそれぞれ入学した。

「目標だった家が建ち、ここまでできたから今の生活は楽しいといえるけど」と、苦労の連続だった日々を思い出しつつ、夫妻は「深く考えていたら農業をやるうなんて思わなかった。正直なめていた」と就農当時を振り返る。

政広さんは福島県いわき市、紀子さんは秋田市の非農家出身。いわき市の化学工場で知り合い

結婚した。職場も住宅も工業団地の中。「定年後は農業でも」という思いはあったが、偶然Aターン（秋田県への1ターン）広告を見て「どうせやるなら若いうちに」と、その気になった。

研修制度と受け入れ体制で 就農地域を選択

「女房のほうに積極的で、おれは福島出身なのに、秋田に決まっちゃった」と政広さんは冗談めかすが、①2年間しっかり研修できる、②県の研修奨励金が受けられる、など秋田県農業政策課（現農林政策課）に説明された研修制度が充実していたことが、秋田移住の決め手となった。

研修先の（有）大野台グリーンファームは旧合川町に所在。町が新規就農者の受け入れに好意的だったことも、夫妻の背中を押した。

研修後の2000年、町と県のサポートで研修先の近くに農地を確保し、就農。準備資金借入も順調に運んだ。

就農したばかりのころは、出荷用ホウ



よく手入れされた畑。紀子さんが導入したことで秋田に定着した京野菜もある

レンソウが主。収量が安定せず、売り上げの見込みが立たなかった。

「運はよかったと思う。PTA仲間の比内地鶏農家が、『ホウレンソウだけじゃ食えないから鶏をやれ』と勧められて、売り上げの計算ができるようになった」

付近のAコープに産直コーナーができたのもそのころ。紀子さんのセンスと、珍しい野菜にチャレンジする探究心が直売にマッチ。市場出荷用ホウレンソウから直売用野菜へと重心を移していった。

新規就農者ならではの 苦労、努力、そして成功の鍵

「経営が安定してきたのは、3、4年くらい前から。それまで、どれだけバイトでしのいだことか」と夫妻は顔を見合わせる。土づくりができるまでの2年はまともに収穫できず、ハウス4棟のホウレンソウが全滅、という危機もあった。

深夜2時に家を出て、秋田市の市民市場外の路上に野菜を並べたこともある。しかし、捨てる神あれば拾う神あり。農薬と化学肥料を使わない土田さんの野菜は、いつしか市場内の業者の目にとまり、夏場は毎日宅配便で野菜を卸す取引にまで発展した。「従来にない、新規就農者の発想と努力で、今の経営スタイルは築かれた」と紀子さんは考えている。

今後の課題は、規模を拡大せずにもっと稼ぐこと。大金が動く分、リスクも大きい鶏は、現在の1600羽程度を維持。

「農業でお金を稼ぐのは大変。でも、やる気と努力があればなんとかなる」と、夫妻は後続にメッセージを送る。



モノづくりの難しさを 噛みしめ、 収益的独立を目指す

山形県飯豊町 厚母 稔さん



就農した2002年、厚母稔さん(42歳)は妻の真理子さん(34歳)と結婚して1年、第一子が誕生したばかり。「どうしてこの時期に脱サラして農業を?」と、誰もが思った。しかも会社では、取締役になってしまった。「私は一人っ子ですからね。東京にいる実家の親は怒り心頭ですよ。なぜ山形なのか、山梨だろうと何度も聞き返されました」と、当手を振り返る。

高校卒業後、東京のコンピューター関係の会社でソフト開発の仕事をしていました。仕事柄、深夜まで勤務することも多く、会社に泊まり込むこともあった。徹夜していたある日、同じく徹夜組に50代社員がいた。日進月歩の業界である。久しぶりに現場に戻ったその人は、苦勞しながら仕事をこなしていた。その時、「オレ、このままでいいんだろうか」と思った。

一方で、休日には交際中だった妻の真理子さんと田舎道をドライブしながら、「将来は田舎で農業をして暮らすのもいいね」と語り合っていたのだ。

何をどう学ぶかは 本人次第

それから、新規就農相談センターや新規就農講座に顔を出すなど、情報収集を始めた。農業について知るほどに、「自分がやるとしたら、花か野菜」と作目が絞り込まれていった。新・農業人フェアにも参加した。だが、踏ん切りがつくほどの決定打が見つからない。そんな折、何度目かのフェアで、山形で鉢花生

産をしている後藤農場(後藤隆英代表)と出会う。厚母さんは、「農業の大変さばかりが強調されるなか、後藤さんは『やる気さえあれば大丈夫』と前向きな話をしてくれた。また、飯豊町の町ぐるみで新規就農者を受け入れる姿勢にもひかれました」という。

出合ってから1年がかりで退職の手はずを整え、いよいよ後藤農場での研修が始まった。「マコでは、働きながら、見て学ぶスタイル。本人にその気がなければ、ただの従業員になってしまう」と厚母さん。自ら積極的に学ぶ姿勢が大切ということだ。技術もノウハウも、花づくりの基礎すべてをここで学んだ。農地探しも、当時、農業委員会会長を務めていた後藤さんが面倒をみてくれた。

高値で売れた経験が自信に

独立にあたっては、行政の手厚いサポートもありがたかった。厚母さんは「ニューファーマー経営安定加速事業」をはじめとする県の支援制度や、飯豊町独自の新規就農促進対策事業を活用して、施設や設備を整え、住宅を確保した。また研修期間中、町が無償で提供しているトレーニングハウスで、自分の花を栽培・出荷できたことも、とても有効だったという。「研修期間中に作った花がとてもよくでき、市場に出したら高値で全部売り切れました。『おお、おもしろい』って、あれで味をしめましたね」と笑う。

現在、独立して6年目。4棟のハウス(約1900㎡)で、年間30〜40種類の花を栽培し、ホームセンターや市場に出荷し



鉢植え作業は意外に重労働。始めたばかりのころは背中がカチカチになり、1ヵ月で12キロ体重が減った

ている。実際に自分で経営してみても、思った以上にものづくりの難しさを痛感している。「いかにロスや売れ残りをなくすかが課題だ。また『一応黒字ですが、時々貯金を崩すことも。収益面の独立はまだまだ』と話す。

忙しい時期は、地元の人にパートで働いてもらっているが、野菜や山菜を分けてもらうなど、生活面でも助けてもらうことが多いそうだ。また子どもの存在が、地域との付き合いを広げる入り口になっている。当面の目標は、生活できる程度まで黒字を伸ばし、ログハウスを建てること。「もう場所は確保してあるんです」と、敷地を指さした。

<飯豊町の新規就農促進対策事業>

飯豊町では、町独自の新規就農支援事業を設けている。たとえば、「1ターン就農促進支援事業」は、町外からの新規就農者・研修生で町内の賃貸住宅に住む場合、家賃の1/2を3年間補助する制度。また新規就農者または就農後3年以内の人が園芸ハウス等の新設をする場合、固定資産税の一部(施設費等取得の1%以内)が3年間補助される「経営自立安定支援事業」などもある。詳しくは、同町農業振興室(023-872-2111)まで。

グリーンサービス自慢のライスダム。ここで、刈り取った稲をそのまま乾燥・貯蔵する。右は事務所



気持ちを込めた分だけ 作物は返してくれる

福島県会津美里町 有限会社グリーンサービス
安永 知広さん

福島県・会津盆地に広がる水田は、1枚1枚がまっすぐな長方形をしている。ほ場整備事業の成果だ。会津産コシヒカリの食味は、魚沼産コシヒカリに匹敵する「特A」にランク付けされるといふ。

小学5年生 農家になろうと決めた

「母の故郷で米づくりがしたい」と、安永知広さん（29歳）は2001年、福島県会津美里町にある(有)グリーンサービスの門を叩いた。勤続7年目。水稲作、農作業受託を中心に、同社が生産・販売している菊（切花）、長ネギ、葉もの野菜のなかで、主に稲作部門を担当している。

安永さんが農業を職業として意識し始めたのは11歳の時。小学5年生になると社会科で日本の農業について学ぶ時間がある。もともと生き物、とくに植物に関心があり、庭に花や野菜の種をまいては、生育状態を観察するのが好きだった。また、夏休みなどに何度も母親の実家がある会津を訪れていたため、東京出身者でも農村や農家の風景に愛着をもっていた。そんな時、授業で「農業は後継者不足」と聞く。教科書に載っている農家の写真も、心に焼き付いた会津の風景に重なった。「農家になろう」と決めた瞬間だった。

農業法人の研修生としてスタート

それから先は、農業への道まっしぐら。両親の希望もあり高校は普通科に進んだが、その後、茨城県にある日本農業実践学園に進学。専攻はコメを選んだ。2年



新國文英代表

間の助手時代も含め、4年間稲作を学ぶ。就農活動の一環で参加した新・農業人フェアでは、迷わず福島県のブースへ。稲作希望ということで紹介されたグリーンサービスに、その場で公衆電話から電話する。翌日には、同社の面接を受けに会津を訪れた。速攻だった。

グリーンサービスは新國文英さんを中心に、先進的農家が集まって86年に設立した農業生産法人（当時は農事組合法人 桜の目新田生産組合）。現在は代表取締役の新國文英さんと取締役1名ほか、正社員5名、嘱託社員1名で運営している。雇用していた男性が1人辞めたところに安永さんが面接に現れた。タイミングはよかったが、「いずれ独立を前提に」と考える安永さんの雇用については、工夫も必要だった。

「最初は1年間の研修生ということで始めたが、彼はまじめだし、技術もあったので、途中で正式雇用に切り替えた。その翌年、できたばかりの『一般農業法人雇用研修活動支援事業』という国の制度を利用して、外部の研修にも参加できるようにした」と新國さん。自営で農業をしていくのなら、いろいろな人や経営方法を見てほし

いと思っただからだ。

米農家への道を模索中

安永さんは、「作物は気持ちを込めた分だけ返してくれる」「農作業の一つひとつが好き」と農業の魅力を語る。だが、このところ将来への不安も感じている。稲作を巡る環境は厳しさを増している。

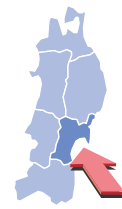
そのうえ独立を目指すとなると、農地や機械、販路の確保など、難しい問題が山積みだ。これらをどうクリアし、幼少からの夢を実現するか、模索中である。

困難を実感しつつも、あくまで日本の主食であるコメにこだわりたいという安永さん。これから農業を志す人へのアドバイスはとたずねると、「職業として考えるなら、自分がつくりたいのはなにか、どんな農業をしたのかを明確に持ってほしい。そして、私は食べものをつくる農業という職業に誇りを持っています」と姿勢を正して答えてくれた。



刈払機であぜ草刈りする安永さん

チェーンソーで間伐材を倒す。「一本一本倒れる方向を考えながら作業するのが楽しい」



林業への転身で ライフスタイルも一変

宮城県仙台市 宮城中央森林組合
須田 勝久さん



以前は山とかけ離れた生活

「20代のころは今と正反対の生活をしてました。フリーターをして、遊ぶのもクラブに行ったりとか。」と語る須田勝久さん（31歳）。政令指定都市・仙台を拠点とする宮城中央森林組合で働き始めて2年ほどになる。

須田さんが林業への夢を抱くようになったのは20代後半のこと。何度か就職もしたが、一生をかける仕事ではないという気持ちで探して各地を転々とし、幼いころ暮らしていた仙台に戻ったとき、ふと「林業」の2文字が浮かんだ。聞けば「じいちゃんが国有林の伐採に携わっていた。もしかすると血筋の影響もあるのかもしれない」という。意気込んだ須田さんは、体当たりで複数の森林組合に電話をかける。現在所属する宮城中央森林組合にも問い合わせたのだが、いずれの組合からも「今、求人はしていないんですよ」という答えが返ってきた。

1年以上ふんばって林業へ就業

インターネットや職業安定所などで情報収集をするなかで、石巻の森林組合から好感触を得たり、富良野で林業に従事する親類から「こっちに来てもいいよ」という誘いも受けた。だが冷静になると「完全に都会から離れた場所に住むのもいいけど、若いうちだとそのうち飽きちゃうんじゃないかな」と感じた。なにより、当時付き合っていた仙台在住の奥さんを



山・海・街のいずれも揃う仙台での就業は、安定感も刺激もある。まだ30代の須田さん夫婦にとって理想的な環境のよう

結婚前から現地に連れていくという無理はできなかった。

そこで仙台近辺に候補地を絞り、林業労働力確保支援センターに登録。チェーンソーと刈払機の安全教育の資格を取り、職業安定所に通うかたわら、アルバイトで食いつないだ。ほどなく、厚生労働省の施策「緊急地域雇用創出特別対策推進事業」による林業の短期間の仕事を発見。それが終わるとまたアルバイトに戻り、再び情報を収集して、今度は1年間の実地研修を行う「緑の雇用担い手対策事業」の「緑の研修生」に。研修後に面接を受け、ようやく組合作業班員として採用された。夢を追い始めてから1年以上が経っていた。同組合の業務課長・上野正宏さんは「仕事ぶりもまじめで、『山で仕事していきなさい』という意思を表わしていました。ほかにも同じような気持ちの人はいいましたが、素直に見えましたね」と採用の決め手を話してくれた。

毎日、違う仕事をするのが楽しい

現在須田さんは、森林の過密化を防ぐ

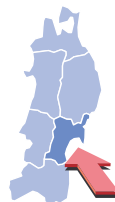
ために間引かれる間伐材の伐採を中心に行っている。ベテランの班長と1年先輩のいる作業班で、間伐から集材までを一貫して行う。また、電線にかかった木を取り払ったり、街中の雑草を刈る作業をすることもある。最初は現場の山に登りきるまでにはばてることもあった。「緑の雇用事業」で入った仲間が去っていく場面を何度も見てきた。だが、須田さん自身は辞めたいと思ったことはない。「体力と金銭面で悩む人が多いのかなと思いますけど、僕は生活できる分はきちんともらっています」

ライフスタイルにも変化が

仕事を始めてから生活習慣は一変した。朝9時ごろに山に入り、夕方4時半には仕事を終える規則正しい生活。早起きが苦手だったはずが今では6時には目が覚める。最近では、人工の壁を身体のみを使ってよじ登るインドアフリークライミングが趣味になった。休みの日には奥さんと2人で手をまめだらけにしなが汗を流している。

「興味を持ち始めたのも、林業に就いたおかげ。今は遊びも、昼間じゃないとできないことが楽しくて。まだみんなに追いつかない感じはありますが、でも少しは体力がついてきたのかなって実感はあります」

日々の充実感に輝く顔がまぶしかった。



千恵さんが「始めは手が痛いのがつらかった」というカキの殻むき作業。カキは主に生食用として出荷される



海の可能性は未知数。 だから、やりがいあり

宮城県石巻市 宮城県漁業協同組合石巻市東部支所所属
後藤 章さん 千恵さん

家族で年間12トン



「家族と一緒に働けるっていいですよ」と笑顔を見せる後藤さんご夫妻

リアス式海岸の複雑に入り組んだ地形を生かし、カキの養殖が盛んな宮城県。生産量で全国2位、経営者数で全国1位を誇る。家族単位の小さな経営体が多く、宮城県漁業協同組合石巻市東部支所でも97経営体のうち77経営体がカキ養殖を行っている。そのうちの一人、後藤章さん(28歳)は5台の養殖施設(筏)を所有し、年間12トンのカキを出荷する。

「カキ養殖のスケジュールは、大きく6月〜9月の育成期間と、10月〜5月の出荷期間に分けられますが、やはり忙しいのは出荷シーズンですね」という一日のスケジュールは、まず、夕方4時に沖へ出るところから始まる。水揚げしたカキは浜に設置された浄化水槽に入れ、一晩、滅菌海水に浸けて洗浄。カキの安全性を高める。こうして浄化したカキは、翌

外はずっと立ちっぱなし。海風が吹き付ける共同作業所は、生ものを扱うため暖房は入れられない。冬場の水の冷たさを考えると、かなりつらそうな気もするが、「慣れば平気ですよ。体の疲れも、ほどよい充実感です」と余裕の表情だ。

父の後ろ姿を見て決心

後藤さんは、東京の大学で工学部を卒業した後、Uターンして施工管理者として仙台市内の建築会社に勤めていた。代々カキ養殖を営む家系に生まれ、父は漁協の役員を務めていたが、「お前が好きなのをやれ」といって、家業を継ぐことを強制しなかった。それなのになぜ、カキ養殖を始めたのか？

一つは子どもを自然のなかでのびのびと育てたかったから。もう一つは帰省したときに見た父の後ろ姿。気丈に仕事をしていても、やはり年齢は隠せない。「親父を

安心させたい」その思いに千恵さんの理解を得て、3年間勤めた会社を後にした。進学でよそへ出た子どもが地元に戻らず、やむなく家業を畳まざるを得ない経営者もいるなかで、後藤さんの決心は地元漁業に明るい話題をもたらした。

複合漁業でリスクを回避

カキ養殖を始めて今年で4年目。サラリーマンと比べ自営業はやればやるほど収入に跳ね返ると期待していたが、想像以上に経費がかかることを知った。

その上、昨年はノロウイルスの風評被害により、出荷量が前年度と比べて3割ダウン。このダメージが一家全員の収入を直撃した。次代を担う後藤さんは、「収入確保のため、生産管理や販売方法についても、なにか工夫ができないか考えていきたい」と画策中だ。

石巻市東部支所の組合員のうち40歳未満の後継者で構成されている漁業研究会に所属し、夏季に出荷できるイワガキや高級魚で成長が早いヒラメの養殖の可能性を探っている。彼らを支える阿部和芳支所長は「生産が安定しているカキ養殖ですが、いろいろなリスクも考慮して、漁協としては他の魚種も組み合わせた複合漁業を薦めています」と説明する。

「海の可能性は未知数。だから、やりがいがあるんです」と漁業の魅力を語る後藤さん。よそで学んだ経験が生かされるのは、これからだ。





世界遺産の守人

青森県あじがさわ鱒ヶ沢町 ミニ白神くろもり館
福間こう功さん



「鱒ヶ沢に来てから健康的な生活になりました」と福間さん

自然の近くで暮らしたい

樹齢200年を越えるブナの原生林がうつそうと茂る深く美しい森に覆われ、「後世に残すべき」と世界が認めた地「白神山地」。この山懐に抱かれた鱒ヶ沢に福間功さん（58歳）がやってきたのは1999年のこと。東京で会社員をしながら、ゆくゆくは趣味の山登りを気軽に楽しめるよう「山の近くに行きたい」と思っていた。

そこで50歳を機に田舎で暮らそうと決心。根気よく仕事を探し、この地の森林組合で森林作業員として働くことに決まり、移住してきた。デスクワークしかしなかったことがなかったが、やがて仕事にも慣れ、休日は山登りのほか、白神山地の核心部となる散策エリア「ミニ白神」でガイドのボランティアもするようになった。目指したセカンドライフを手に入れることができた。ところが――。

ボランティアが転じて

実は福間さんは、さまざまな国に何度となく語学留学をしてきた語学の達人だ。「好きなので」というが、酪農団体に7年勤めた後、3年近くアメリカに留学。以後、海運会社、厨房メーカー勤務の後、スペイン、フランスに3年、大手運送会社勤務の後、ドイツ、イタリアに2年と続く。ガイドのボランティアもこの語学力をいかしていたわけだが、あるとき、鱒ヶ沢町役場から打診があった。「常駐でガイドもしながら『ミニ白神』の整備をする



根を守る福間さん製作の橋（写真左上）
風雪に耐えてきた古木の樹肌（写真右上）
青く、深い、ブナの原生林（写真下）

仕事をしてくれないか」とのこと。その仕事とは、町の財産である古木の管理や、遊歩道の整備をするという内容。移住してから培った森林作業員としての技術と、移住するまでに身に付けた確かな語学力を買われた形だ。

鱒ヶ沢町観光商工課の齋藤正明さんは「ガイドをやってみてもらっていたし、福間さんの経歴のことは知っていましたから」と称賛。「ミニ白神」の事務局である「くろもり館」で推挙の理由を話してくれた。「驚きましたね。とても興味がありました」と、経緯を振り返る福間さんは、かくして「ミニ白神」の守人になった。

試行錯誤の毎日が楽しい

福間さんの毎日の仕事は多岐にわたる。朝一番は遊歩道の点検、台風の後には折れた枝を切り落とし、ぬかるんだ土が露

出している場所には丸太を並べて通路を製作。急斜面なら直径40センチほどの丸太を斜めにスライスして階段を作る。

「この前は、露出した木の根を守るため橋を作ったんですよ」といって案内してくれた場所には、この森で最も古いブナの大木が、堂々とした姿で構えていた。樹齢は300年を越えるという。手前には根を守るように橋が渡されている。

「訪れた人が思惑どおり橋を渡ってくれとうれしいですね。でも雨水が流れるせいで地形は常に変わります。構造物がぐらついたら危ないので、安全確保が大変で、試行錯誤の毎日です」といいながらも、ともに森の中を歩きながらいくつもの「作品」の説明をしてくれる福間さんの表情は、室内で話しているときとは比べものにならないほどいきいきとしている。挑戦しがいのある、充実したセカンドライフは始まったばかりだ。

東北地方 I・J・Uターンの情報

AOMORI
IWATE
MIYAGI
AKITA
YAMAGATA
FUKUSHIMA

今号のエリア特集の対象地となっている東北地方（青森県・岩手県・宮城県・秋田県・山形県・福島県）は、関東地域に暮らす多くの読者にとって比較的身近に感じる地域ではないだろうか。

東北地方は、北の地方特有の豊かで秀麗な自然を有している。こうした北の美しい自然にあこがれる人は多い。

I・J・Uターンし、農林漁業に就業した方、セカンドライフのステージを森林に求めた方を取材し、七つのルポタージュ記事に取りまとめさせていただいた。そこに至るまでの動機や経緯はさまざまだ。

それぞれの事例から、分野ごとの職業としての特徴、それぞれ地域ごとの特徴をぜひ、読みとってほしい。とくに、農業では、降雪地帯で取り組んでいる経営スタイルにも着目してほしい。

アクションを起こそう

I・J・Uターンし、就業・移住を考える場合、希望する地域の就業や定住に関する支援実施機関にコンタクトをとるといい。

支援実施機関から情報を収集したり、実際に現地を訪ね、その窓口で相談をす

ることが、I・J・Uターンの近道だろう。自分がイメージしていたものと実際が大きくかけ離れていることもあるだろうし、思いがけない情報を手にすることもあらずだ。

選択肢はたくさんある。まずは、いろんなドアをノックし、情報を収集するなかで、自分の目指すべき方向を発見してほしい。そうすれば、自分の適性を判断することもできるはずだ。

農業を始めた

東北地方で、独立して農業を始めた！と考えるなら、各県に設置されている新規就農相談センター（連絡先は69頁に掲載）で情報を収集・相談をしよう。

技術習得を支援する制度や、就農を支援する仕組みなど、各県ごとに就農をサポートする制度が設けられている。

また、一部の市町村では、独自の就農支援制度を設けている。各県の相談センターから情報提供を受け、県の支援制度とあわせて、活用を検討してみよう。

なお、一般に農業体験レベルでは広く人を受け入れているが、1〜2年間の本格的な技術習得のための研修制度や、資金面での支援制度を受けるには、一定の

条件があったり、定員が設けられ、選考がある場合もあることに留意してほしい。

農業法人に就職したい

このエリアで農業法人に就職したいと考える場合は、まずは新・農業人フェアを訪ねてみよう。また、各県の新規就農相談センターに従業員を募集している農業法人の情報についてたずねるのも一つの方法だ。

林業に従事したい

林業に従事したいと考えている人の相談窓口になるのが、各県に設置されている林業労働力確保支援センター（連絡先は71頁に掲載）。

就業前に知っておきたい知識や技術をひととおり教えてくれる「林業就業支援講習」（20日間程度）を実施している。実施計画やカリキュラムはセンターによって異なるので、詳しくはそれぞれのセンターに問い合わせしてほしい。

漁師になりたい

漁業に従事したいという人の相談窓口



になるのが、全国に点在する漁業就業者確保育成センター（連絡先は75頁に掲載）。このエリアでは、青森県、岩手県、秋田県、山形県、福島県が設置している。

田舎暮らし（移住）したい

県段階で、Iターン希望者などの就業や定住をサポートする機関や制度も整備されてきている。

また、東京や大阪で各県の情報を提供してくれる窓口も設置されている。この地域に移住したい人はこれらの窓口を相談や情報収集にぜひ、活用してほしい（連絡先は77頁に掲載）。

新・農業人フェアを訪ねてみよう

東京で開かれる新・農業人フェアには、この地方の就農相談窓口、農業法人が展開する。直接面談できる貴重な機会であるし、資料も収集できるので、同フェアに参加してみよう。

新しく農業を始めようとする人を支援します

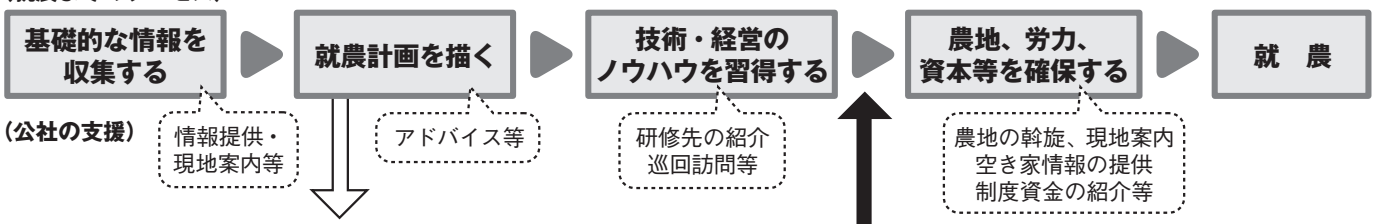
いわての大地に“夢”咲かせてみませんか

就農関連情報の提供から
農地の確保等まで
ワンストップサービス

就農に関する基礎的な情報の提供、就農ビジョンに対するアドバイス、農業研修や体験学習の受入先の紹介、就農希望地の現地案内など、就農に必要な情報等をワンストップサービスで提供します。
また、実践研修として、農業技術を習得する就農希望者への経費助成をしています。

就農までのプロセスと公社の支援

(就農までのプロセス)



(実践研修)

受入経営体とのマッチング作業

実践研修（登録農家、農業法人）（6ヶ月から1年）

あなたのニーズに合わせて
県担当課、公社、
農業普及センターが
行います

◎農業公社が支援している
実践研修への経費助成

- 受入経営体に指導経費を助成
- 現地就農アドバイザーに活動費の助成
- 実践研修生に住居費の助成
(右欄の住居費を参照)

◎農業公社が支援している
営農開始の初期的経費等助成の内容

住居費	12千円/月、研修開始から3年間
農地の整備	簡易な整備で費用の1/2、50千円を上限
農地の借入料	標準小作料の1/2 (50a以内)
機械・施設のリース料	農業機械：1/2、120千円/年を上限、2年間 生産施設：1/2、100千円/年を上限、2年間

※知事から就農計画の認定を受けた、青年、中高年齢者および新規就農者受入農業法人等は、無利子の就農支援資金（就農研修、就農準備、就農施設等の3種類）が利用できます。

募集中！

その1 実践研修生を募集しています。

岩手県に登録されている研修受入経営体（農業法人や農業農村指導士等）は50を超え、県内各地で研修できます。また、作目は花き、野菜、水稲、果樹、畜産など様々あります。

- (1) 募集内容：岩手県内で就農しようとする55歳以下の新規就農希望者
- (2) 募集期限：平成20年3月末日
- (3) 募集人員：20人
※ 実践研修生への支援内容は、上記（実践研修）を参照して下さい。

その2 農業に関する求人・求職者を募集しています。

公社は、厚生労働大臣の許可（許可番号：03-ム-300001 許可日：平成17年4月1日）を得て、農業に関する求人、求職の受付および職場

の紹介を行う無料職業紹介事業を実施しております。

- (1) 募集内容：①農業の職場で働きたい人（求職者）②雇用を拡大したい岩手県内の農業法人等（求人者）
- (2) 募集期限：随時受け付けています

お問い合わせ先

岩手県農業公社 ☎ 019 (623) 9390

〒020-0024 盛岡市菜園1-7-23

FAX: 019(623)9396

E-mail: ninaite@i-agri.or.jp

URL: http://www.i-agri.or.jp

新・農業人フェア 東京 (9/15・08/3/15) 出展

10月6日(土) 農業体験ツアー開催(県内)

10月7日(日) 就農相談会開催 (盛岡)

宅地付き農地分譲

岩手県雫石町コテージむら 宅地付き農地分譲中！

いわてに住もう！ 農業をやるう！

コテージむらホームページ
http://www.i-agri.or.jp/cottage/



決め手は青森県！新規就農するなら青森県！！



青森県では、広く豊かな耕地や夏の冷涼な気候などを利用した野菜・果樹の生産がさかんです。

特に、りんご、ながいも、にんにく、ごぼうが、全国1位。この他にも、さくらんぼ、

露地メロン、だいこん、にんじん、夏秋トマト、こかぶなどがさかんに生産されています！

就農相談を受付けてます！

青森県で、

「これから本格的に農業を始めたい」「農業分野での就職を考えている」「農業に少しでも興味を持っている」etc…。

新しく農業を始めたい・農業分野に就職したいと考えている皆さんからの相談を受け付けております！

新・農業人フェア 東京 9/15 (土) 参加します。

無料職業紹介所を開設中！

「農業を始めたいが独立は難しい」
「自分の可能性を確かめながら前進したい」
「独立を目指して農業生産法人・農家で働きたい」etc…

農業への就職先を紹介・あっせんします！

人手が足りない農家・農業生産法人が皆さんをお待ちしています！



無利子資金貸出中！

「研修機関で農業を学ぶための資金を借りたい」
「就農の準備資金が足りない」
「営農初期に必要なとなる営農費・生活費が欲しい」etc…

就農を目指している人たちを資金面でバックアップ！

無利子資金の相談を受け付けております。

就農、そして認定農業者に！

就農相談→就農準備→経営開始・経営安定→認定農業者と各ステップに応じてしっかりサポートします！

お問い合わせ先
(就農相談窓口)

青森県新規就農相談センター (社団法人青い森農林振興公社)

☎ 017(773)3131

青森市新町二丁目4番1号 青森県共同ビル6F
FAX. 017(734)1738 URL: <http://www.aomori-norin.jp>

青森県担い手育成総合支援協議会 (事務局：青森県農業会議)

☎ 017(774)8580

青森市本町2-6-19 青森県土地改良会館内
FAX. 017(774)8588

全国新規就農相談センター

農業を仕事にするための総合イベント 新・農業人フェア'07

開催時間 10:30~16:00 [全会場共通]

●東京会場

9/15 (土)：池袋サンシャインシティ・ワールドインポートマート A2、A3ホール
11/17 (土)：東京しごとセンター

●大阪会場

12/22 (土)：OMMビル2F展示ホールA、B

※会場の案内図は36頁に掲載

●農業法人等合同会社説明会

農業法人等への就職希望者のために、従業員を募集している経営者と面談できるブースを設置します。

●新規就農セミナー

新規に農業を始めるためのガイダンス、新規就農者、農業法人就職者による事例発表などを行います。

●新規就農相談会

受け入れ希望都道府県・市町村ごとのブースなどを設置し、農業を始めるための個別相談に応じます。

●農業インターンシップ

農業法人で就業体験を希望する人(学生・社会人)のためのブースを設置し、相談に応じます。

●田舎暮らし相談会

田舎暮らしを希望する人のためのブースを設置し、相談に応じます。

●チャレンジ!ファームスクール

合宿形式による農作業実習の概要について説明します。

●入場無料 ●入退場自由 ●服装自由 ●履歴書不要 ●家族・友人連れ歓迎

<http://www.nca.or.jp/Be-farmer/>

お問い合わせ／全国新規就農相談センター

☎ 03 (3507) 3088

農林漁業
ふるさと情報



大規模農場を動かす 新進女性農業経営者

滋賀県湖北町 有限会社ニューファームSAYURI

田中小有里さん

泥まみれのイメージを壊したい

滋賀県の琵琶湖北部、湖北町にある(有)ニューファームSAYURI取締役の田中小有里さん(28歳)。ピンクのウェアを身にまとい、キャップにスリムジーンズという装いは、そのまま街でのショッピングにも通用しそうな服装だ。

「いかにも『農作業スタイル』みたいな格好でない、普通の服装にしています。汚いとか、きついか、農業の泥まみれのイメージをなくしたいんです」

日焼け止めクリームを塗ってUVケアもばっちり。色白の姿を見ると、ほかの職業に就く女性となんら変わりがない。休日には名古屋や京都に足をのびして、好きなブランドの洋服を買いに行く。

「休みの日も田んぼのことが気にかかるんですよ。だから、わざわざ県外まで出かける。『こんなに遠くに来たなら天気も違うから考えても仕方ない』て、あきらめて買い物に集中できるから(笑)」

田んぼの話になると、すっかり経営者の顔付きに。水稲54畝、小麦30畝、大豆

32畝、合計116畝という大規模農場を切り盛りする若き女性農業者として、すでに「自分の『農場』という意識が確立されている。しかし、就農前はサラリーマン家庭で育った普通の女の子だった。

「後を継いでくれ」と頼まれて

田中さんは隣接する長浜市出身。現在、代表取締役を務める木津治さん(74歳)と彼女の母親は知り合いで、中学3年の夏休み、湖北町の木津農園へアルバイトに来たのが、二人の最初の出合いだ。

初めは草刈りなどの軽作業から、慣れてきたら田植えの助手まで、5月の連休や夏休みは必ず農園へ顔を出した。当時の彼女を木津さんは「とにかく飲み込みが早いというか、勘がいい子やった」と評する。しかし、このころはまだ農業を「バイト仕事」ととらえていた。中学から大学時代まで通い続けたのも、ほかのバイトより時給がよかったからだ。

ところが大学2年、20歳のときに転機が訪れる。木津さんから「おれの後継者になつてくれないか」と誘われた。彼の



琵琶湖周辺は一大農業地帯。広々とした水田が広がる(写真上)。農作業の間でもひっきりなしに携帯が鳴る。取締役として忙しい毎日(写真下)。町のみんなに愛されるマドンナ的存在。泥まみれにならない農作業を自ら実践(写真左)



無駄のない動作で田植え機の準備をする田中さん



社名の「SAYURI」のピンク色が目立つ社屋兼倉庫

子どもたちは皆、ほかの職業に就いているからだ。「継いだ後、つぶしてしまってもかまわないから」という木津さんの言葉に、逆にチャレンジ精神が沸き起こり、「はい、やります！」と快諾した。

それから大学近くの下宿を引き払い、卒業までの2年間は、実家から通学しながら農作業を覚えた。それまでバイト扱いでやさしくされていた田中さんは、木津さんのスパルタ式の指導を受ける。

「そりゃあ、経営継承者となればバイトとちやう。仕事を丸投げしたんも、肌で感じて、経験で覚えてもらうためや」と木津さん。機械の操作を間違えば怒声を浴びせ、厳しく指導した。それでも「1

望んでいるかすぐわかる」勘のよさは相変わらずで、田中さんはめきめきと農業者として成長していった。そして大学を卒業した23歳の年に、本格的に就農した。

女性の就農者が増えてほしい

新規就農する場合、野菜や果樹などは小面積でも一定の収入が得られ、参入しやすいイメージがある。一方、水稲は生計を立てられるほどの農地の確保や、大

型機械の用意が難しく、複合経営は別として、専業経営を考える就農者は少ない。「水稲は大変そうやなあといわれるけど、実は女性が一番参入しやすいと思うんですよ。機械化が進んでいて近代的

やし、ほかの作物に比べたら農薬の量が少ないんで出産や育児にかかわる女性でも安心ですよ」

それでも男性と同じようにやりたいと、華奢な腕で30kgの米袋を軽々と持ち上げ、大きなトラクターを軽快に転がす。負けず嫌いと呼ばれる彼女の本領発揮だ。

「信頼度を高めていって、女性でも田んぼを任せてほしいよぶやといわれた。女性の就農者が増えてほしいんです」

そうはいつても、最初から周辺の農家に認められたわけではない。就農当初は「ちゃんど、できんのか?」「すぐ辞めるんちやうんか?」と、周囲の人たちに心配された。だが、彼女の懸命な農作業姿に心を動かされ、集落の人たちは働き手の高齢化で耕作が難しくなった田んぼを任すようになる。さらに、きれいに管理された田んぼを見て、また一人、また一人と任せる人が増え続け、現在の大規模な農地面積になったという。

「実際の利益につながる作業じゃなくても、ほ場は常にきれいにしておく。それは『あの人なら安心して任せられる』といわれるための気配りなんです」

そして2006年4月、田中さんの名前を冠した有限会社を設立。法人化したことで、さらに信用度が増し、農地の借り入れや、資金の調達、設備の投資などがスムーズに運ぶようになった。木津さんが代表取締役だが、いずれ退き、田

中さんが社長になる予定だ。

町のみんなに愛される農園に

農業者は農作業だけが仕事ではない。農協や行政との折衝などをこなすのも、取締役である田中さんの役目だ。そこでは父親よりも年齢の離れた人と渡り合い、きちんと意見も述べる。「最近の会合では、おれはマネージャーとして付いていってだけ」と木津さんは笑う。

そして木津さん直伝の「三方よし」の精神も発揮。「三方よし」とは、売り手よし、買い手よし、世間よしという近江商人の経営哲学。商いの理念として「当事者だけでなく、世間社会にも還元して皆でもうけよう」という心意気で会社を経営している。ほかの農園を辞めたベテランの人を雇い直したり、地域の運動会があれば冷たい飲み物を差し入れしたり。この気配りが集落の人たちの心を動かした。「こんなにも人を大事にするんなら、この子はきつとわたらの田んぼも大事にしてくれるはずや」と。

「地域に愛される農園づくりを目指したいんです。担い手として安心して田んぼを任せられる農業者になりたい。みんなでもうけて、みんな笑顔に。湖北町が明るい農村になるよう、がんばりたい」

彼女は町を大家族のようにとらえ、女性特有の「母なる愛」を注ぎ続ける。



農業のイメージを 変える仕事がしたい

茨城県東海村 株式会社照沼勝一商店 廣瀬将考さん

なかなか踏み出せなかった
「あと一歩」

廣瀬将考さん（28歳）は、4月に茨城

県東海村の農業生産法人・（株）照沼勝一商店に就職したばかり。農業に関心を抱いてから、実際に手を触れて働き始めるまで、10年以上かかった。「あと一歩がなかなか踏み出せなかった」と語る。

千葉市稲毛区で育ち、周辺には田んぼも畑もなく、農業とは無縁だった。高校



中国からの研修生を指導。責任はあるが学びも大きい

生るとき、電車で青年海外協力隊の広告に目をひかれた。「こういう世界や生き方があるのか。日本では食べられて当たり前ののに」と衝撃を受けたという。農への関心が芽生えたきっかけだった。

大学では環境保全について学び、「さて就職」という段で迷った。「青年海外協力隊のパンフは取り寄せたものの、一歩を踏み出せなかった」と話す。「食と農をつなぐ仕事をしよう」と大手外食産業への就職を選んだ。

しかし、マネジメントなどの仕事をこなすうちに「食の提供の基本はやはり作ることだ」と、農業への思いが強まり、3年半で退職することにした。

きっかけは 全国新規就農相談センター

会社は辞めたものの、具体策に迷って悶々とする日々を送った。道を拓ききっかけになったのは、全国新規就農相談センターを訪ねたことだ。

「いきなり法人就職、という道もあったのですが、農業のことを何も知らないのが不安で、ためらいがあった」



広い農場でトラクターを操るのは初めて

「それなら」と同センターが紹介してくれたのが、水戸市にある日本農業実践学園。1年間、幅広く農業の基礎を学ぶことができるという、ようやく一歩が踏み出せた。

「学園では毎日が実践で、勉強になった。土いじりが単純に楽しく、夏の暑さや冬の寒さも苦にならなかった」

単に基礎知識を得ただけでなく、農業でやっていく決意ができたことも大きな収穫だったと語る。

修了後に法人就職を選んだのは、慎重な廣瀬さんらしく「働きなから技術や農業経営のノウハウを学びたい」と考えたから。

照沼勝一商店は学園からの紹介だったが、さらに「新・農業人フェア」で照沼勝浩社長（44歳）と話し、「目指す道が似ている」と感じて、就職を決めた。「段階を踏み、回り道をして、いろいろ体験したからこそ最後の一歩を踏み切れた」



200筆にも分かれる畑の場所を覚えるのも今の大事な仕事

企業の経営感覚と都会の スピード感に寄せられた期待

一方、社長はその「回り道」を評価して廣瀬さんを採用した。「外食産業で培った企業の経営感覚と、都会のスピード感には得がたい」と語り、会社の中心的役割を担ってほしいと、将来に期待をかける。

同社は50畝のサツマイモ栽培と干し芋加工を中心に経営してきたが、5年ほど前からエコファーマー認定を受け、独自農法を導入するなど、経営改善を進めている。

廣瀬さんは現在、昨年導入された加工用トマトの栽培を担当。病害虫などの対応と判断に悩みつつも「毎日の農作業は楽しくておもしろい」と充実した笑顔を見せる。

「今はできるだけ多くを吸収したい。将来は農業に対する世間のマイナスイメージを変えるような仕事をしたい」

営業のプロとして 攻めの姿勢を貫く

広島県東広島市 有限会社有田園芸農場
麓 久志さん

麓久志さん（25歳）は、(有)有田園芸農場に入社して3年。その名刺には「営業部」と刻まれている。「最近、営業という仕事の深さがわかってきました」と話すその表情は、輝いている。

いろいろな人と共感できる仕事

「花とみどりのトータルプランナー」をうたう有田園芸農場は、花壇苗、野菜苗、観葉植物、鉢花、ジャガイモ等の生産・



「この会社なら思いを受け止めてくれると思った」と麓さん。
左が有田代表

実際、仕事をしてみると、「その通りだった」と麓さん。同社の顧客の9割以上がホームセンターである。営業は地域制で、麓さんは中国・中央エリアを受け持つ。各店舗への納品が、営業の機会でもある。園芸コーナーの担当者に、「こんな花がありますよ」と紹介したり、管理法や適切な販売期間をアドバイスしたりしながら、次の注文をもらう。また、会

先を読んで相手を喜ばせる醍醐味

卸売をしている。パートを含めて約80人の社員は、生産部、物流部、営業部、総務部、業務部のいずれかに所属する。部門制には、各人の役割・責任を明確にする意図とともに、有田隆則代表取締役の「その道のプロになってほしい」という思いが込められている。

麓さんが属している営業部は、事務2名を含めて全9名。最も人数が多いのが生産部だ。入社当初、麓さんは生産部希望だったのだとか。「でも面接で、『多様な花を扱えるし、いろんな人と共感できる営業も楽しいよ』といわれ、『いいですね』と返事してしまった」と笑う。



ジャガイモ畑に立つ有田代表。安芸津産の赤土馬鈴薯も、同社の人気商品だ

社で市場仕入れも任されているため、新品種や流行などを把握し、取引先に情報提供するのも麓さんの仕事のひとつ。市場で花を見ながら、「これは、あの店の〇〇さんに持っていつてみよう」と、店舗担当者の顔を思い浮かべることも。さらに、店頭で堆肥や資材の売れ具合をチェックし、「お客さんは今、畑の準備をしている。今週末は苗が動くはず」と先を読み、いつもより多めの発注を促すこともある。逆に、天気が崩れそうな時には、注文を控えるよう提案する。「読みが的中し、担当者に喜んでもらえた時はうれしいですね」と麓さん。「でも、もつとうれいのは、卸した商品を再発注された時。つまり、お客さんに長く喜んでもらえているということですから」と、ブームとしてではなく、「継続した喜び」を作るのが求められると顔をほころばせる。



フランクに見えるホームセンター担当者との会話にも、営業のセンスが光る

素直に受け止め、
きちんと表現する

有田園芸農場では、毎年数名ずつ新入社員を採用している。求める人材について有田代表は、「やる気は言葉・態度で表現すること」「プラス思考であること」をあげる。麓さんに関しては、「素直に人の話を聞き、なんでも自分の糧にするプラス思考。思っていることを伝える言葉と態度も備えている」と評価する。

今後の目標と会社については、「どこにでも通用する企画書をつくってみたい。入ったばかりでも、やりたいことをどんどん発言でき、やらせてもらえるのがこの会社の魅力」との答えが返ってきた。



永井農場の原点は、酪農部門



ISO9001の認証を取得した永井農場。企業体としての体制を整え、農業経営の持続と発展を目指す永井進専務

オリジナルの“純国産” ブランドづくりを目指す

長野県東御市 有限会社永井農場
専務取締役 永井 進さん



トップランナーの視野

私 たち(有)永井農場は、地域とともに歩みながら、栽培から加工・販売まで行う新しいカタチのファーム(農場)という自負があります。

酪農プラス水稲作、果樹(ブドウ)、野菜(アスパラ、ニンニク)を主力にした有畜複合経営による有機リサイクル農業を実践しています。

1996年の有限会社設立から10年経ち、役員も含め従業員も10人になりました。そこで、06年に品質管理の国際規格ISO9001の認証を取得しました。

代表取締役社長である父親(永井忠)も、専務取締役である私(永井進)も、一般の企業に勤めた経験がありません。有限会社とはいえ、これまでは家族農業の延長といった面がありました。だから、ISO9001の認証取得の際には、企業としての体制を整えることを優先させました。経営の主力である稲作の田植えや収穫など作業工程を洗い出し、マニュアルとして文書化しました。また、経営管理の面では、受発注伝票の処理方法や連絡体制などを明確にしました。

ISO(国際標準化機構)の規格認証シリーズは、企業等の環境管理の国際規格であるISO14001が着目されていますが、あえて品質管理の国際規格ISO9001の認証を取得したのは、企業経営を確立するとともに体制を充実させたいという狙いからです。これから農業経営が持続していくためには、企業体としての経営確立が第一と考えたのです。

一 の長野県の東御市一帯は、20^ア規模の飯米農家が多い兼業農家地帯です。

そのなかで、祖父の代から牛を飼っていました。1944年生まれの父は、農業基本法の制定(1961年)直後、高校を卒業してすぐに農業に就きました。土地利用集積による土地利用型農業の経営規模拡大がままならない時期でしたので、父は、酪農なら規模拡大ができると、本格的に酪農経営に取り組み、頭数や規模を拡大してきました。

父のそうした姿を見て育ちましたので、私も酪農に夢を抱きました。中学卒業後、北海道に行き、酪農学園大学付属高校で学び、酪農学園短大を卒業。20歳でここ長野に帰って、農業に就いたので。

私 が就農した92年当時、父は酪農経営とともに集落内の兼業農家の水田を預かり、稲作を6^ハほど経営していました。

現在の永井農場の稲作は自家作付面積20^ハ (所有地2^ハ、借り入れ地18^ハ)。稲作の作業受託が、耕起・代かき20^ハ、田植え15^ハ、刈り取り16^ハ、その他作業27^ハです。自家のライスセンターで乾燥・調製34^キ分、初摺り5500俵(1俵が60^キ)。育苗が苗箱1万枚あります。

父は、83年から特別栽培米に取り組み、私の就農した92年に、その年からスタートした特別栽培米に取り組みました。現在、すべて有機低農薬米(除草剤1回散布のみ)で、内訳は個人消費者への直売が3分の1、米小売店への販売が3分の



永井農場 (写真上)
永井農場のオフィス。社員が一丸となって新たな経営スタイル“小さいというスケール・メリットをいかに活かせる経営”を構築しようとしている (写真下)



田植え作業中の永井忠社長。「地域の稲作作業を受託する地域農業の担い手であり続けたい」



プロフィール
永井 進 (ながい・すすむ)

1972年長野県生まれ。酪農学園短大卒業後、長野県に戻り、就農。1996年有限会社永井農場を設立、専務取締役役に就任。酪農・水稲・野菜・果樹(ブドウ)のほか、農産物加工(餅、せんべい、玄米茶、巨峰ジュース等)、米の直販と複合・多角経営を行っている。(有)永井農場は、2006年ISO9001の認証を取得。

1、スーパーなどが3分の1。レストランやホテルなどへの直売もしています。米は、原料米の生産履歴、製品精米の製造履歴、発送先をトレースしています。米以外に経営しているのは、大きく分けて加工品、果樹、野菜、酪農の4種類。加工品は、杣つき餅の自家加工、せんべい、こだわみそ、玄米茶などの委託加工・販売がメインです。果樹はブドウで、巨峰0・7鈴、醸造用のシャルドネ、メルローなどが2鈴。野菜は、アスパラ0・6鈴、ニンニク0・2鈴つくっています。酪農は、経産牛28頭(平均乳量8500リットル)、育成牛15頭、牧草地6・5鈴で、生乳は農協に出荷しています。

就

農したばかりのころは、受託した稲作の作業をしていると、作業を委託した農家のおじいさん、おばあさんから「永井農場のおかげで米づくりが続けられる」といつていただいたことを覚えています。その時、「この人たちと一緒に米づくりをしているんだ」という認識を強めました。現在では、3集落の60%にあたる120戸分の稲作作業を受託しています。

しかし、時を経て作業の様子を見守ってくださるお年寄りは少なくなりました。今年ほど、米づくりをする人たちが少なくなつたと感じて、寂しく思われた年はありません。

これからも水田の借り入れや全面作業受託の面積が増えていくと思います。いつきよに経営規模を拡大することは考えていません。自然増で少しずつ拡大できればいいと思います。「永井農場があるこ

とで、この地域の水田の耕作が続いている」といわれるように、地域農業の担い手であり続けることが私たちの願いです。

ワ

イン・プロジェクトを06年から始めました。醸造用ブドウ園を拡大し、専属の従業員を置いていきます。

「日本で一番小さなワイナリー」でいい。地元で消費する、この地でしか味わえないワインづくり、をコンセプトにワイン醸造に取り組んでいます。

酪農も、少頭数だからできること、「小さいスケール・メリット」がいかに経営にしたいと考えています。生乳をフレッシュ・チーズに加工して販売したい。ワインとチーズ、どちらも地元での消費を考えながらつくっています。国産ブドウのワイン、国産の餌で育てた牛から搾った牛乳でつくったチーズ、といった永井農場ならではの「純国産」ブランドの再構築を目指していきたいのです。

そのために、多様な人材がほしい。当面は労働力として、行く行くは経営の仲間・パートナーとしての役割を担ってほしいような人。そんな人を求めています。また、将来は独立して農業を自営したいという人も歓迎です。ワインとチーズが製造・販売できるようになったら、この地域でレストランを開きたいという人も迎えたいと考えています。

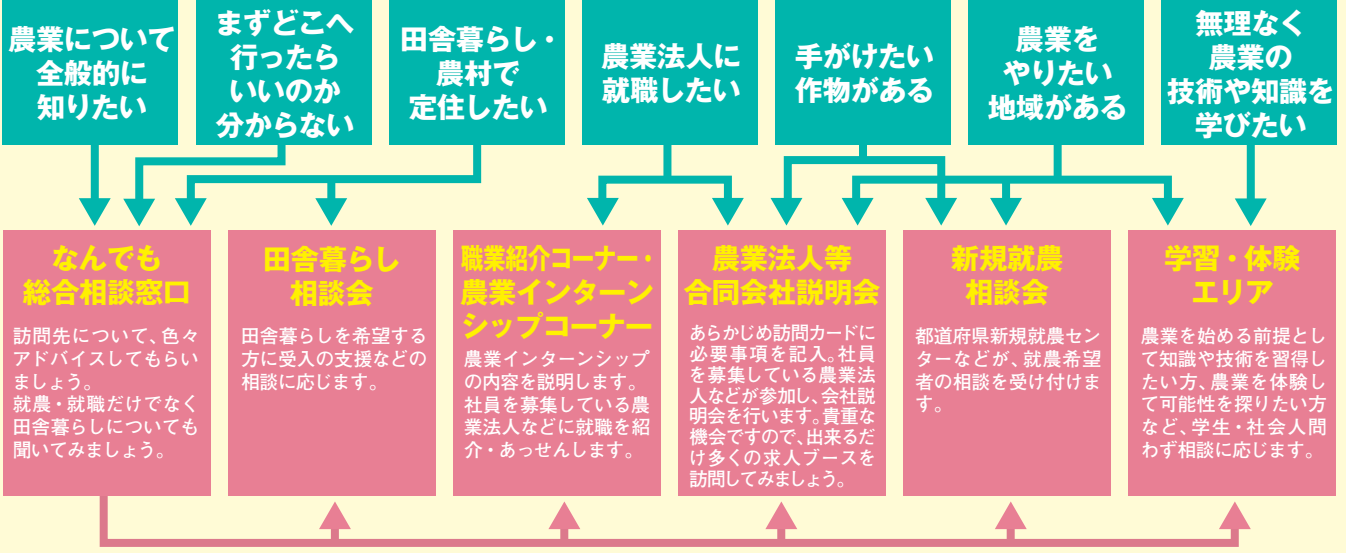
地域とともに、地域のなかで企業的農業経営を確立する。企業的農業経営を核に、地産地消を基本に地域の発展を図る。そうした地域が増え、互いにネットワークを結べば、日本農業の将来が見えてくると私たちは考えています。

新・農業人フェア'07の歩き方

記入・筆記コーナー
まずブース訪問カードに自己PRを記入します

入口
パンフレット、会場マップ、アンケート、ブース訪問カードを受け取ります

あなたのタイプは…？



新規就農セミナー

就農するためのガイダンスや就農者の
体験発表などが行われます。

新・農業人ネットワーク 相談コーナー

新規就農セミナーで体験を発表した就農者が、
直接来場者の質問に答えます。

資料コーナー

パンフレットや書籍など、様々な資料があります。
情報収集のためにお役立てください。

- 東京会場 池袋サンシャインシティ・ワールド
インポートマートA2・A3ホール
6月9日(土)、9月15日(土)、2008年3月15日(土)
東京都豊島区東池袋三丁目1番1号



出口
(アンケートを提出してお帰りください)

開催時間：10：30開場 → 16：00終了
※札幌会場のみ17：00終了

- 東京会場 東京しごとセンター
11月17日(土)
東京都千代田区飯田橋3-10-3



- 札幌会場 ロイトン札幌
2月16日(土)
北海道札幌市中央区北1条西11-1



- 大阪会場 OMMビル
12月22日(土)
大阪市中央区大手前1-7-31



- 大阪会場 梅田スカイビル・
タワーウエスト10F 梅田アウラホール
5月26日(土)、2008年2月24日(日)
大阪市北区大淀中1-1



フェアに行ってみよう

「新・農業人フェア」は、新たに独立して農業を始めたい人、農業法人に就職したい人、野菜など自給農産物を作りながら田舎で定住を考えている人などのための総合イベントです。

このフェアは、1997年度から毎年開催されて、これまでに延べ約5万人の来場者を迎えています。

最近では、「農業にビジネスチャンスを感じる」という若者が増え、農業が職業の選択肢の一つとして認知されるとともに、農業法人においても他産業の有能な人材を雇用する動きが出ています。また、これらの社会的ニーズに加え、団塊世代の大量定年、国民の食の安全、環境に対する関心の高まりなどから、農村・田舎暮らしに関連した情報も求められています。

こうしたことから、全国農業会議所・全国新規就農相談センターでは、広く一般の方々を対象に新規就農の実態や方法



新規就農セミナー

などについてのPRと就農希望者の相談に応えるため、年数回、「新・農業人フェア」を主要都市において開催しています。

具体的には、「新規就農相談会」（都道府県・市町村など就農支援対策を持つ自治体・機関などの窓口相談）、「農業法人等合同会社説明会」（従業員、研修生を求める農業法人の相談窓口）、「新規就農セミナー」（新たに就農するためのガイダンス、新規就農者・就職就農者など経験者からの事例発表会）、「農業インタレンシブコーナー」（農業法人で就業体験を希望する人のための相談に応じる）などに加え、「田舎暮らし相談会」（自給自足など田舎暮らし希望者のための個別相談）も開設しています。

会場に入りましょう

まず受付で、出展している農業法人や自治体・機関の情報を掲載した「パンフレット」「会場マップ」「アンケート」などの資料と「ブース訪問カード」を受け取ります。ここでどんな法人や自治体・機関が出展しているのか目をとおしてみましよう。

会場案内図で、出展者の配置も確認しましょう。つぎに「記入・筆記コーナー」で、入場時にもらった「ブース訪問カード」に記入し、ブースに行つて名刺代わりに提出し、就農相談をしてください。会場によって多少の違いはありますが、「農業法人等合同会社説明会」や自治体等の「新規就農相談会」が各都道府県ごとに並んでいます。ほかにも農業の学校やインターシップを案内している「学

習・体験エリア」、田舎暮らしや農村定住の実情や支援策が聞ける「田舎暮らし相談会」があります。

これらのほかにも「なんでも総合相談窓口」「新・農業人ネットワーク相談コーナー」「職業紹介コーナー」「農業インタレンシブコーナー」があります。漠然と農業をやりたい、農村にあこがれている方々は、このコーナーで相談するのも一つの方法です。

また会場中央のステージでは、「新規就農セミナー」として相談センターの相談員からの「新規就農ガイダンス」、新規就農者や就職就農者の経験・体験などの事例発表が行われ、農業法人での就業体験を希望する方々には「農業インタレンシブコーナー」も行われます。先輩

求人エリア



就農相談エリア



就農相談エリア

たちの経験談やアドバイスを聞くことも重要な情報収集となります。

各ブースに訪問する合間には、「資料コーナー」で各都道府県・市町村、法人の資料を収集するのもよいでしょう。

来場者の方々は、それぞれ「どんな農業をしたいか、稲作か、野菜か、はたまた畜産か」、あるいは「どこの地域が希望か」などさまざまな目的を持っていきます。また、自治体・機関、農業法人もいろいろな支援策や経営形態があります。まずは、じっくりと情報を集め、相談を重ねることが大事です。そして、希望する現地を訪ねることが必要でしょう。

フェアは、来場者の方々に多くの情報を持つて帰っていただく場です。そして、面接や試験ではなく、あくまでも就農・定住に関する総合イベントですので、お気軽にご参加ください。

最後に、このフェアをさらに充実させていくため、お帰りの際には「アンケート」の記入・提出にご協力ください。



総合相談窓口

Uターン・新規参入・後継者の皆さん 中国地方で就農するなら！ 農業者年金加入者の仲間になりませんか？

新規就農される方を含めて、農業者の皆さんが加入している国民年金の上乗せ年金として、農業者だけが加入できる農業者年金制度があります。

国民年金の支給額は40年加入で一人当たり月額6万6千円、夫婦あわせて月額13万2千円ですが、農家の老後の家計費は夫婦二人で月額約26万円かかっています。

このように国民年金だけでは老後の備えは十分とはいえ、老後の生活費は自分で準備する必要があります。サラリーマンは国民年金(基礎年金)の上乗せ年金として厚生年金に加入しています。新規就農された皆様も農業者年金に加入してサラリーマン並みの年金を受け取りましょう。

この農業者年金は、公的年金ならではのメリットに加え、政策年金ならではの特別な支援があります。

新規就農者への支援・優遇制度

- 農業に従事されている方(60歳未満の国

民年金第1号被保険者で年間60日以上農業に従事)は誰でも加入できます。

- 自分が積み立てた保険料とその運用実績により将来受け取る年金額が決まる積立方式(確定拠出型)の年金なので、財政基盤が安定しており、少子高齢化時代でも安心な年金制度です。
- 保険料の額は、自分の必要とする年金額の目標に向けて自由(月額2万円~6万7千円)に決められます。
- 終身年金で80歳までの保証付きです。
- 支払った保険料は、全額(1人年額80万4千円まで)が社会保険料控除の対象となり、所得税・住民税の節税(支払った保険料の15~30%程度)になるなど、公的年金ならではの税制上の優遇措置があります。
- 認定就農者(認定農業者)で青色申告をしている方など農業の担い手には、政策年金ならではの保険料の国庫補助(月額最高1万円)があります。



● 運用成績の推移 (単位: 百万円、%)

	運用総額 ①	時価総額 ②	総合収益 ②-①	修正総合 利回り
平成14年度	23,512	22,948	△563	△4.65
平成15年度	40,483	42,335	1,852	5.99
平成16年度	58,740	60,430	1,690	3.40
平成17年度	76,017	82,619	6,603	9.80
平成18年度	97,422	100,345	2,923	3.27

※過去5年間の利回りの平均は3.45%



● 農業者年金に関するお問い合わせは、中国地方各県の農業会議まで

鳥取県農業会議 ☎0857(26)8371
岡山県農業会議 ☎086(224)2111
山口県農業会議 ☎083(923)2102

島根県農業会議 ☎0852(22)4471
広島県農業会議 ☎082(545)4146

全国農業図書

みんなで食育

食を育み、
農・命・未来を育む

砂田 登志子 著



おいしく食べて、スクスク元気に育つ「食育」は、自分の健康は自分で守り、つくっていく生涯学習です。現代の日本では飽食や過食が社会問題となっており、いまこそ、「食べる」ことの大切さ、「どう食べるか?」ということを真剣に考える必要があります。

「食育とは何か?」「なぜ食育が大切なのか?」

健康長寿の知恵を次世代へ伝承するための「漢字で食育」、子どもたちをひきつける具体的なアプローチなどの取り組みを、イラストを用いながらわかりやすく説明しています。

コード番号17-63、A5判・58頁、
定価 350円(税込) 送料実費

実践型農業マーケティング

フィールドワークに基づく、
実践的な
マーケティング手引書!!

マーケティングプロデューサー
平岡 豊 著

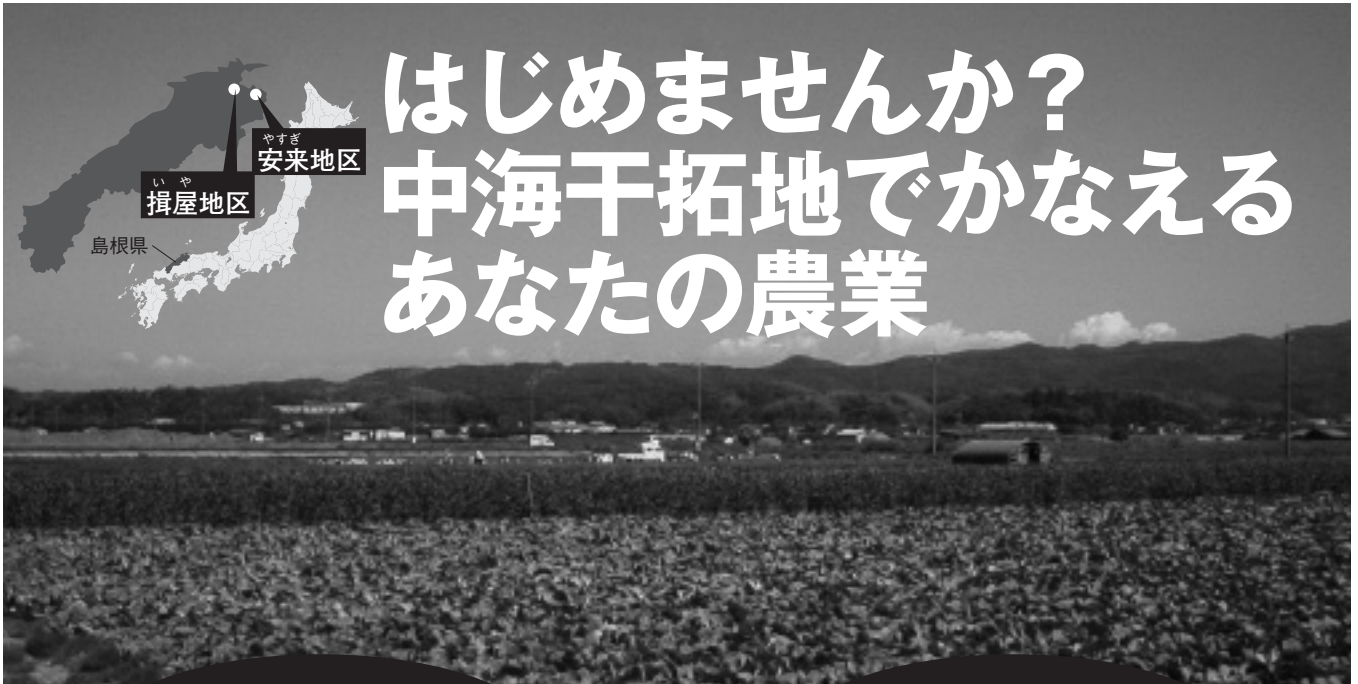


「農業マーケティングを成功させるには、経営形態と目指すべき方向を見極めて、適切な顧客層と流通チャンネルを明確にすること」(第1章マーケティングの基礎知識より)

農業分野におけるマーケティングの第一人者・平岡豊氏が、フィールドワークによって得た豊富な実例を紹介するとともに、実践的な農業のマーケティングについて述べる。

コード番号18-20、新書判・179頁
定価 800円(税込) 送料実費

発行 全国農業会議所
〒105-0001 東京都港区虎ノ門1-25-5 虎ノ門34M Tビル
TEL. 03 (5251) 3907 <http://www.nca.or.jp/tosho/>



はじめませんか？ 中海干拓地でかなえる あなたの農業

干拓農地を 借りて始める

干拓農地リース事業

(中海干拓揖屋・安来地区入植促進農地貸付事業)

広大な農地を最大5年間
無料でお貸しします。

●ご利用可能な方

- ①リース期間終了までに対象となる農地を購入される方
- ②農地の維持管理に必要な土地改良賦課金を支払える方

●メリット

- ①営農開始が借地でできます。
- ②リース期間が長期であり、経営安定が図れます。
- ③営農開始時の初期投資が軽減できます。
- ④中途解約してもペナルティーはありません。

干拓農地を 買って始める

農地等取得支援事業

(中海干拓揖屋・安来地区農地等取得支援事業)

中海干拓農地の取得資金を
無利子で融資します。

●資金の種類(金利は無利子)

- ①干拓農地取得費を融資(最長20年均等償還)
- ②パイプハウス建設費用の1/2以内を融資(最長10年均等償還)
- ③農地高度化のための土壌改良等に必要な資金(10a当たり18万円)を融資(最長15年償還、内5年据置、償還免除制度あり)

●ご利用可能な方

- ①認定就農者(概ね40歳以下)
- ②認定農業者
- ③農業生産法人
- ④農地リース事業を実施している①～③の方

新・農業人フェア出展決定

9月15日東京会場・12月22日大阪会場
御来場お待ちしております。

●詳しい内容・お問い合わせはこちらへ

財団法人 **しまね農業振興公社** (島根県青年農業者等育成センター)

HP <http://www.agri-shimane.or.jp/>

E-mail kousha@agri-shimane.or.jp

就農相談 ☎0852 (32) 2300

干拓情報 ☎0852 (22) 5115

〒690-0888 島根県松江市北堀町15番地

U・I ターン 相談会を 開催いたします!



新・農業人フェア'07 (東京・大阪) の会場におきまして、
宮崎県U・Iターン相談ブースを設け、相談会を行います。

- ・田舎暮らしをしたいが仕事もしたい!
 - ・自分で農業をやりたいが不安がある。出来ればどこかに勤めながら農業をやってみたい!
- といった考えをお持ちの方、
東京・大阪での相談会 (宮崎県ブース) にぜひお越しください。



太陽とみどりの国みやざき!

宮崎県農業法人経営者協会 会長 新福 秀秋

農業は宮崎県の基幹産業です。
本県には、南国独特の温暖・多照な気候を最大限に生かし、野菜や畜産など様々な経営体、日本でも有数の農業法人があります。
農業法人で、今までの会社経験や技能を活かしませんか。意欲のある方、宮崎県ブースでお待ちしております。

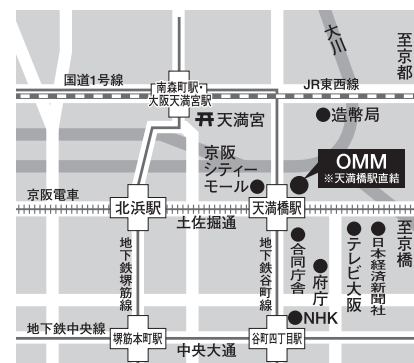
東京会場 (新・農業人フェア'07)

日時: 9月15日 (土)
場所: 池袋サンシャイン
時間: 10時30分~16時00分



大阪会場 (新・農業人フェア'07)

日時: 12月22日 (土)
場所: OMM
時間: 10時30分~16時00分



事務局のご案内

■宮崎県農業法人経営者協会
事務局 (宮崎県農業会議) ☎ 0985 (29) 6333
〒880-0803 宮崎市旭1-3-6 県庁6号館1階

■宮崎県新規就農相談センター
宮崎県農業会議 ☎ 0985 (29) 6333
〒880-0803 宮崎市旭1-3-6 県庁6号館1階

社団法人宮崎県農業振興公社 ☎ 0985 (51) 2631
〒880-0913 宮崎市恒久1-7-14

【相談日】
月~金曜 (土、日、祝祭日を除く)

【相談時間】
午前9時~午後4時まで
(事前の電話予約をお願いいたします)

【URL】
<http://www.nokokei.or.jp/>

山口県は、意欲的に農林漁業に取り組む方を求めています

やまぐちの豊かな自然の中で夢を実現しませんか



自ら農業・漁業を営むことを希望される方へ

(財)やまぐち農林振興公社では、技術を習得するための研修や資金、農地や漁船の取得等、様々な支援制度について紹介を行うとともに、就農・就業や生活基盤となる住宅等の相談に応じています。

自ら農業を営む方への支援

新・農業者フェア
東京(9/15)、大阪(12/22) 出展

- 支援1 就農への意思決定から早期の経営安定まで一貫した支援体制が整備されています。
就農現地で新規就農者と意見交換するバスツアーの開催、先進農家における体験研修農場の設置、営農・生活等の身近な相談者として現地就農アドバイザー等の配置などを行っています。
また、インターネットを活用した「体験・援農支援システム」により、農作業体験等の情報や場の提供を行っています。
HP…<http://taikennou.y-agreen.or.jp>
- 支援2 月額15万円(上限)の研修費助成制度があります。
農業経験が無く研修を希望される方に対して、一定期間の研修費を助成する制度があります。
- 支援3 無利子・低利の資金が借りられます。
就農支援資金や新規就農資金など、有利な資金制度があります。
- 支援4 農地を無償で借りられます。
農地を契約期間の1/2の期間(5年間を限度)、無償で借りることができる制度があります。
- 支援5 農業機械・器具のリース制度があります。
研修のための施設・機械や、経営開始に必要な機械・器具のリース制度があります。

自ら漁業を営む方への支援

漁業就業支援フェア
東京(8/25)、大阪(8/18) 出展

- 支援1 就業への募集から技術習得のための研修、独立・着業・定着までの各段階における支援体制が整備されています。
技術習得のための短期研修制度、漁業選択研修制度、長期漁業技術研修制度があります。
詳細については、インターネットを利用ください。
HP…<http://www.jf-yimg.or.jp>
- 支援2 月額15万円(上限)の研修費助成制度があります。
漁業経験が無く研修を希望される方に対して、一定期間の研修費を助成する制度があります。
- 支援3 無利子・低利の資金が借りられます。
漁業経営の開始に必要な資金や漁船・漁具等の設備資金など、有利な資金制度があります。
- 支援4 漁船・機械等のリース制度があります。
経営開始に必要な漁船・機械等のリース制度があります。

※これらの支援を受けるためには、一定の要件を満たす必要があり、また、要件を満たしても、県や市町の予算等の関係で支援を受けられない場合がありますので、ご注意ください。

農業・漁業法人や林業事業者への就業を希望される方へ

公社では、山口県農業会議と連携し、農業法人への就業について無料の職業紹介事業に取り組んでいます。また、山口県森林整備支援センターや山口県漁業就業確保育成センターと連携し、林業事業者や漁業法人への就業を希望される方の相談に応じます。

里山に興味のある方、UJIターンをお考えの方へ

●やまぐち里山暮らし体験の参加者を募集!

山口県では、県外在住の方に、本県の里山の良さを実感していただく「やまぐち里山暮らし体験」を実施します。(詳細は下記ホームページに掲載)
ぜひ、来て・見て・感じてください。素敵な出会いが待っています。

夏体験

開催日 平成19年8月4日(土曜日)～6日(月曜日)
場所 山口県美祿市(秋吉台カルスト地帯に連なる山間のまち)
概要 森の駅「小さな森」(自然体験施設)を拠点に体験・宿泊
メニュー 森の中で遊ぼう、夜の森の散策、木工クラフト、里山クッキング、まちの様子を見てみよう、交流会
募集人数 先着10名 現在募集中

秋体験

開催日 平成19年9月22日(土曜日)～24日(月曜日)
場所 山口県阿武郡阿武町(萩市に隣接し紺碧の日本海と緑豊かなまち)
概要 農林漁家民宿を拠点に体験・宿泊
メニュー 森を元気にしよう、里山散策、田畑の見学、魚釣り、まちの様子を見てみよう、交流会
募集人数 先着10名 期間 8月7日(火曜日)～9月10日(月曜日)



里山についてのお問い合わせは…

山口県農林水産部森林企画課

〒753-8501 山口県山口市滝町1-1
TEL:083(933)3460 FAX:083(933)3479
E-Mail: a17700@pref.yamaguchi.lg.jp
URL: <http://www.pref.yamaguchi.lg.jp/cms/a17700/index/>

●森林・竹林ボランティアに参加しませんか!

～ボランティアグループのご紹介～
県内では、やまぐちの里山を元気にする活動が行われています。一緒に里山をきれいにしませんか。
森林ボランティアグループ22団体、竹林ボランティアグループ18団体があり、主なグループの活動内容などはホームページに掲載。
(県森林企画課トップページ(左下アドレス)から「里山へようこそ」や「やまぐちの里山定住応援サイト」へ)

●農山漁村交流をしてみませんか?

～やまぐちスロー・ツーリズムのご案内～
農山漁村の豊かな自然や伝統文化、農林漁業や生活体験といった地域の魅力、そして人々とのふれあいをゆっくり楽しんでみませんか。
やまぐちスロー・ツーリズム総合推進センター(山口県地域振興部中山間地域づくり推進室)が、体験交流メニュー、自然・文化、交流施設について、ホームページを開設。ぜひ、「<http://www.yamaguchi-slow.jp>」をご覧ください。

農林漁業への就業に関する総合相談窓口は…

財団法人やまぐち農林振興公社

〒753-0821 山口県山口市葵2丁目5-69(山口県薬庁舎1階)
TEL:083(924)8900
FAX:083(924)5719
E-Mail: yashuno@y-agreen.or.jp
URL: <http://www.y-agreen.or.jp>

農林漁業・農山漁村での就業・定住をお手伝いしています

(財)やまぐち農林振興公社 定住就業企画推進協議会

就農を目指す皆さん、 鳥取県立農業大学校は あなたを待っています！



社会人の皆さん
とともに学びましょう

平成20年度から新教育体系に変わります。次の2つの教育課程で就農を目指す社会人を受け入れます。

養成課程（専修学校）

高校卒業程度の若者とともに学生として、生産から販売までの専門的な知識、技術を体系的に習得します。退職後就農者やI.Uターンなどの社会人も特別枠を設けて受け入れます。
5専攻コース（果樹、野菜、花き、作物、畜産）に分かれます
①修学年限 2年間
②定員 30名（社会人特別入学枠5名程度を含む）
※社会人：平成20年4月1日現在で年齢65歳未満、かつ3年以上の職歴があり、卒業後県内に就農することが見込まれる方。

研修課程

退職後就農予定者やI.Uターンなどの就農希望者を対象として、短期間で就農の際に即戦力となる技術や知識の習得を目指します。
①修業年限は1年以内とします。
②3ヶ月、6ヶ月、12ヶ月の各コースがあります。
(注1) 養成課程の募集要項をホームページ上で公開しています。また電話、電子メールによる資料請求も受け付けています。
(注2) 研修課程の募集要項は10月頃公開予定です。
※学生寮（男女別棟、個室（バス・トイレ等共用））を完備。
詳しくは下記までお問い合わせください。

③社会人特別入学枠の受験日程

区分	前期試験	後期試験
受付期間	11月5日(月)～30日(金)	1月7日(月)～31日(木)
試験日	12月16日(日)	2月17日(日)
合格発表	12月21日(金)	2月22日(金)

新・農業人フェア 大阪(12/22) 出展

鳥取県で農業を
したいあなた
連絡をお待ちしています！

お問い合わせ 鳥取県立農業大学校

☎ 0858(45)2411 担当/須崎(すさき)
〒682-0402 鳥取県倉吉市関金町大鳥居 1238
E-mail: nogyodaigaku@pref.tottori.jp
URL: http://www1.megaegg.ne.jp/tonoudai

FAX. 0858(45)2412

長野県 飯田市



いっしょに収穫する。汗を流す。 農家でごはんを食べる、宿泊する……。 南信州・飯田市で4日間だけの農業体験。

空明るく、風匂やかなるまちと詠われる南信州飯田に収穫の秋がやってきました。南アルプスと中央アルプスに囲まれた果樹園では、リンゴや梨、柿たちが収穫の時を静かに待っています。今秋も、ここで農作業をお手伝いしてくれる「ワーキングホリデー」参加希望者を募集します。これは、「観光向けの農業体験」でも「農業研修」といったものでもありません。収穫でとても忙しい農家のお手伝いをしていただくもので、お客様扱いはできません。でも農家の生活にどっぷりと浸かり、畑で汗を流し、いろんなことを教わりながらの4日間は食べ物の美味しさ、収穫の喜びを実感できるものと思います。都市では経験できないことも多く、また、農家の方ともふれあえる、めったにないチャンスですよ。新・農業人フェア'07<9月15日(土)池袋>にも出展！お待ちしております。

春に参加された方の言葉から

- 前日まで仕事に追われていた私ですが、飯田の自然に囲まれた場所でお花の農作業のお手伝いをする事で、初心に返った気持ちになりました。自然に接する事で心があらわれました。
- 美味しい空気、遠くのアルプスの眺めを見ながらの作業でリフレッシュできました。
- 都会のイガイガやストレス解消に、気持ちの良い景色に囲まれて、汗を流す。自分自身の心からだをリフレッシュできるだけでなく、微力ながら、受け入れ先の農家のお役にも立てる。一石二鳥とはこのことですね。
- 2回目の参加。はまりつつあります。自然がたくさん残っている恵まれた環境に身を置けることはすごく幸せだなって思います。また参加させてもらえると嬉しく思います。
- 初めての農作業を経験できたことに加え、風土記や農家の皆さんのお話から、農業の変遷・歴史を学ぶことができました。(農作業の)指示がとても分かりやすかった。お客さん扱わず、日常生活の中で接していただいた。
- 脚立の上でりんごの花摘みをしたのですが、高いところからの眺めが最高でした。受け入れ農家の方も家族ぐるみで、とても親切で楽しい思い出ができました。また参加したいです。



市田柿(干し柿)



リンゴの収穫

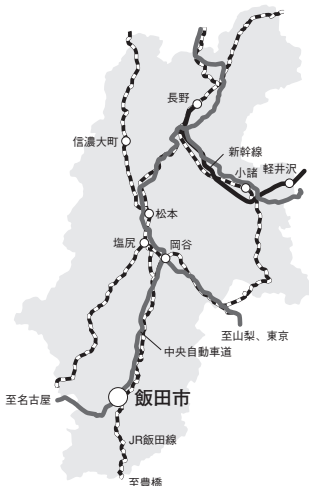
募集要項

- 日程/
第1回：11月1日(木)～11月4日(日)3泊4日
第2回：11月22日(木)～11月25日(日)3泊4日
- 宿泊/作業をする農家(食事は、初日の夕食から最終日の昼食まで付きます。)
- 作業内容/リンゴ収穫、市田柿(干し柿)作業など。
- 募集人員/未定。(受入農家数によりますので、応募者多数の場合はご参加いただけないことがあります。)
- 参加費用/なし。(往復交通費は参加者負担。)
- 申込期限/9月21日(金)必着
(申込受付は9月1日からの予定です。)
- 応募方法/インターネット又は所定の参加申込書によりお申し込みください。(参加申込書は、電話でご請求ください。)
- 参加の可否/参加いただく20日前までに事務局よりお知らせします。

お問い合わせ先

長野県飯田市役所農業課内 ワーキングホリデー事務局

☎ 0265(21)3217
〒395-0817 長野県飯田市東郷281
FAX. 0265(52)6181
E-mail: worholi@city.iida.nagano.jp
HP: http://www.city.iida.nagano.jp/waki/



阿蘇市・波野高原で 農業をしませんか！ これからの農業は人材で決まる！



- 研修期間** 3カ月～
- 研修場所** 阿蘇市波野・先進農家等
- 募集受付** 随時

「研修生」募集！

こんな人を求めています

- U・Jターン：ふるさとで農業を職業にしたい人
農家出身者、大いに歓迎
- Iターン：農業を始めたいと熱望している新規就農希望者
非農家出身者も歓迎

とくに、熊本の波野地区で就農希望される方、歓迎します！

研修内容

- これからの農業経営に必要な知識、技術、農村生活知識等を、先進的な農業法人、農家で実践研修の中から習得。
- NPO法人阿蘇エコファーマーズセンターと提携して、農業人材育成を行います。
- 研修終了後、阿蘇市波野地区の支援農家紹介、仮独立、グループ化により独立、農業法人就職等のお手伝いをします。

お問い合わせ先と申込み

- **阿蘇市役所農政課**
☎ 0967 (22) 3274 FAX. 0967 (22) 4566
〒869-2695 熊本県阿蘇市一の宮町宮地504-1
- **NPO法人阿蘇エコファーマーズセンター**
☎ 0967 (68) 0552 FAX. 0967 (68) 0275
〒869-1401 熊本県阿蘇郡南阿蘇村立野203-1
E-mail:info@asoeco.jp URL:http://www.asoeco.jp

新・農業人フェア

東京 (9/15)、大阪 (12/22) 出展

農業せんね 50才代のあなた! 人生二毛作の実現

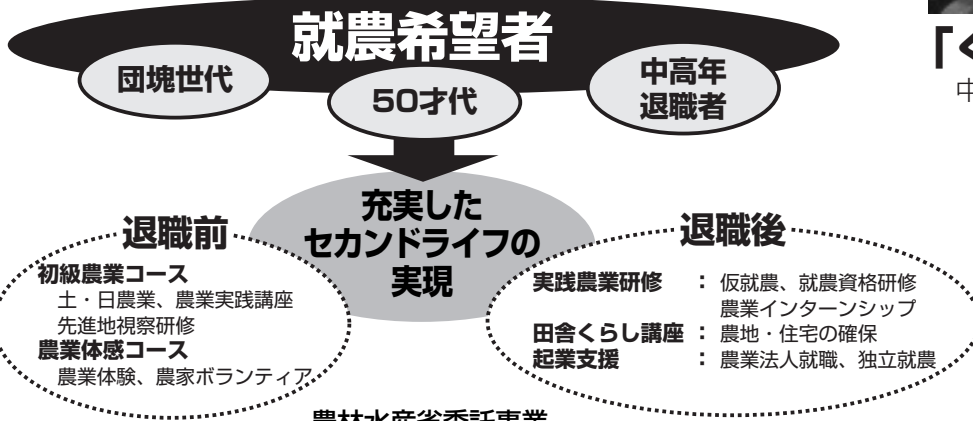
(50才代) (団塊の世代) (定年後)

二毛作人生は ホップ、ステップ、ジャンプで



「くまもとへ来なっせ」

中山さくらんぼ園：中山 康さん
定年退職後に阿蘇でリンゴと
さくらんぼの観光農園経営



シンポジウム「人生二毛作の実現」
平成19年9月2日(日)
13:30~17:00
「KKRホテル博多」
福岡市中央区薬院4-21-1
TEL. 092 (521) 1361

新・農業人フェア

東京 (9/15)、大阪 (12/22) 出展

充実したセカンドライフの実現

NPO法人 阿蘇エコファーマーズセンターがお手伝いします! [担当：財津、吉村] ☎0967(68)0552

〒869-1401 熊本県阿蘇郡南阿蘇村立野 203-1 FAX: 0967-68-0275 E-mail: ecofarmers@asoeco.jp HP アドレス http://www.asoeco.jp/

高知県立農業大学校 研修課「窪川アグリ体験塾」

	高知県新しいなカビジネススクール	就農希望者長期研修
内容	新しいなカビジネススクールは、「農業にチャレンジしてみたい」「農業の勉強をしたい」という就農を希望する方のために、高知県が実施しています。新たに農業を始めるために必要な知識・技術をインターネットで学ぶことができます。卒業要件には、現地スクーリング(農作業体験研修・先進農家視察等一各回15名まで)への参加が必要です。	1・Uターン就農を目指す方に、宿泊しながら自主的に学べると好評のメニューです。目的や希望(施設野菜・水稲・果樹他・農業機械等)に応じて、主体的に研修できます。栽培実習を中心に、農業大学校(いの町)での聴講、先進農家や農業技術センターでも研修できます。新たに、熟年コースも設けました。お気軽にご相談ください。
定員	50名	20名程度
受講料	受講料：無料 スクーリング参加費：1日480円	研修費：1日480円 食事代：朝食200円、昼食400円、夕食400円
備考	今後のスクーリング日程： 2007年 8/23(木)～25(土)・9/27(木)～29(土) ・11/30(金)～12/2(日) 2008年 1/25(金)～27(日)・3/13(木)～15(土)	研修期間：3ヶ月コース 6ヶ月コース 12ヶ月コース ※受付随時。要面接。 ※高知県での就農希望者向け研修です。
URL	http://www.pref.kochi.jp/nousei/newinakai/	http://www.nogyo.tosa.net-kochi.gr.jp/kikan/agri/index.html

長期研修生、
新しいなカビジネススクール受講生
平成19年度生募集中!!



高知県立農業大学校 研修課

☎ 0880 (24) 0007 担当/川瀬、松下
〒786-0042 高知県四万十町黒石665
FAX. 0880 (24) 1272

新・農業人フェア
東京 (9/15) 出展
大阪 (12/22) 出展

北海道 幕別町

募集情報

短期研修生

1年を基準にした農業体験コースです。これから新規就農を目指す方はもちろん、食物についてもっと知りたい、北海道の畑で働いてみたい、農作業を経験したいなど、農業に関心のある方を幅広く歓迎します。

フロンティア研修生

短期研修の後に、新規就農を目標にするコースです。「農業で生きていくんだ」という決意の方は、短期研修を修了した後に審査を経て、このコースに進むことができます。

こんな方を募集します

- 募集人員：若干名
- 就農を目指す方は、概ね35才までの方。体験コースを希望する方については、年齢は問いませんが、心身ともに健康で、農作業が可能な体力のある方。
- 普通自動車免許が必要です。

将来フロンティア研修生を目指される方については、必要となる自己資金を準備できること、妻帯者が前提となります。現在、忠類地区の酪農で新規参入を目指す方、大募集! 詳しくは、事務局までお問い合わせください。

生活環境

- アパート形式の住宅を完備していますので、プライベートはしっかり確保されます。オール電化対応の快適な施設です。
- 幕別・札幌市街地までは車で15分ほどで、金融機関や食料品等の生活に必要なものが揃います。隣接する帯広市・忠類市街地へは30分程度です。
- 農作業のある時期は手当が支給されますが、冬季間には、支給されない場合があります。

まくべつ農村アカデミー

事務局 財団法人幕別町農業振興公社
☎ 0155 (57) 2711

北海道中川郡幕別町字新和162番地128
FAX. 0155 (57) 2716
<http://north.hokkai.net/nogyosinkokosya/>
E-mail:nogyosinkokosya@north.hokkai.net

新・農業人フェア

東京 (9/15)、札幌 (08/2/16) 出展



空と土の間で生きるという選択

幕別町は十勝平野の中央部に位置する町です。畑作、露地野菜、酪農等の多様な農業が営まれており、きっとあなたの希望する研修ができるでしょう。まくべつ農村アカデミーは、平成7年に開校以来、多くの卒業生を送り出してきました。新規就農を希望される方々をはじめ、大学における卒業論文のためや消費者として農業を深く知りたい方等、様々な方がおられました。本気で農業について考えたいのなら、私たちはきっとあなたの力になることができます。

全国新規就農相談センター

農業を仕事にするための総合イベント 新・農業人フェア'07

開催時間 10:30～16:00 [全会場共通]

東京会場

9/15 (土)：池袋サンシャインシティ・
ワールドインポートマート A2、A3ホール
11/17 (土)：東京しごとセンター

大阪会場

12/22 (土)：OMMビル2F展示ホールA、B

※会場の案内図は36頁に掲載

- 農業法人等合同会社説明会
農業法人等への就職希望者のために、従業員を募集している経営者と面談できるブースを設置します。
- 新規就農セミナー
新規に農業を始めるためのガイダンス、新規就農者、農業法人就職者による事例発表などを行います。
- 新規就農相談会
受け入れ希望都道府県・市町村ごとのブースなどを設置し、農業を始めるための個別相談に応じます。
- 農業インターンシップ
農業法人で就業体験を希望する人(学生・社会人)のためのブースを設置し、相談に応じます。
- 田舎暮らし相談会
田舎暮らしを希望する人のためのブースを設置し、相談に応じます。
- チャレンジ!ファームスクール
合宿形式による農作業実習の概要について説明します。
- 入場無料 ●入退場自由 ●服装自由 ●履歴書不要 ●家族・友人連れ歓迎

<http://www.nca.or.jp/Be-farmer/>

お問い合わせ
全国新規就農相談センター ☎ 03 (3507) 3088

全国農業図書



元農林水産省農政部長
羽多 實 著

日本農業に対する
誤解を解く好著

日本農業の 実際知識

日本の農業・農政に対する誤解が多々あります。例えば、「日本農業は過保護だから効率化されない。保護を止めれば効率化する」「日本の農業は全体として小さい農家が効率の悪い農業をやっている」などです。筆者は、日本農業を理解する鍵は、多様に分化しながら変化しつつある農家の姿＝「農家の分化」という実態を理解することであり、「農家を平均で見ているのはほとんど何も理解できない」と主張します。

コード番号17-42、新書判・155頁、定価 800円(税込)、送料実費

発行 全国農業会議所
〒105-0001 東京都港区虎ノ門1-25-5 虎ノ門34Mビル
TEL. 03 (5251) 3907 <http://www.nca.or.jp/tosho/>

日本農業実践学園

専修科コース

10月入学の学生募集中

- 資格：短大・大学卒、又は同等の者。農業初心者でも可。
- 期間：1年間
- 入学時期：4月、10月
- 経費：食費のみ(学費、寮費は免除)

就農準備校

受講生募集中

現在の仕事を続けながら、休日(土・日曜日)を利用して、農業の基本的な知識と技術を、実際に農場で土に触れ、作物に触れながら勉強します。農業体験。有機野菜、稲作、農産加工等の入門コース。有機農業の専門コースがあります。

チャレンジ!ファームスクール

研修生募集中

- ニート、フリーターの人を対象にした3ヶ月間の農業研修。合宿形式による集団生活での生活訓練・農作業実習を通して、農業を理解し、働く意欲を高め、将来農業分野で働くことを目的とした研修です。
- 資格：16歳～39歳までの健康な方
 - 研修開始月：4月・7月・10月・1月

- 体験入学：1～5日間(月～金曜日)の農業体験が毎週できます。

農業体験コース

年間通して募集中

全国新規就農相談センター主催による、短期の農業体験コース。年間通して皆さまが希望する時期に体験できます。

野菜、有機野菜、稲作、水耕栽培、酪農、農産加工コースから選択。学生達と一緒に実習します。

- 短期農業体験コース
月曜日～金曜日の5日間、毎週実施。
- 中期農業研修コース
期間：1ヶ月間。毎月実施。
- 農業実践コース
期間：3ヶ月間
開始月：4月・7月・10月・1月

新・農業人フェア

東京(9/15・11/17)、大阪(12/22) 出展

問い合わせ

日本農業実践学園

☎ 029 (259) 2002 担当/真下
〒319-0315 茨城県水戸市内原町1496
FAX: 029 (259) 2647
URL: <http://www.nnjg04.com/>
E-mail: nichinou@atlas.plala.or.jp



- 将来、自然の中で農業がしたい。
- 本格的に農業を学びたい。
- 農業法人に就職したい。
- 青年海外協力隊に参加したい。

この様な希望を持った
20～50歳代の人達が勉強しています。

宮崎県新規就農相談センター

宮崎県での農業研修

1 みやざき農業実践塾での研修(実践コース)

実践的な農業の研修を行い栽培管理能力を習得します。

- 研修期間：
 - ①1年間コース：毎年7月から翌年6月まで
 - ②6ヶ月間コース：毎年7月から12月まで

2 先進農家等での研修

宮崎県内で農業技術・経営能力が高く、指導力の高い個人経営(雇用型の経営)農家に研修生を紹介し、受け入れをお願いします。

3 農業法人での研修

県内で農業生産法人として成果を上げている法人のうち研修生を受け入れている法人に研修生を紹介し、受け入れをお願いします。

4 JAファームでの研修

県内の農協出資型の法人が研修を受け入れます。研修後は中古ハウスや農地もあわせることになっています。

無料職業紹介事業のご案内

宮崎県農業振興公社では、農業法人等への就業を希望される方に対して、無料の職業紹介事業を行っています。



宮崎県新規就農相談会のお知らせ

新規就農、就農のための農業研修、農業法人への就職等について個別に相談に応じます。

詳しくは、電話でお問い合わせ頂くか、ホームページをご覧ください。

- 日時予定：平成19年10月28日(日) 12:00～16:00

●場所：宮崎市内

新・農業人セミナーのお知らせ

宮崎県の新規就農者等が集い、経営発展の参考にして頂くためのセミナーを開催します。新たに就農された方、研修実施中の方、研修を希望される方等の幅広い参加をお待ちしています。

詳しくは、宮崎県新規就農相談センターにお問い合わせ頂くか、ホームページをご覧ください。

- 主催：(社)宮崎県農業振興公社
- 内容：①講演：先輩新規就農者の講演、②分科会、③交流会
- 期日：平成19年7月31日(火) 平成20年2月中旬
- 講演・分科会は13:00～17:00
交流会は17:00～
- 場所：宮崎市内

新・農業人フェア

東京(9/15・08/3/15) 出展
大阪(12/22・08/2/24) 出展

太陽とみどりの宮崎 応援します!! 農業をやりたい人、 やる気のある人



●宮崎県の農業の特徴

農業は宮崎県の基幹産業です。温暖・多照な気候や標高差を最大限に活用し、沿海地域では、施設園芸、早出甘藷、亜熱帯果樹栽培が盛んです。西南地域では、露地野菜、畜産、水稲が栽培されています。山間地では、高冷地野菜、花き、栗、椎茸が生産されています。本県は、特に野菜ではピーマン、キュウリ、花きではスイートピー、畜産では豚、肉用牛、ブロイラーなどが全国有数の産地になっています。

宮崎県新規就農相談センターのご案内

宮崎県農業振興公社では、農業改良普及センター等で長年実践的指導を行っていたベテラン専門相談員が農業に対するあなたの疑問・不安から就農に至るまでの相談に応じております。

- 相談日：月～金(祝祭日を除く) ■相談時間：午前9時～午後4時まで
- ※できるだけ事前の電話予約をお願い致します。

- 宮崎県新規就農相談センター URL <http://www.nokokei.or.jp/>
- 総合窓口 (社)宮崎県農業振興公社 ☎ 0985 (51) 2631 ☎ 0985 (51) 2011
〒880-0913 宮崎市恒久1-7-14
- 分室 宮崎県農業会議 ☎ 0985 (29) 6333
〒880-0803 宮崎市旭1-3-6
- ” JA宮崎中央会 ☎ 0985 (31) 2054
〒880-0032 宮崎市霧島1-1-1

●地区新規就農相談センター(県内8農業改良普及センター)

●県外の就農相談窓口

- 宮崎県東京事務所 ☎ 03 (5212) 9007 〒102-0093 東京都千代田区平河町2-6-3 都道府県会館15階
- 宮崎県大阪事務所 ☎ 06 (6345) 7631 〒530-0001 大阪市北区梅田1-3-1-900 大阪駅前第1ビル9階
- 宮崎県福岡事務所 ☎ 092 (724) 6234 〒810-0001 福岡市中央区天神2-12-1 天神ビル8階

就農理由と就農地の選択から見た新規就農

新規参入した人が農業を仕事に選択した理由と、なぜその地を就農地に選択したのかは、就農希望者にとって関心のあるところでしょう。全国農業会議所が行った新規就農者へのアンケート調査結果（平成13年度実施・回答413人）から就農した理由と就農地選択の実態を紹介します。

新規参入した人が就農した理由として最も多いのは、「農業が好きだから」（22%）、「自然や動物が好きだから」（21%）、「農村の生活が好きだから」（20%）となっています。

就農時の年齢別に見ると、おもしろい傾向が表れます。農業や自然、有機農業への意識は全年齢層において支持されています。農村生活や食に対する意識は中高年層が高く、一方、経営に対する意識は若年層が高くなっています。こうしたことから、就農に対する意識は、若年層が「経営志向型」、中高年層は「生活志向型」と分類できます。

なお、いずれの年齢層も「サラリーマンに向いていないので」や「都会の生活が嫌になったから」といった消極的な理由の割合は低く、新規参入者は農業に積極的な意識を有しているといえます。

図表1 就農理由（複数回答）

（単位：％）

区分	全体	就農時年齢				備考
		29歳以下	30-39	40-49	50歳以上	
計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	
農業が好きだから*	22.0	29.7	21.6	14.7	24.7	全年齢層
自ら経営の采配を振れるから*	20.8	25.0	21.0	22.1	15.1	若年層
自然や動物が好きだから*	19.9	29.7	15.3	21.1	20.5	全年齢層
農村の生活が好きだから*	19.9	12.5	15.3	24.2	32.9	中高年層
食物の品質や安全性に興味があったから*	16.7	14.1	15.3	16.8	23.3	中高年層
有機農業をやりたいから*	15.3	14.1	14.2	18.9	15.1	全年齢層
努力の成果が直接みえるから	14.3	9.4	18.2	14.7	9.6	
家族と一緒に仕事ができるから	13.3	7.8	19.9	8.4	6.8	
時間が自由だから	9.4	14.1	4.0	15.8	11.0	
サラリーマンに向いていないので	8.5	6.3	9.7	8.4	6.8	
農業はやり次第でもうかるから*	8.0	15.6	7.4	6.3	5.5	若年層
子供を育てるには環境が良いから	6.3	4.7	9.7	4.2	1.4	
都会の生活がいやになったから	4.4	3.1	5.1	3.2	4.1	
以前の仕事の技術を生かしたいから	4.1	1.6	4.5	4.2	5.5	
その他	10.9	7.8	11.9	9.5	12.3	

注. カテゴリーの*印は、就農時年齢別にみた場合に特徴のあるもの。備考欄における表記は下記のとおり。

- ・若年層＝総じて若年層ほど割合が高いもの。 ・中高年層＝総じて中高年層ほど割合が高いもの。
- ・全年齢層＝各年齢層で割合が10%を超えているが、年齢による序列がないもの。

次に、就農地を選択した理由を見ると、「取得できる農地があった」が最も多く、4割近くの人がそう回答しています。続いて、「自然環境が良い」と「行政等の受け入れ・支援対策が整備」が約3割、「就業先・研修先があった」と「家族の実家に近い」が約2割を占めています。

図表2 就農地選択の理由（複数回答）

（単位：％）

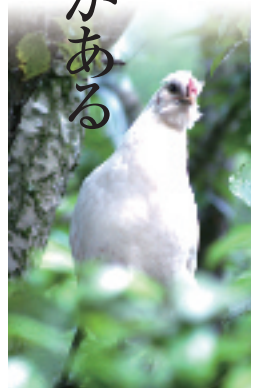
区分	全体	就農時年齢			
		都市的地域	平地農業地域	中間農業地域	山間農業地域
計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
取得できる農地があった	38.9	①39.5	①39.8	①43.7	③29.2
自然環境が良い	31.3	20.9	20.5	③35.8	①43.8
行政等の受け入れ・支援対策が整備	31.1	19.8	27.7	②37.1	②34.8
就業先・研修先があった	21.3	19.8	②33.7	15.9	20.2
家族の実家に近い	20.8	②26.7	③30.1	15.9	14.6
相談窓口の斡旋による	17.6	16.3	10.8	23.2	15.7
希望作目の敵地である	16.9	17.4	18.1	13.2	21.3
都市へのアクセスが良い	16.6	②26.7	22.9	11.3	10.1
その地域を以前からよく知っていた	11.5	8.1	18.1	9.9	11.2
営農指導体制が充実していた	6.8	7.0	9.6	3.3	10.1
その他	13.9	20.9	10.8	15.2	7.9

注. 表中の丸付け数字は、回答割合の高いものを示している。①は第1位、②は第2位、③は第3位を表す。

すべてをやる ところ

チヨツピリ価値がある

中村 顕治



紫 外線とはかなり怖いものであるらしい。肌を気にする女性だけの問題かと思っていたがそうではないらしい。専門家は「生後初めて日光を浴びた時から紫外線による影響で肌が老化する光老化は始まっている」とその危険性を指摘する。僕は百姓になって以後の数年間、わざわざ裸になって畑仕事をしていた。嬉しかった。オフィスは昼間も蛍光灯。そのサラリーマン生活が終わったのだということ、太陽を浴び、日焼けすることで実感したかったのだと思う。



今はシャツを着て畑に出る。老化や皮膚癌が怖いわけではない。あるとき女性に言われた。すっごいシミだね。見たことないでしょ、自分の背中。今度見てごらん、ヒドイから…。この言葉が妙にこたえた。それで裸はやめた。しかし今でも、工事現場の人のように日よけのタオルや帽子を使うことを僕はしない。顔や頭に何かが乗っていると風通しが悪い。風流、風雅とは風を友として暮らすところに生じる、そんな文章をいつか読んだが、そこまで難しく考えることはないにしても、やはり百姓は風と



光を友としてこそ百姓だ。明日の農作業のため夕方のテレビの天気予報は欠かせない。氣象予報士が言う。「明日は快晴。紫外線もたっぷり。お出かけの時には十分ご注意ください」。僕は苦笑い。オレは明日も畑にお出かけだ。たっぷり8時間は陽に当たるのだ…。

故 郷の保育園は海の隣にあった。夏にとなると先生が、ザルに入れたスモモを沖に向かって投げた。園児はもぐって拾った。スモモの摘果作業の季節になると、半世紀以上前のその出来事を、鼻に入った海水の匂いとともに僕は思い出す。

何 事であれ道を極めるには長い年月を必要とする。会社を辞めてすぐに植えたスモモの苗木が8メートルに達し、大きいことはいいことだと僕は喜んだ。サーカスもどきで腰に袋を下げて収穫した。園芸書での知識はあったが、手入れや収穫のため果樹は「低く、広く」が大切と実感するのは植えて十五年後だった。風害、病害に弱いスモモを健全に育てるには実と接触する葉や小枝を取り除き、



風通しをよくする必要がある、それを知るのにさらに数年を要した。今もその道のプロから見ると未熟もいところだろう。ただ少し言い訳もしてみる。オレは十種競技の選手なんだ…。走る、跳ぶ、投げる。専門家にはどれもかなわないが、すべてをやるいうところにチヨツピリ価値がある、面白味もあると。

果樹50種類、野菜100種類、それに養鶏。僕を究極のアマチュアと呼んだ人がいる。税務署にはちゃんと農家として税務申告してるぜ、などと腹を立てることはなく、むしろほめ言葉と受け取った。

蚕 にも桑にも縁がなかった海育ちの僕が、二階の屋根に届くほどの桑三本を育てているのもまた究極のアマチュアゆえであろう。その桑の実を懐かしいと言う人は多い。かつ、わが実の大きさ、甘さに驚く。彼、彼女が昔学校帰りにつまんだそれとはかなり様子が違うらしい。僕は学校帰りでなく仕事の合間に食べる。手にした「クワ」を投げ出し「クワ」を食べる。氣象予報士にはとてもお見せできないような強烈な太陽の下で。

紫外線? 大丈夫でしょ。桑はビタミンCとアントシアニンを豊富に含む。紫外線の害をこいつがちゃんと補ってくれ、などと勝手なことと思いつつ。

【なかむら・けんじ】
昭和22年山口県生まれ。33歳で築50年の農家跡に移住。現在は千葉県八街市在住。典型的な多品種少量栽培を実践。チャボを庭に放任飼育する。

「人エニ」 農業/お茶

実は、緑茶と紅茶、同じ木の葉!?

……中国原産で発酵により種類がきまる

緑茶と紅茶、色も味も香りも違いますよね。でも、同じお茶の木から作ることができるって、意外でしょう。お茶の木、中国原産の「ツバキ」に近い植物ですので、お茶のふるさと中国となります。日本には西暦800年頃、ヨーロッパには1600年頃伝に伝わりましたが、最初は緑茶でした。



紅茶が紅くなるのは、新芽の細胞が壊れて「ポリフェノールオキシダーゼ」という酵素が働いて、「テアフラビン」などと呼ばれる赤い成分がつくられるためです。緑茶の場合は最初に加熱するので、「ポリフェノールオキシダーゼ」を壊してしまうため、色が変わりません。紅茶のように酵素を働かせてつくるお茶を「発酵茶」、緑茶のように酵素を働かせずつくるお茶を「不発酵茶」と呼びます。ウーロン茶は緑茶と紅茶の間（半発酵茶）になります。イギリス人はウーロン茶を参考に紅茶を作ったようです。

西日本では、よく生垣などにお茶の木が植えられています。もし庭先にお茶の木があれば、是非、お茶をつくってみませんか。簡単なのは、電子レンジ緑茶です。両手いっぱいの新芽を摘んでキッチンペーパーの上に広げ、3分ほど電子レンジにかけます。外に取り出し、蒸気を飛ばし、水分を拭き取り、手でもみ込みます。水分が染み出してきたら、更に電子レンジにかけ水分を飛ばし、冷ましてから再び手でもみ込みます。これを繰り返して、きれいに乾燥したら緑茶の出来上がりです。お湯をそそぎ、いただきます。



紅茶が紅くなるのは、新芽の細胞が壊れて「ポリフェノールオキシダーゼ」という酵素が働いて、「テアフラビン」などと呼ばれる赤い成分がつくられるためです。緑茶の場合は最初に加熱するので、「ポリフェノールオキシダーゼ」を壊してしまうため、色が変わりません。紅茶のように酵素を働かせてつくるお茶を「発酵茶」、緑茶のように酵素を働かせずつくるお茶を「不発酵茶」と呼びます。ウーロン茶は緑茶と紅茶の間（半発酵茶）になります。イギリス人はウーロン茶を参考に紅茶を作ったようです。

さて、紅茶。こちらはすこし時間がかかります。天気の良い日に新芽を摘んで、風通しのよい室内で1日ほどおき、しおれさせます。これをミンサーなどで小さく砕いて皿などに広げ、お皿ごとビニール袋に入れて湿度を保ち、暖かいところに1〜2時間置きますと、葉が発酵をはじめます。発酵すると、緑から赤褐色になり、特有の香りが出てきます。これをキッチンペーパーにのせ、ホットプレートの上で11度、15分ほど乾燥させれば自作の紅茶の出来上がりです。このように同じお茶の木から緑茶も

紅茶もつくることはできますが、実際においしい緑茶には、渋みが少なく旨みが強い緑茶用の品種、おいしい紅茶には「ポリフェノールオキシダーゼ」の活性が強く発酵でよい香りが出る紅茶用の品種が必要です。このため、使い道にあわせ、日々、お茶の木の品種改良が行っています。



Presented by
2007年5月25日号掲載記事
就農希望者に役立つ情報満載
詳しくは裏表紙裏をご覧ください



文・農林水産省農林水産技術会議事務局技術安全課課長補佐 田中淳一
絵・筒井博子

馬産地だより



有限会社福田牧場
北海道浦河町 中川 阿哉子さん



馬といられるだけで幸せという中川さん

は交代で寝ずの番が必要になる。楽ではない。春の出産シーズン

もあつたが、いまや家族のような関係になつている。「長くて助かっていますよ」とは、牧場主の福田さん。生産牧場の仕事は決して

「もともと動物が好きだったんです。とくに馬が好きで、小さいころから競馬場で馬を眺めてきました。馬を見ていると飽きません」と、はにかみながら語る。ここに来るまでには、知り合いの、そのまた知り合いの……と、ツテをたどつた。

「もともと動物が好きだったんです。とくに馬が好きで、小さいころから競馬場で馬を眺めてきました。馬を見ていると飽きません」と、はにかみながら語る。ここに来るまでには、知り合いの、そのまた知り合いの……と、ツテをたどつた。

「もともと動物が好きだったんです。とくに馬が好きで、小さいころから競馬場で馬を眺めてきました。馬を見ていると飽きません」と、はにかみながら語る。ここに来るまでには、知り合いの、そのまた知り合いの……と、ツテをたどつた。

「もともと動物が好きだったんです。とくに馬が好きで、小さいころから競馬場で馬を眺めてきました。馬を見ていると飽きません」と、はにかみながら語る。ここに来るまでには、知り合いの、そのまた知り合いの……と、ツテをたどつた。



浦河町にあるJRA日高育成牧場。牧場の敷地面積は1,500ヘクタールを超える広大なもの。世界で勝てる馬づくりを目指して整備された若駒たちの鍛錬の場である。画面中央に写るのは直線馬場（練習コース）。写真には写っていないが、左手には傾斜地を利用して馬に筋肉をつけさせる坂路馬場もある

「もともと動物が好きだったんです。とくに馬が好きで、小さいころから競馬場で馬を眺めてきました。馬を見ていると飽きません」と、はにかみながら語る。ここに来るまでには、知り合いの、そのまた知り合いの……と、ツテをたどつた。

「もともと動物が好きだったんです。とくに馬が好きで、小さいころから競馬場で馬を眺めてきました。馬を見ていると飽きません」と、はにかみながら語る。ここに来るまでには、知り合いの、そのまた知り合いの……と、ツテをたどつた。

「もともと動物が好きだったんです。とくに馬が好きで、小さいころから競馬場で馬を眺めてきました。馬を見ていると飽きません」と、はにかみながら語る。ここに来るまでには、知り合いの、そのまた知り合いの……と、ツテをたどつた。

夏競馬 開催中！

7月29日…小倉記念・小倉競馬場
8月5日…関屋記念・新潟競馬場
8月5日…函館2歳ステークス・函館競馬場
8月12日…北九州記念・小倉競馬場
8月12日…クイーンステークス・小倉競馬場

8月19日…札幌記念・札幌競馬場
8月26日…新潟記念・新潟競馬場
8月26日…キーンランドカップ・札幌競馬場
9月2日…新潟2歳ステークス・新潟競馬場
9月2日…小倉2歳ステークス・小倉競馬場

協力：日本中央競馬会

林業ビジネスモデルを 考える日々

徳島県美波町 日和佐森林組合 正木 肇^{たかし}さん



「山の状態は常に変わりますから」と測量の重要性を説明してくれた正木さん。手にしているのはGPS（位置情報システム）の付いた測量機器



毎年6月ごろウミガメが産卵に来る海岸。日和佐の海は美しい

30代でかなえた
プロジェクトリーダーになる夢

正木肇さん（40歳）の子どもものころからの夢は「プロジェクトリーダー」になってバリバリと働き、大きなビジネスを動かすこと。だから大学を卒業して入った会社も大手IT企業。そして30代で夢を手に入れた。

ところが、夢が現実になってみると「違和感」を感じるようになった。

「こんな生活でいいんだろうか？ 自分はまだ独身だけれど、先輩たちを見ると健康や家庭を犠牲にして働いている。人生にとって大切なことってなんだろう？」

もちろん、ITはさまざまな面で社会に役立つ。社会に貢献しているというやりがいやおもしろみはあった。が、疑問は膨らみ、それを冷静に見詰めたとき「本当の豊かさを求めて田舎で暮らそう」という思いに至ったという。

「夏の下草刈り」体験が
就業判断の基準に

決断してからの行動は早かった。まず、生活基盤を確保するため、得意の情報収集と分析を開始。自然のなかで仕事をしたいという思いもあり、農林漁業の仕事を調べた。

「その結果、農業は資本や技術が必要、漁師にはかなりの体力が必要ということがわかったんです。自分にはどちらもなかった」

「では」ということで林業に的を絞り、



結婚前のデートスポットでもあった海岸のヤシの木

大阪で開かれた林業の就職フェア「森林の仕事ガイドダンス」へ。ここで、いまに至る直接的なきっかけとなる出会いに恵まれた。

「たまたまのぞいた徳島県のブースに、日和佐森林組合の前専務理事がいて、コンピュータ化を進めるために適した人材を探しているというんです。それで意気投合しまして」と、当手を振り返る。その後、話し合いは順調に進み、「働いてみないか」と誘いを受けた。

「林業に的を絞ったといっても、体力が続くかどうかわからないでしょう。そこで、いちばんつらい作業を体験させてくださいと申し出たんです」

組合が提示したのは夏場の下草刈り。体力的には「つらかったですね。日に日にへばっていくのがわかると、組合の人たちにもいわれました。でも体験をしてみても、これならば自分にもできる」という感触を得た。34歳のときだった。

林業のビジネスモデルをつくりたい

美波町は旧日和佐町と由岐町が合併してできた新しい町。太平洋に面した温暖な地で、青く美しい日和佐地区の浜はウミガメが産卵しにくることで有名だ。サーフィンをするために移住してくる人も多い。情緒ある古い町並みにはお遍路さんの姿も見かけられる。平地は少なく、そのため昔から林業が盛んに行われてきた。

林業に縁のなかった正木さんは、当初森林作業員として入ったが、日和佐森林組合に来て3年経ったとき、職員に「空き」ができた。ちょうど林業全体や環境問題、森林組合の抱える課題も見えてきて、前職の経験から組合の運営にも興味をもち始めた時期だった。「林業や組合を変えていこうという気持ちもありまして」と、職員になった理由を話してくれた。



正木さん夫妻と長女の彩月ちゃん

いまは技術主任。精度の高い最新のGPS（位置情報システム）を使って山の測量などを行っている。また、先進的な林業経営に取り組むほかの組合に学びに行くこともある。「組合の運営面では上との衝突もあります。あえて出る杭となつて頑張っていますが。なんとか利益を上げられる森林組合のビジネスモデルをつくりたいと思います」と、前職での経験がいきた発言も飛び出した。

「風の谷」に流れるゆるゆるとした時間

組合のなかで話していたときは「IT企業出身」という雰囲気をもとった正木さんだが、一歩外に出ると和やかな表情に。「ゆるゆると」と何度となく唱え、「まあ、ゆっくりしてゆっくりしてください。せっかく来たんだから」といって現在の住まいへと案内してくれた。

「私はロケハウス派、妻は古民家派なんですよねえ」と、話題は田舎暮らしや、こつちで知り合い結婚した妻、暁子さん（38歳）のことへと移る。いま住んでいる家を探すのは苦労したそうだが、組合から15分ほどで到着した民家は、それも報われたのでは？と思わせるほどのすてきな立地だ。緑の広場が南に向かって谷になり、その向こうには三角形に切り取られた空が見える。家はこの谷の脇に1軒だけ建ち、縁側を吹き抜けていく風が心地よい。

実は暁子さんも横浜出身のIターン者。二人の出合いは四万十川で行われた環境イベントだ。正木さんはカヌー講座の指

導員。暁子さんもスタッフとして参加していた。

暁子さんは若いころから地域の活性化や田舎暮らしに興味をもっていた。都市部に住む人と地域との橋渡しするNPO「地球緑化センター」を介し、日本一小さい村として有名な愛知県富山村に1年滞在し、役所の仕事をしていたこともあった。

いまは「こうぼうかぜのたに」を設けて、日和佐の自然素材をいかしたお土産を提案している。「松ぼっくりなどを拾ってきて、リースキットとして道の駅などで売っています。でも拾ってきたものが『売れる』という感覚は、地元ではなかなか伝わらなくて……。お土産としては売れる



「こうぼうかぜのたに」として道の駅などに出している暁子さんの「商品」（写真上）
右側の二つのリングが正木さん自作の結婚指輪。リングホルダーも正木さん作（写真右）



「風の谷」。手前の一角で最近野菜などを作り始めたという

んですよ」とほほ笑みながら暁子さんがいうと、正木さんが「後で案内しますよ」と、応援。その後、正木さんが木をくりぬいて作った結婚指輪やリングホルダーやなど、手づくりの品も見せてくれた。

工房の名前は「この家の立地にちなんでいる。『自分たちでここを『風の谷』と呼んでいたなら、いつの間にか郵便物もその名前で届くようになったんですよ」と、聞いていたところに、郵便局の赤いバイクが「ブーン」と、演出したかのようにジャストタイミングで登場した。

笑顔の正木さんから「ほら！」と渡された封筒には、「徳島県美波町・・・風の谷 正木暁子様」と書かれていた。



森 林組合ってどんな仕事をするのですかと、よく聞かれます。第一次産業のなかで、おそらく最もその内容を知られていないのが林業で、森林組合の役割や業務内容はほとんどの人が知らないのではないかと思います。

この質問を受けると「もつと林業や森林組合をPRしてくれる人を増やさないと」と感じますね。もちろん私もその役割を担っていかねければと思います。が、世間一般に対して発言力のある人がほとんどいないんです、この業界は。また、グローバルな視点を持った人も少ない。森林組合は組合の経営のことだけ、林学の学者は研究テーマのことだけ。環境学者にしてもそうです。林業と環境の両方を語れる人や、組合の経営と林学の両方を体系的に語る人材がこの業界には必要です。

理想から語ってしまいましたが、私自身、「山づくりをどうするか」といった、林学のなかでも技術的な問題を研究していたものの、森林組合がなにをやっているのかはよく知りませんでした。技術的に新しいトピックは、森林組合からは聞

こえてこなかったし、山林の所有者のための団体ではあるけれど、国有林や市町村有林などの公的な仕事も引き受けているところという程度の認識です。

ところが、学んだことを実地で行いたい、行政側からでなく地に足を付け地域から林業を変えていきたいと考えたと、逆に、「森林組合」という団体が大きな意味を持つようになったんですよ。

幸 い飯伊森林組合の組合長はとても理解のある方で、いままで学んできたこと、考えていたことを実践するため、組合の職員としていろいろなことに挑戦させてもらっています。

ご存知のように、森林組合は、組合員である山林の所有者から、将来木材となる木を育てるためのさまざまな管理を任されています。任されているとはいっても、枝打ちをするにしても、間伐をするにしても、組合員には費用が発生するので、そのつど許可や確認が必要となります。

昔は森林組合が「そろそろ間伐が必要」といえば「ああそうか」となったし、「枝打ちの時期だ」という森林組合からの打診に「枝打ちってなんですか」という質問が返ってくることはありませんでした。山主が、自分の財産である「山林」のことについてもつと興味をもっていたり、子どもたちと一緒に山に入り、木や山の説明をするのが普通だったからです。みな山の知識をもっていました。

ところが木材価格が下落した結果、山林をもつていてもお金にならないどころか、管理費だけかかる「負」の遺産とし

足元から地域の林業を変える

長野県飯田市 飯伊森林組合指導係
遠藤 寛子さん



トップランナーの視野

プロフィール

遠藤 寛子 (えんどう・ひろこ)

1975年静岡県伊豆市(旧修善寺町)生まれ。1993年日本大学経済学部入学。卒業後、造園業に就職するが2001年信州大学農学部3年次へ編入学。在学中は各所の林業地を熱心に訪れ、林業の生産技術について研究。同農学研究修士課程を終了後、飯伊森林組合へ就職。現在は林業普及に励む。

てとらえられてしまい、子どもに山林についての知識や、山林をもっていることを伝えたいという傾向になってしまったのです。

親心だから仕方がないとは思いますが、こうして山の知識をもたない組合員である山主が増えると、森林組合のほうで「なんのためにその作業が必要か」という説明から行わなければなりません。ところが森林組合は万年人手不足だし、説明を行うといっても、まさか組合員を呼び付けるわけにはいかないから、出向かなければならないでしょう。しかし、その営業的な費用はどこからも出ません。そんな理由から、森林組合には経営的に公共事業に頼らざるを得ない状況があるのです。

現

状を維持していくので精一杯という状況は理解できますが、こうした状況をいつまでも放置してはなにも変わらないのも事実。そこで山主や森林組合が置かれた困難な状況を打破するために考えられたのが「管理委託」と「経営委託」という枠組みで、現在この事業を担当しています。

「管理委託」は、組合員と森林組合で山の管理に関して契約を取り交わし、組合からは年次報告を提出します。それを見てもらえば、自分の山がどのような状況にあって、次にどのような管理が必要かわかるので、判断は組合員に任せます。現在この契約を交わしている組合員は、飯伊森林組合全組合員のわずか1%に過ぎませんが、少しずつ増えている状況です。もちろん、この数字は普段から

付き合いがあり、もともと林業や環境に関心の高い組合員の数ですから、これからの数を増やすのは大変だと思います。けれども組合員の意識は、地道な話し合いや説得でしか変えられないでしょう。

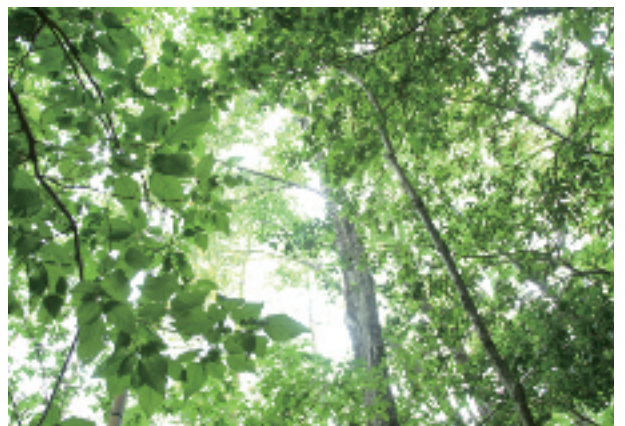
また「経営委託」というのは、その一歩進んだ段階です。いろいろなやり方があるのですが、「これ」という形になっていませんが、組合員から山を丸ごと預かり、森林管理に関しては伐採するまで全面的に任せていただくという方法です。管理料は無料にして伐採での利益をなんらかの形で分け合うというような仕組みをつくりたいと考えています。

信

州という「秘境」というイメージがありませんか。飯伊森林組合の管轄区域のなかにも、何時間も車を走らせなければたどり着けないような「秘境」がたくさんあります。そしてそういった場所にも組合員は任んでいます。

組合員全員にまんべんなく情報を伝えるのは難しいかもしれませんが、それでも森林組合が必要とされている限りは期待に応えたいし、期待されるような環境をつくっていききたい。

簡単ではないけれど、賛同者を増やしていけば、やがては大きな力になるのではないかと。そしてそれが「山ばかり」のこの地域に変化をもたらし、地域が存続していく方向性を示すのではないかと。さすがに泥くさいやり方だと自分でも思いますが、それがまた「私」のやり方なのだといまは思っています。



飯伊森林組合では観光客などを相手に、食べられる草や花を摘んで料理をする「摘み草クッキング」などのイベントを行い、森や森林組合の役割をPRしている

“いつかいけすを持つ” 夢に向かって修業中

鹿児島県 東町漁業協同組合所属
長元水産 富室 明登さん

出世魚の代表格、ブリ。成長に応じて変わる呼び名は、地方によっても異なる。ブリの水揚げで全国屈指の鹿児島県のなかでも、天草諸島に面した東町は養殖が盛んで「鯛王」ブランドの産地。身が締まっとうまいと評判のブリを育てる秘訣は、平均水温19℃という恵まれた自然環境だけではない。エサや管理の工夫、それに魚に対する愛情も必要だ。

やっぱり漁師になりたい！

「昔から泳いでいる魚を見るのが大好きで、水族館によく行ってたんですよ」と屈託のない笑顔で語る京都府出身の富室明登さん（22歳）。2年前にIターンで東町へ来た。

父の勧めもあって建築の専門学校に通っていたが、就職を前に漁師になりたいと、在学中の2005年、鹿児島県が主催する「ザ・漁師塾」の研修に参加。その年の研修地だった東町で、ブリ養殖を体験した。

初めて間近で見る養殖漁場。いけすに

エサを投入すると、それまで静かだった水面が突然、水しぶきを上げ始めた。お腹をすかせたブリたちが、一斉に食いついてきたのだ。小一時間ほどかけてエサを与えると、ブリも満腹になったのか水面は再び静けさを取り戻す。

「自分の与えたエサで、ブリたちが成長していくところにひかれましたね。育ててみたいと思いました。それに、魚を追う漁業に比べて、収入が安定していることも選択のポイントでしたね」

研修終了後、担当者に気持ちを伝えると、運よく求人募集していた長元水産を紹介され、無事採用が決まった。

天然の稚魚を探しに外海へ

ブリの養殖は、モジャコを捕るところから始まる。モジャコとは「藻についたジャコ（小さい魚）」、つまり藻に産みつけられた無数のブリの卵が孵化して棲みついたもの。モジャコ漁はこの藻ごと捕獲する漁だ。春先の約1カ月が解禁期間。

06年4月、漁師として第一歩を踏み出



1袋 10kgの飼料をか
ついで船上を移動。



8m×8mのいけすの中に2000～2500匹のブリが泳ぐ。
ここに攪拌したエサを機械で投入する



「自宅でも金魚のエサやりしてますよ」
と笑う富室さん

した富室さんは、モジャコ船（9トン）に乗り込んで、東町から数百km離れたトカラ列島や屋久島まで漁に出た。

「暖流と寒流の境にできる潮目に沿って、列になって浮かんでいる藻を、乗組員たちの視力を頼りに探すんです」

見つけたら、長い竿に取り付けた網を使ってすくい上げ、モジャコだけをより分けて水槽に入れる。この作業が早朝から夕方まで続く。湾内の海と違って外海での漁は波が高く、富室さんは初めて船酔いを経験した。

「先輩漁師たちがテキパキと仕事をこなしているなかで、何をやったらいいかわからなくて、自分は役に立っていないと感じたのが、なによりつらかったですね」
モジャコ漁は行き帰りも含めて3〜4日で、それを数回繰り返す。夜は近くの港に船を着けるが、寝泊りは船の中。富室さんは、先輩漁師とともに、波の音を聞きながら眠った。

毎日のエサやりが実を結ぶ

モジャコ漁から戻ると、毎日のエサやりが重要な仕事となる。1gに満たないモジャコを、2〜3年かけて5〜10kgのりっぱなブリに育て上げるためだ。

エサは、冷凍したイワシやサバと、栄養のバランスを考えて漁協が独自で開発した飼料を混ぜてつくる。

「配合の割合は、魚の大きさや体調、それに水温や潮の流れを見て決めています」

最初は先輩漁師から量の目安を教わったが、あとは自分が毎日エサやりをするなかで経験を積み、感覚を磨いて、適量

がわかるまでになった。

いまでは、長元水産が所有する45台のいけすのうち8台を任せられ、毎日1万匹のエサやりをこなす。同時に、エサの食べ方や泳ぎ方を見て、病気にかかっていないかチェックするのも大切な仕事だ。

さらに、新人の役目として、早朝5時からすべてのいけすを見回り、ブリが死んでいたら、その死骸取りをする。出荷がある日はこれに水揚げ作業も入る。特に年末は需要が高まるので大忙しとなるが、自分の育てたブリが正月の食卓を飾ると思うと、やりがいを感じる。

そのためにも、毎日のエサやりといけすの見回りが欠かせない。就業は月曜から土曜となっているが、休日も自主的にいけすに足を運ぶ。ブリが気になって仕方がないのだ。一緒に暮らす彼女には少しさびしい思いをさせているが、それも将来の独立を考えれば理解してもらえない。

「いつか自分のいけすを持つ」

その夢がかなうまでは修業期間。毎日の地道な努力が、夢を現実にする。

「ザ・漁師塾」2007年度版

鹿児島県が、漁業就業希望者や漁業に興味をもつ人向けに開いている講習会で、以下の2種類がある。

①入門研修

実施期間：2日間（7月と11月に予定）

対象者：漁業就業希望者が漁業に興味のある方

募集人数：30名

研修内容：1日目…座学

2日目…定置網の漁業体験

②実践研修

実施期間：1週間以内

対象者：漁業就業希望者

募集人数：10名

研修内容：実際の漁労作業のなかで漁業技術等を習得

●問い合わせ先

鹿児島県水産振興課

TEL 099 (286) 3437

毎日エサやりをしながら、ブリの体調をよく観察する



港から養殖漁場までは、船で約5分



エサとなる冷凍イワシは1ブロックが15kg



冷凍イワシと飼料を攪拌機で混ぜてエサをつくる



トップランナーの視野

かつて、海の色が変わるほどニシンの大群が押し寄せていた北海道日本海沿岸・留萌管内。ニシン漁で富を手にした漁業経営者は長者番付にも名を連ねるほどで、海沿いには「ニシン御殿」が建ち並び、出稼ぎも含め大勢の漁師たちであふれかえっていました。

しかし、地域を潤したニシンは、1954年を最後にぱったりと捕れなくなりました。はっきりした原因はわかっていませんが、乱獲や自然環境の変化が影響しているのでしょう。借金を抱えたまま多くの漁業経営者が手を引いていくなかで、希望の光となったのがホタテ養殖です。

8〜9名の漁師が始めたホタテ養殖は、養殖施設が沖に流されるなど多くの苦労があったようですが、試行錯誤の末、安定的に出荷できるようになり、いまでは北海道のホタテ種苗の生産を代表する地域となっています。「捕る漁業」から「つくり育てる漁業」へ、うまく転換できた結果でしょう。

世界規模で水産資源の減少が危ぶまれるなか、漁業も「いかに、つくり育てて

漁業を軸に、まちを活気づける

北海道留萌市・小平町 新星マリン漁業協同組合専務理事 小河 守さん



プロフィール

小河 守 (おがわ・まもる)

1950年、北海道小平町生まれ。1974年当時の小平漁協に就職して以降、地域漁業の発展のために尽力、とりわけ漁家経営の効率化に努めてきた。1994年小平漁協専事に就任し、留萌漁協との合併で2003年より新星マリン漁業協同組合専務理事に。「まだ誰もやっていない新しいことにチャレンジしていきたい」といろいろな策を練るアイデアマン。留萌管内お魚普及協議会会長という立場からも、漁業発展に力を注ぐ。

「漁師を支えるのは漁協の役割」という強い使命感のもと、会議や挨拶回りで多忙な日々を送る小河守さん

いくつか」を考える時代になっていると思います。

漁業の活力を維持するためには、漁師という職業に魅力がなければなりません。収入を増やすことも、その一つです。

新星マリン漁協では、今年4月から、車で2時間半の距離にある旭川市内のスーパーと契約。漁協所属の刺し網漁船2隻が毎朝水揚げするすべての漁獲物を買取り、直接販売する取り組みを始めました。

魚の運搬には、留萌で商品配達した後、旭川に戻るとこのスーパーのトラックを活用しています。輸送費節減になるだけでなく、「仲買↓小売」という流通ルートで店頭と並ぶまで一日半かかっていた時間を半日にまで短縮できます。運搬用の箱も、使い捨ての発泡スチロールではなくリサイクル容器を使用して、さらなる経費節減と環境保護に。もちろん、漁師の収入アップと安定収入につながります。

消費者には、水揚げしたばかりの新鮮さに加え、市価2割引きの安さ、それに漁獲量が少なくいままで取り扱えなかった魚種が店頭と並んでいることから、とても喜ばれているようです。

原油高の影響もあり、船の燃料費や漁獲物の運搬費など、漁業にかかる経費は年々上がってきています。そのような状況のなかで、少しでも経費を抑えて、漁師の収入が増えるように知恵を絞っていかねばなりません。

留

留管内ではホタテ養殖のほかに、ヒラメ、タコ、エビの漁が盛んです。2005年に設置された「留管内お魚普及協議会」では、これらの普及・宣伝のための活動をしています。昨年度は、刺身以外で食べることの少ないヒラメを、もっといろんな調理方法で食べてもらおうと、漁協女性部の協力を得て「ひらめ料理レシピ集」を作成し、道外からも好評を博しました。

今年度は、留萌のタコの知名度アップを目指し、北海道庁留萌支庁との共同で「タコ箱漁オーナー」を募集しました。これは、タコ箱1個を海へ2カ月間設置する権利を5千円で買ってもらい、期間中5回引き揚げたなかで、タコが入っていたら浜ゆでしてオーナーに送るといったものです。1箱1回の引き揚げあたりの確率は5〜20%と高くないのですが、50人の募集に対し、なんと全国から2万2千人以上の応募が殺到。急ぎよ、募集を100人に増やしたものの、220倍と高い競争率になりました。

抽選は、毎月、漁協主催で行っている産直市「うまいよるもい市」のイベントの一環として、タコルーレットという手法で行ったのですが、話題性もあって全国ネットのテレビでも紹介されました。これで、「留萌のタコ」の知名度も上がったかな。

漁師の収入を確保するためにも、消費拡大と魚価を高める取り組みは欠かせません。

全

国的に見ると、沿岸漁業ではほかの仕事との兼業も多いようです



タコルーレットを使った抽選の様子。水槽の中にセットしたタコ箱の中にタコが入ったら「当たり」

ホタテ稚貝は道内の他の地域に出荷され、成貝になるまで養殖される



海外からの研修生のもとへ自ら足を運んで耳を傾ける（写真右）

海岸に積んだタコ箱。1本のロープに50個をつなぎ、海中に沈める（写真左）

が、北海道では漁業専業で収入を得る人が多い。その分、規模も大きいんですけどね。しかし、漁師の数は減る一方で、60歳以上が3割超と高齢化が進んでいます。これは、まちの過疎化や高齢化とも重なります。

我がまちにとって漁業は重要な基盤産業ですし、そこに活力がなくなるとまち全体の活気がなくなってしまう。ですから、なんとか活気づけていこうと、人材確保にも力を入れています。今春から、沿岸漁業では初めて海外からホタテ養殖の研修生を受け入れています。

新規就業者については、過去3年間で道外からの1名を含む5名が、漁業の担い手として頑張ってくれていますよ。私たちが来てほしいのは「漁業一本でメシを食っていくんだ」という気構えのある人。その気概に対しては、きちんとフォローアップしていきたい。収入確保に向けた取り組みも、さまざまな角度から行っていくつもりです。

新

星マリン漁協は03年4月に留萌市と小平町の2つの漁協が合併して誕生しました。地名の入らない漁協は、全国でも例がないんじゃないかな。

新たな可能性を見つけ出すためには、範囲を狭く限定しないほうがいいでしょうね。よく官民協同といわれますが、官と民で助け合うだけでなく、漁業と農業、商業といった業界の垣根、ときには地域の垣根も越えた取り組みもおもしろい。漁業がそのリード役になって、地域を照らす「星」になっていきたいですね。

寄木細工はコミュニケーションツール

神奈川県箱根町 株式会社金指ウッドクラフト 清水勇太さん

国指定の「伝統的工芸品」 箱根寄木細工

箱根町は、東京から西へ約80kmいった神奈川県と静岡県の県境にあり、十数の温泉が点在する、有名な観光地である。
(株)金指ウッドクラフト(金指勝悦代表)



金指社長(右)に「ネリ」の作業を教わる清水さん(左)。積まれた木片(写真手前)が接着剤で重ねる前のパーツ

取締役)は、町の玄関口である箱根湯本駅から箱根峠・芦ノ湖方面へと向かう箱根新道の真ん中に位置する畑宿にある。東海道五十三次の小田原宿と箱根宿の間にある畑宿は、もともと木材の産地、江戸時代以前から木工を生業とする村人



寄木の枠のテレビ

<(株)金指ウッドクラフトの概要>

所在：神奈川県足柄下郡箱根町畑宿 135
TEL：0460 (85) 5567
事業内容：無垢の寄木細工の製造・通信販売
体験工房：コースターづくり/参加費 700円(材料費込み)
URL：http://www.kanazashi-woodcraft.com/

たちが多かったという。

ここで寄木細工が生まれたのは江戸後期。地場産業として栄え、徐々に衰退していったが、金指さんら木工職人の若手が先輩たちから学び、その技を受け継いできた。灯を絶やさずにきた結果、1984年に経済産業大臣により箱根寄木細工は「伝統的工芸品」に指定された。

やる気と根性を認められて入社

国内唯一の寄木細工産地として知られる箱根・小田原地区。このエリアに木工業を営む工場は100以上、寄木細工だけでなく何十種類もあるが、とくに畑宿は「寄木細工の里」として町営の「畑宿寄木会館」を構え、現在5軒の工場が切磋琢磨して技を磨いている。

高校まで新潟県柏崎市で育ち、東京の大学に入学した清水勇太さん(26歳)が畑宿を訪れたのは大学3年の冬。友人と旅行に来て、土産店で初めて寄木細工を目にした。「なんて不思議なものなんだろう」とずっと気になり、その2週間後に再訪、いきなり金指ウッドクラフトで「せ

ひ工場を見学させてください」と頼み込む。当時体験はやっていなかったが、見学だけでなく体験もさせてもらった。

その後も金指ウッドクラフトのイベントが催される場所にこまめに顔を出す。「遊びに来たふうを装いながら、実はアピールしにいったんですよ」

こうして親しくなっていくうちに、大学4年の夏休みに、住み込みの1カ月のアルバイトを頼まれる。内容は、社員も音をあげるような、炎天下のなかでの片付け作業だ。低い場所にもぐり込むのは背が高いだけにきつく、酷暑のなかで黙々と作業を続ける姿に「本当に『こいつ、すごいなあ』と思ったね。今の若いモンにしちゃあ、根性あるよ」と社長は感心した。

この底力が認められ、ついに「とりあえず、卒業したら来てみたら」と社長から声をかけられた。

職人氣質と雰囲気の良い職場

入社してから一番最初に覚えたのは「ネリ」という作業。同じ大きさの木片(パ



「モノをつくることは楽しいので、積み重ねていく（積層）作業だ。」

「モノをつくることは楽しいので、まったく苦労は感じませんね。大学時代にベール専門店でアルバイトしていたんですよ。きれいな形につくりあげることが楽しくて。職人気質がある自分に、そのとき気付いたのかもしれない」

そして、ガラス越しにお客さんが寄ってくるベール専門店と同様に、この仕事も思いのほか、お客さんと触れあう機会が多いことを知った。

「ショップに卸したり、デパートの催しで小売りをしたり、けっこう販売の部分も楽しいんですよ。職人は販売の現場とは無縁の感じがしますが、僕はかえって販売も経験できてうれしいんです」

一方、技術はというと、現在5年目を迎え、着々と実力を付けてきている。06年全国「木のクラフトコンペ」では特別賞を受賞した。社長の「毎日楽しく続けられるヤツがうまくなるんだよ」という



金指社長の作品（写真上）と、清水さんの作品（写真下）
寄木細工とは、違う色の木を寄せ合わせて模様をつくり、その無垢のブロックを薄く削って製品に貼り付ける「貼り」を指す。ただし、金指さんの手法はこのブロックをそのまま独自の技術で削って1個の立体製品（無垢）にするので、大量生産できないという。清水さんの作品もこの手法による

言葉を裏付ける功績だ。

では、ほかの社員の人たちにはどのように見えているのだろうか。

「この会社が初めての社会経験なわけだから、最初は『生意気だ！』といわれる場面も多かったですよ（笑）。でも、そのときに思ったことをいいあって、翌日にはお互いにケロリ。いまでは衝突が多かった分、工場の人とは仲良くやれていて、職場の雰囲気はとてもいいです」

職人の仕事場だからこそ、こだわりが強く、熱くなることもあれば、同じ技を極める者同士として無言でもわかりあえることがあるのだろうか。

地元根付いていつか独立を

大学4年の夏休みに住み込んだ家に、現在も住んでいる清水さん。移住して最初の社長命令は「消防団に入れ！」。これがかきつけで、地域の住民に顔と名前を覚えてもらった。



小田原・箱根地域の寄木細工の将来を担う若手職人5人のグループ「雑木囃子」。左が清水さん。互いに切磋琢磨し、毎年、新作発表の展示会を開催している

<神奈川県産業技術センター工芸技術所の概要>

所在地：神奈川県小田原市久野 621
TEL：0465 (35) 3557

事業内容：(社)箱根物産連合会（同施設4階）など、県内の木工芸品、木製品業界などに対して「ものづくり支援」、「研究開発」、「人材育成」などを展開。産地技術者育成支援事業では、木象嵌、漆器（塗師）、挽物（ろくろ）などを実施。

URL：<http://www.pref.kanagawa.jp/osirase/06/1825/index.html>
<http://www.kanagawa-iri.go.jp/kougei/>



「消防団って助ける側のイメージだけど、じつは助けてもらってばかり。飲みに連れていってもらったり、夕飯のおかずをおすそわけしてもらったり」

もちろん、寄木組合や、箱根物産連合会の人たちにも可愛がられている。社長の築いた地盤があるおかげで、地元の人間でなくとも「金指さんの所の人なら…」とすんなり信頼を得ることができた。職人同士の結束は固いが閉鎖的でなく、風通しがいい産地だと社長はいう。

「職人の世界の『盗む』って言葉は好きじゃない。聞けばいいんだ。おれだけでなく、地元の現役職人が元氣なうちになんでも教われればいい」と金指さん。寄木を継いでくれる人がいるのはうれしいが、伝統はただ受け継ぐだけでだめだと熱く

語る。「こいつは聞く耳をもっているんだよ。いままで職人でメモをとるヤツなんかいなかったからな。そして長所は考える能力があること」と誇らしげだ。

畑宿は、伝統工芸である寄木細工の保護・育成のために、特別工業地区に指定されている。寄木細工の作業は騒音が出るため、これから新たに工場をつくる場合は、この畑宿地区にしか建てられない決まりがある。寄木細工で独立するならば、この地区以外では無理ということだ。

「この土地の人を好きになったから、独立するならこししか考えられません。観光客と接する機会の多い箱根の土地柄をいかし、たくさんの方の『思い出』の一端を担いたい。寄木細工は僕のコミュニケーションツールですから」

「農」のある暮らしを サポート

愛知県豊田市 農ライフ創生センター



耕耘機の操作に懸命に取り組む。下山研修所の山間営農科の実習

「田舎暮らし」が夢

ここは豊田市下山区（旧下山村）。山間にこだまするように、耕耘機の音と大勢の人の声が響いていた。豊田市農ライフ創生センターの下山研修所・山間営農科の研修生たち11人の元気な声である。

この日は、週1回（半日）の研修日。野菜（ナスなど）の栽培管理を教わった後、耕耘機の使い方の授業が行われた。

市内に住む女性は、山間営農コースの2期生。その前は、同センター（本所）の果樹科コースを2年間経験した「転科生」。市街地暮らしから山間地に移住して「田舎暮らし」をしたいという夢がある。この女性が「農」に出合ったのは、サツマイモの収穫体験。土に触れて作物を収穫することのすばらしさを体験した。5家族共同で民家を借り、期間限定で「田舎暮らし」を楽しんだこともある。住まいの隣に畑がある、そんな夢を実現するため、今、山間営農コースに通いながら、野菜づくりの研修に励んでいる。

農ライフ創生センターの活動

豊田市農ライフ創生センター（本所・豊田市四郷町）は、定年退職者などを「生きがい型農業」の担い手として育てるための研修事業（農作物栽培技術研修）を行っている。あわせて、研修修了者に対して農地を仲介したり、人手不足の高齢農家などに援農希望者としてあっせんしたりする事業を実施している。

同センターの活動は、2006年3月

に認定を受けた「農ライフ創生特区」の特例措置に基づいて行われている。

「農ライフ創生特区」の狙い

豊田市の「農ライフ創生特区」は、遊休農地を含む農地という「土地資源」と定年退職者などの「人的資源」とを結びつける「狙い」がある。定年退職者などが「生きがい型農業」の担い手になり、市民農園・家庭菜園に参加して、暮らしのなかに「農」を取り入れ、健康でいきいきと生活してほしいという「狙い」だ。

「農ライフ創生特区」の特例措置は、①市民農園の開設者の範囲拡大（市町村やJAに限られていた市民農園の開設を、民間の農地所有者もできるようにする）、②農地法の下限取得面積の緩和（旧豊田市の規定にある、新規就農者の最低面積要件40㎡を10㎡に引き下げる）、というのが大まかな中身である。

豊田市は、トヨタ自動車の企業城下町としての顔をもっているが、旧豊田市は総農家数4900戸、総農地面積3300畝の水田農業・兼業地帯という一大農業地帯でもある。トヨタ関連でも団塊世代の定年退職者が年2〜3千人は出てくる。一方で、農業従事者の高齢化が進んで、農地の遊休化が目立ち始めた。この2つの「人的資源」と「土地資源」を結びつけようというわけだ。

多様な農業研修コース

同センターの農作物栽培技術研修は、いくつかのコースに分かれている。

担い手づくりコースは、「農地をもっていないが農家になりたい」「農業である程度の収入を得たい」という人のためのコース。農作物の栽培技術の実技を中心に、2年間(週1回、午前中、年間40〜50回)研修する。そのほか、当番制の栽培管理作業などもある。修了者には、希望に応じて10ア以上の農地をあっせんする。また、果樹農家など援農先の紹介もする。

担い手づくりコースは、同センター(本所)に3科(畑科、田畑科、果樹科)、高岡研修所に1科(地産地消科)、下山研修所に1科(山間営農科)ある。定員は、各科とも12名。

同センターの畑科は、露地とハウスの野菜づくり。田畑科は、稲作と露地野菜づくり。果樹科は、豊田市特産のモモ、ナシ、イチジクづくりがメインだ。

高岡研修所は、JAあいち豊田所有の旧Aコープ店舗とバックヤードを賃借している。直売所への出荷である程度の収入を得たい人を対象にした「地産地消科」で、直売所での販売用や学校給食向けの野菜づくりを研修している。

下山研修所は、廃止された小学校校跡の校舎の一部を教室として利用している。山間営農科は、山間地域での営農や援農を希望する人が対象。水稲、野菜、小菊づくりの研修を行っている。

趣味の野菜づくりコースも

同センター(本所)の旬の野菜づくりコースは、小規模な市民農園・家庭菜園で自家用や趣味の野菜づくりをしてみた

い人が対象。春夏野菜科・秋冬野菜科の2科(定員、各科30人)に分かれ、各科とも約4カ月間の研修期間を設けている。下山研修所の育てて食べる体験コースは、米から五平餅、ハーブからハーブ茶、ソバから手打ちそばをつくる体験研修で、定員15人。5〜11月に7回開かれる。

研修修了者に農地あっせん

担い手づくりコースの修了者には、希望に応じて、農地10ア以上を仲介、あっせんしている。修了資格は、受講率8割以上で、市農業委員会が技量判定をする。

1期生の修了者(06年2月修了)31人のうち、農地所有者は7人(うち女性2人)だった。新規就農希望者18人(すべて男性)には農地398アを仲介した。2期生修了者(07年2月修了)36人のうち、農地所有者は10人(うち女性2人)。新規就農希望者20人(うち女性6人)には農地562アを仲介した。

ほかに1期生修了者の男性が市有地約3畝を借りて、ワイン用ブドウを試験栽培している。

また、研修を修了した新規就農者は、農機具を借り受けられる。利用料は、センター職員が運搬・操作指導を行うトラクター・コンバインが1日6千円。利用者が運搬・操作する田植機・耕運機などが1日2千円、草刈り機・背負い動力噴霧器が1日1千円だ。

同センターは、構造改革特区の特例措置を利用しながら、趣味の農業から生きている農業、直売所出荷で100万円程度を売り上げる農業、さらに専門的な農業、

これらの担い手を育てるといふ成果を期待されている。そして今、ここで生まれた新規就農者たちがセカンド・ライフとして「農」のある暮らしを実現しつつある。



旬の野菜づくりコースの授業(写真上)
山間営農科コース研修生の野菜畑(ナスなど)(写真左)



広い研修農場をもっている豊田市農ライフ創生センター(写真上)
廃校になった小学校校跡地の校舎の一部を利用する下山研修所(写真右)



ミツバチ君の情報伝達

……近くは円描き、特は8の字描いて歩く



みなさんは、ハチミツが好きですか。ハチミツは、ニホンミツバチ、セイヨウミツバチなどのミツバチがいろいろな花の蜜を集めて作ります。

ミツバチを飼育して蜜を集めることを養蜂といいます。日本では、明治時代から、輸入されたセイヨウミツバチを使つた養蜂がはじまり、専門にする人たちも数多く生まれました。養蜂業者は、花の季節にあわせ、日本列島を北上しながら蜜を集めていきます。春は、九州のナタネやレンゲに始まり、5月から6月には、本州を中心にニセアカシア、トチノキ、ミカンなどの木の花を、夏には北海道のシナノキやホワイトクローバーなどからの蜜集めが盛んです。さらに秋にはソバから蜜を集めます。

花の種類に応じて、蜜の色、味や香りが異なります。色は、ニセアカシア、ナタネやレンゲからの淡い黄色やシナノキからの、やや褐色から赤味がかつた色、ソバは黒味カラメル色です。

香りや味については独特なクセもあり、好き嫌いは人それぞれでしょう。ミツバチの集団は、1匹の女王蜂、数百の雄蜂、数千から数万の働き蜂からなります。このうち、蜜を集めるのは、働き蜂の役目です。働き蜂は、巣から数キロの範囲から蜜を集めるために花を探します。

ところで、ミツバチはつけた花の場所をどのようにして仲間伝えていくのでしょうか。実は巣箱の中に垂直に立ててある巣板の表面でダンスを踊り、花の

場所を仲間に教えているようです。花の場所が、巣から近いときには円を描いて歩き、遠いときには8の字を描いて歩きます。

また、踊りの途中で蜂が出す音の長さによって、距離を伝えるという研究成果もありません。一方、方向はダンスの向きによって伝え、蜜の量はダンスをする時間によって伝えられます。このようにして、ミツバチは効率的に蜜を集め、また、養蜂業者はミツバチの特性を巧みに利用してなり立っているのです



2007年4月27日号掲載記事
 Presented by 全国農業新聞
 就農希望者に役立つ情報満載
 詳しくは裏表紙裏をご覧ください

文・農林水産省農林水産技術会議事務局研究調査官 山中高史
 絵・筒井博子



ご存じですか？ “農業”インターンシップ

「インターンシップ」一もうすっかり定着した言葉ですね。アルバイトでもなくボランティアでもない、就業体験のことです。

高校・大学等の在学中に学生が就業体験することで、新卒者と受入企業とのミスマッチを少なくし、就職後の定着率を向上させる狙いがあります。また、より実践的な講義・講習の一環として研修を単位認定する大学等が増えてきていることから、インターンシップの受入、体験者ともに増加傾向にあります。

農業分野でも、全国農業会議所が平成11年度から農林水産省の補助を受けて、農業インターンシップを実施しています。農業法人は近年、農畜産物の生産・出荷にとどまらず、流通業界

との提携や自社での加工販売など事業が多角的になっています。なので、人事労務体制も整っている農業法人は、学生・社会人の「就職先」として注目されてきています。そのような農業法人で、短い期間といえども農業を体験することは、日本を担う若者にとって貴重な経験になるでしょう。

また、先進国のなかで極端に自給率が低くなっている日本の食料・農業事情について、その実態を見て体験することは重要です。

最近では学生のみならず、社会人からのニーズも高まってきています。そこで、昨年度からは社会人の方も農業インターンシップへの参加が可能となりました。

一方、受入先となる全国の農業法人

においても、適正チェックはもちろん、社員教育や学生の意見・考え方を経営にいかせることなどから、受入希望が多くなってきています。

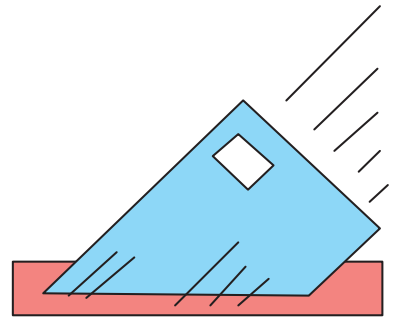
お申し込み方法は、申込書と誓約書を下記事務局まで郵送してください。なお、社会人の方は履歴書が必要です。申込書と誓約書は、http://www.hojin.or.jp/standard/i_inturn.html からプリントできます。

【学生の方】(社)日本農業法人協会
〒105-0001 東京都港区虎ノ門1-25-5
虎ノ門34 MTビル5階
TEL: 03-5156-0365
FAX: 03-5156-0366

【社会人の方】全国農業会議所
〒105-0001 東京都港区虎ノ門1-25-5
虎ノ門34 MTビル5階
TEL: 03(5251)3908
FAX: 03(3507)3081

農業インターンシップ実施要項

	学 生	社会人
応募資格	高校生・大学生・専門学校生などで、農業法人に就職意欲がある方、または農業に関心がある方、健康体の方	農業に関心がある方(年齢制限はなし) 体力に自信がある方
研修内容	全国の農業法人(約160社)のなかから希望する法人での就業体験。「受け入れ先の従業員やパートの方と一緒に農作業をする」ことにより、「農業法人に就職した場合」を体験してもらいます。 作目・地域・季節等によって異なるので、実際の作業等は受入法人の方針によります。 インターンシップ研修生のための特別な座学などはありませんので、自分から積極的に質問等をして、吸収してください。	
研修期間	通年のなかで希望する日から1週間～4週間(基本は2週間以上)の1週間単位	通年のなかで希望する日から1週間～6週間(基本は2週間以上)の1週間単位
経費	参加費は無料 宿泊費・食費は受入法人の負担 現地までの交通費は自己負担	参加費は1週間あたり1万円(宿泊費・食費の一部負担として)で3万円を上限とする。(研修期間が4週間以上の場合も総額3万円) 現地までの交通費は自己負担
傷害保険	保険料は自己負担(2週間で1,430円)	保険料は主催者側で負担
報酬	無報酬	
研修時間・休日	受入法人の就業規則による	
持参物	運転免許証(免許取得の方)、健康保険証(コピーでも可)、日用品、その他受入法人で異なります。	
守秘義務	農業法人も企業ですので、当然、企業秘密があります。修得した情報を安易に口外するのは避けましょう。申込書と一緒に誓約書を提出してもらいます。	
その他	住み込み(社宅等を含む)とします。食事での会話等を通して、農業経営者や従事者の話を聞き、日本農業の姿を知ってもらうのもこの制度の目的です。よって、研修先が自宅から通える距離であっても、自宅から通うことは認めません。	原則、住み込み(社宅等を含む)としますが、研修先が自宅から通える距離であれば通勤も可能とします。



Voice iju info

読者コーナー

農

林漁業に目を向ける機会に

東京都 平山好美さん 24歳
iju info、今回初めて入手、読ませていただきました。一度きりの人生なので、自分のやりたいことを実現できるように日々努力しています。そんな中、農林漁業についても目を向けることができる良い機会になりました。これからもより充実した誌面を楽しみにしています。

子

供達に手がかからなくなったらいつか自分も!

東京都 佐藤政永さん 35歳
山梨県北都市の安藤さんの記事に感銘を受けました。目標に向かって今、着実に一步を踏み出したところですが、現

実的には体験農園で学ぶのが精一杯です。子供達に手がかからなくなったら、いつか自分も…。向学心、向上心が衰えないようにしていかないといけませんね。

息

子が北海道で酪農ヘルパーをやっています

埼玉県 伊藤貞利さん 50代
毎回楽しみに読んでいます。息子が北海道の酪農大学に入って、酪農ヘルパーをやっています。将来は北海道で酪農をやる決意のようです。

ー

JUライフの難しさも取材されていて勉強になりました

岐阜県 M・Wさん 31歳
こんな情報誌がある、って初めて知りました。現在、サラリーマンの夫と暮らしていますが、いつか機会があれば田舎暮らしをしたいと、真面目に考えています。だからijuを知ってとても嬉しく思っています。JUライフの難しさもきちんと取材されていて勉強になりました。読んでいてJUターンの皆さんの熱い情熱もひしひしと伝わってきました。これからもijuを読んで勉強させていただきます!

や

ればやっただけ成果が生まれる

愛媛県 橘波千恵さん 58歳
種をまいて成長していく過程で世話をしやればおいしい野菜ができて、達成感が得られます。今、キュウリが楽しみです。がんばっておられる方の紹介記事、とても参考になります。

新

しい生き方は勉強になりました

埼玉県 鈴木敏夫さん 66歳
初めて読みました。農業・漁業の新しい生き方、勉強になりました。又アンテナショップも参考になりました。

表

紙の若夫婦一家の笑顔が素敵でした

東京都 黒田和子さん 50歳
表紙の若夫婦一家の笑顔がまぶしかったです。このような内容の無料誌が店頭におかれている事が意外でした。効果大な事を希望します。

農

業や漁業をやるのが人間としての役割

神奈川県 藺美智子さん 35歳
マスコミなどでマレーシアやオーストラリアでリタイヤしたら優雅な生活を送る特集をしているけれど、今の地球資源では、農業や漁業をやるのが人間としての役目だと、このijuを見て思った。特にいろいろなお説が紹介されているので役に立つと思った。



私

の実弟も漁業に情熱を注いでいます

東京都 今みほ子さん 63歳
前号では私の拙い文章を読者コーナーに掲載していただき大変有難うございました。連休に帰省し、知人、友人にまわし読みしてもらい、皆、素晴らしい本があると賞賛しておりました。尚、私の実弟も農林漁業(霞ヶ浦での漁業権を持っている)に情熱を注いでいるので、次号より送付して下さいようお願いします。

東

京生まれの私に地方の話は新鮮!

東京都 竹野比奈子さん 19歳
東京生まれ育ちの私には、地方はとても新鮮です。日本の原点でもある農林水産業がわかりやすく記載されていると思いました。今後も読んでみたいと思います。

農

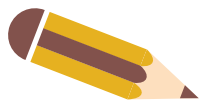
業一筋の両親は私の誇りです

東京都 平田裕美さん 25歳
私の実家は静岡でメロン農家をやっていますが、このマガジンを読んで、なんだか実家に帰りたくなったと同時に、農業一筋で頑張っている両親を誇りに思いました。ありがとうございました。

農

業生産法人の記事が楽しみです

北海道 五十嵐智さん 51歳
全国の農業生産法人の記事を毎号たのしみに拝読しています。興味深く、職務上大変参考になっています。



from Editor

1ターンし、これまで縁のなかった農林漁業を職業にするというのは、多くの人にとってかなり思い切りのいることだ。

実際に農林漁業を自らの仕事にした人々には、それを決断したターニングポイントがある。ターニングポイントは人それぞれ。

「教室内の熱気がそのまま自分の心のうちの熱気となり、思い切って一步を踏み出す勇気ときっかけを自然と与えてくれた」

「忙しさに紛れて思い出すことのできなかつた就農準備校の光景を思い出してみても、やはり、あれは紛れもなく、ターニングポイントだったと思います」

「就農してからも、様々な失敗を繰り返して、夫婦でめげてもおかしくない状況のあり、なんとかなる、必ずなんとかしてみせる、と自信を持って一步一步進むことができたのも、就農準備校で聞いたり、読んだりした参入者の成功事例や、農家の方の苦労話が心に残っていたからでもあると思います」

この言葉は、就農準備校の卒業生として取材した田中秀門さんから、取材を機に改めて農業を職業にしたきっかけや経過を思い起こし、取材を担当した佐藤亮子宛に頂いた手紙の一部だ。

会社の仕事に追われ、都会に暮らす当時の田中さんにとって、就農準備校は職業としての農業を知る唯一の場所だった。

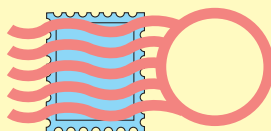
同じくこの号で取材した照沼勝一商店に就職した廣瀬将考さん

の場合は、職業としての農業を意識し始めてから実際に就業するまでに10年以上かかった。農業の実際についてなにも知らないのが不安で、ためらっていたからだ。廣瀬さんのターニングポイントは、茨城県にある日本農業実践学園だった。そこで1年間、農業の基礎を学ぶことを選択し、一步を踏み出した。

農林漁業に関心があるのなら、あまり深く考えず、気軽に体験ツアーに参加したり、短期の講座を受けることを勧めたい。情報誌やインターネットではわからないことが、肌で感じられることだろう。例えば、今号の「農林漁業へのファーストステップ」で紹介している就農準備校、林業就業支援講習、漁業チャレンジ準備講習会などがある。また、全国新規就農相談センターでは農業インターンシップや短期の農業体験、全国森林組合連合会は林業見学・交流ツアーを実施しており、都道府県レベルでもこれに類する体験ツアーや就業体験、基礎的な講座が数多く実施されている。大抵の場合、費用も実費程度だから負担も小さいし、期間も短く、休日や夜間を利用するものも多く、参加しやすく工夫されている。

こうしたことに参加することで、進むべき方向も見えてくるし、自身の適性も判断できるはずである。頭のなかのモヤモヤもスッキリするのではないだろうか。

職業選択のターニングポイントにならなくとも、大人の社会見学に参加した、社会人講座を受講したと考えれば、人生に新しいエッセンス、視点を加えてくれるだろう。 【編集部】



お便り大募集!

本誌の感想をはじめ、「農林漁業への就業」、「農業体験・農的生活」、「定年帰農・セカンドライフ」、「田舎暮らし・移住」などに関する体験談や意見を募集しています。農業・林業・漁業での感動秘話や思わぬ失敗談、お世話になった人への感謝のメッセージ、おもしろい仲間のエピソードなど、なんでもけっこうです。写真やイラスト(絵手紙含む)なども大歓迎! いろいろな投書を寄せてください。

掲載された方には
図書カード
を進呈いたします。

〒105-0001

東京都港区虎ノ門1-25-5 虎ノ門34MTビル5階

全国農業会議所「読者コーナー係」

Eメール: iju-info@web-iju.info

- 住所、氏名、年齢、電話番号、あればメールアドレスをご記入のうえ、ご投書ください。匿名希望の場合は、ペンネーム、イニシャル、名前のみなどのご希望をお書き添えください。
- 原稿、写真やイラスト(絵手紙含む)のご返却はできません。ご了承ください。
- 文章を一部、抜粋して掲載することがあります。あらかじめご了承ください。
- お寄せいただいた情報は、読者ページ(ホームページの同コーナーを含む)の掲載以外には使用いたしません。

水

「水」を大切にしたいですね

愛知県 近藤さとみさん 38歳

4月に農業関係の職場に異動し、貴誌を初めて目にしました。先日、信号待ちで、初夏の眩しい光を堂々と浴び、真直ぐ立っている収穫前の麦に目がとまりました。帰宅し夕食の支度をしながら「実るほど頭を垂れる稲穂かな」という句が頭に浮かび、日本人が謙虚であったのは、米を主食とした水稲文化の賜物であったのか、と考えさせられました。



段

段階的・試行的ターンの取り組みも取り上げてほしい

神奈川県 山口則彦さん 41歳

団塊の世代退職が取り上げられる中、貴誌でのさまざまなi-juターンの紹介はセカンドライフの参考になるものと思います。i-juユーザー希望者のためにも、段階的・試行的ターンの取り組みもこれらぜひ取り上げてください。



農地確保の方法から見た新規就農

農地の確保は就農にあたって多くの人が苦勞する課題です。全国農業会議所が行った新規就農者へのアンケート調査結果（平成13年度実施・回答413人）から就農時の農地確保の方法を紹介します。

就農時の農地確保の方法は、「借入」が61%と最も高く、次いで「農業公社の農地保有合理化事業」（21%）、「購入」（17%）と続きます。

就農時年齢別に見ると、「借入」と「農業公社の農地保有合理化事業」は若年層で高く、「購入」は中高年層で高くなっています。これは自己資金の差が表れていると考えられます。

農業地域類型別に見ると、農地価格の高い都市的地域では「購入」は6%に過ぎません。いずれにしても、就農時の農地の確保は、「借入」が主流になっています。

図表1 就農時の農地確保の方法（複数回答）

（単位：％）

区分		計	購入	借入	農業公社の農地保有合理化事業	その他
全体		100.0	16.6	60.8	21.1	9.3
就農時年齢	29歳以下	100.0	11.3	64.5	21.0	8.1
	30～39歳以下	100.0	10.1	68.5	23.8	4.8
	40～49歳以下	100.0	23.7	54.8	19.4	12.9
	50歳以上	100.0	27.8	47.2	16.7	16.7
農業地域類型	都市的地域	100.0	6.2	79.0	13.6	7.4
	平地農業地域	100.0	25.9	58.0	18.5	6.2
	中間農業地域	100.0	22.8	48.3	28.2	10.1
	山間農業地域	100.0	7.2	67.5	18.1	13.3
就農経過年	1・2年目	100.0	13.5	73.1	9.6	10.6
	3・4年目	100.0	13.3	57.0	26.6	7.8
	5年目以上	100.0	21.3	55.5	24.4	9.8

さらに、農地確保の方法のうち「購入」に着目し、その面積や価格の平均値を見てみましょう。

全体では、購入農地面積が98a、購入総額が720万円、10a当たり価格が146万円になっています。

特徴的な点としては、都市的地域は購入面積が36aと小さく、10a当たり価格は496万円と高いことが挙げられます。

図表2 就農1年目の購入農地の状況

（単位：a、万円）

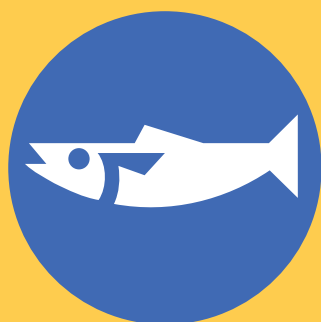
区分		平均値		
		農地面積	購入総額	10a当価格
全体		98	720	146
就農時年齢	29歳以下	153	673	57
	30～39歳以下	76	657	96
	40～49歳以下	101	656	144
	50歳以上	102	842	210
農業地域類型	都市的地域	36	1,130	496
	平地農業地域	86	807	106
	中間農業地域	120	624	86
	山間農業地域	95	540	127
就農経過年	1・2年目	99	473	66
	3・4年目	69	873	267
	5年目以上	108	739	126
就農1年目の中心作目	水稲	141	1,063	131
	露地野菜	91	737	234
	施設野菜	53	396	125
	花き・花木	76	541	106
	工芸作目	-	-	-
	果樹	86	588	94
	酪農	-	-	-
	採卵鶏	54	474	164

農林漁業就業 I・J・Uターンガイド



農業就業ガイド

林業就業ガイド



漁業就業ガイド

I・J・U
ターンガイド

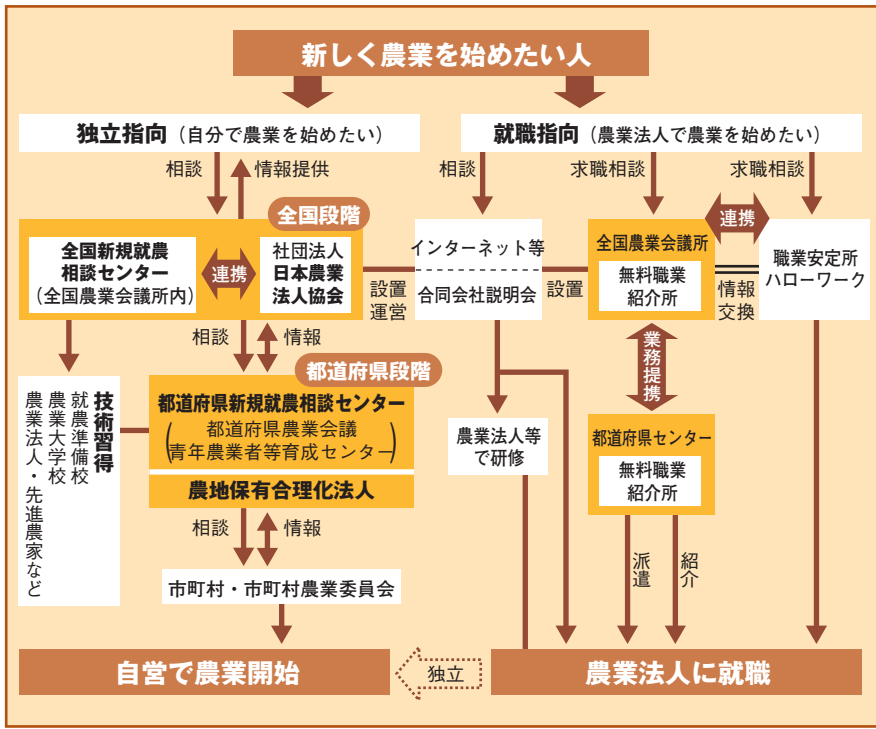


iju infoサポーター

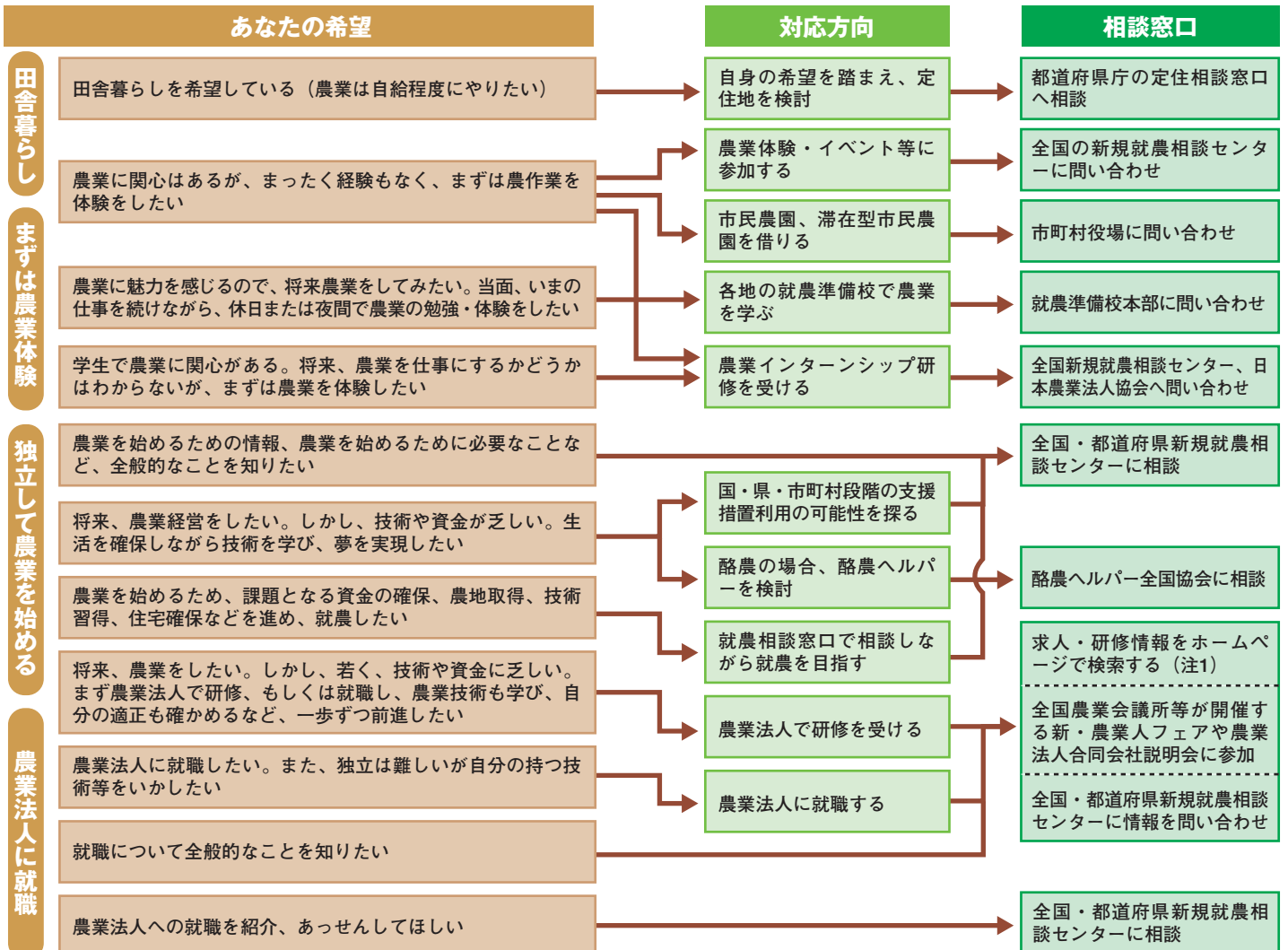
農業に就くには？

農業に興味があっても、非農家出身では、さまざまな不安を抱く人は多い。だが、農業をやったことのない人でも農地を取得して農業を始めることは可能だ。独立するだけでなく農業法人などに就職して農業を始めることもできる。そこで必要となってくるのが、農作業の体験が可能な団体や施設、農地を実際に買ったり借りたりする条件、移住先の空き家情報、農業法人などの求人情報だろう。農業に興味を持っている人や、自給自足をしながら地方に定住したい人は、就農までのイメージをつかむために、まずは全国・都道府県新規就農相談センターの相談窓口を訪ねよう。

就農までのフローチャート

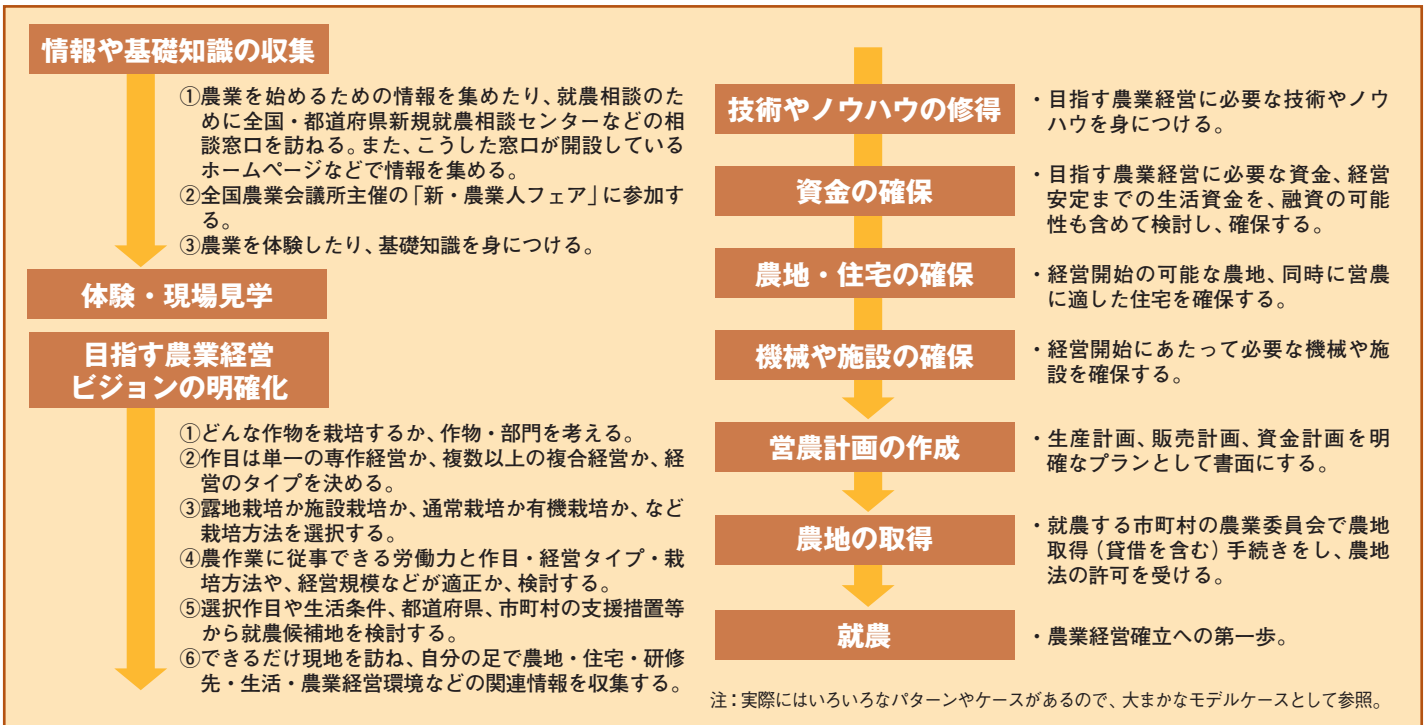


就農イメージと対応方向



注1: 求人・研修情報の検索 (<http://www.nca.or.jp/Be-farmer/>)

就農までの道すじ



都道府県新規就農相談センター

都道府県青年農業者等育成センター		都道府県農業会議	
指定法人	電話番号	農業会議	電話番号
(社) 北海道農業担い手育成センター	011 (271) 2255	北海道農業会議	011 (281) 6761 (直)
(社) 青い森農林振興公社	017 (773) 3131	青森県農業会議	017 (774) 8580 (直)
(社) 岩手県農業公社	019 (623) 9390	岩手県農業会議	019 (622) 5825 (直)
(財) みやぎ農業担い手基金	022 (264) 8238	宮城県農業会議	022 (275) 9164 (直)
(社) 秋田県農業公社	018 (884) 5512	秋田県農業会議	018 (860) 3540 (直)
(財) 山形県農業振興機構	023 (635) 0589	山形県農業会議	023 (622) 8716 (直)
(財) 福島県農業振興公社	024 (521) 9848	福島県農業会議	024 (524) 1201 (直)
(財) 茨城県農林振興公社	029 (239) 7131	茨城県農業会議	029 (301) 1236 (直)
(財) 栃木県農業振興公社	028 (648) 9511	栃木県農業会議	028 (648) 7270 (代)
(財) 群馬県農業公社	027 (251) 1220	群馬県農業会議	027 (280) 6171 (代)
(社) 埼玉農林公社	048 (558) 3555	埼玉県農業会議	048 (829) 3481 (直)
(社) 千葉県農業開発公社	043 (222) 9136	千葉県農業会議	043 (222) 1703 (直)
(財) 東京都農林水産振興財団	042 (528) 1357	東京都農業会議	03 (3370) 7145 (直)
(社) 神奈川県農業公社	045 (651) 1703	神奈川県農業会議	045 (201) 0895 (直)
(財) 山梨県農業振興公社	055 (223) 5747	山梨県農業会議	055 (228) 6811 (直)
(社) 岐阜県農畜産公社	058 (276) 4601	岐阜県農業会議	058 (268) 2527 (代)
(社) 静岡県農業振興公社	054 (250) 8991	静岡県農業会議	054 (255) 7934 (直)
(財) 愛知県農業振興基金	052 (951) 3626	愛知県農業会議	052 (962) 2841 (直)
(財) 三重県農林水産支援センター	059 (259) 0855	三重県農業会議	059 (259) 0860 (直)
(社) 新潟県農林公社	025 (281) 3480	新潟県農業会議	025 (223) 2186 (直)
(社) 富山県農林水産公社	076 (441) 7396	富山県農業会議	076 (441) 8961 (直)
(財) 石川21世紀農業育成機構	076 (257) 7141	石川県農業会議	076 (257) 7066 (代)
(社) ふくい農林水産支援センター	0776 (21) 5475	福井県農業会議	0776 (21) 0010 (代)
(社) 長野県農業担い手育成基金	026 (231) 6222	長野県農業会議	026 (234) 6871 (直)
(財) 滋賀県農林漁業後継者特別対策基金	077 (523) 5505	滋賀県農業会議	077 (523) 2439 (直)
(社) 京都府農業開発公社	075 (417) 6847	京都府農業会議	075 (441) 3660 (直)
(財) 大阪府みどり公社	06 (6266) 8916	大阪府農業会議	06 (6941) 2701 (直)
(社) 兵庫みどり公社	078 (361) 8116	兵庫県農業会議	078 (361) 8110 (直)
(財) 奈良県農業振興公社	0742 (22) 6148	奈良県農業会議	0742 (22) 1101 (代)
(財) 和歌山県農業公社	073 (433) 5547	和歌山県農業会議	073 (428) 4165 (直)
(財) 鳥取県農業担い手育成基金	0857 (26) 7276	鳥取県農業会議	0857 (26) 8371 (直)
(財) しまね農業振興公社	0852 (32) 2300	島根県農業会議	0852 (22) 4471 (直)
(財) 岡山県農林漁業担い手育成財団	086 (226) 7423	岡山県農業会議	086 (224) 2111 (代)
(財) 広島県農林振興センター	082 (541) 6185	広島県農業会議	082 (545) 4146 (直)
(財) やまぐち農林振興公社	083 (924) 8900	山口県農業会議	083 (923) 2102 (直)
(財) 徳島県農業開発公社	088 (621) 3083	徳島県農業会議	088 (621) 3054 (直)
(財) 香川県農業振興公社	087 (831) 3211	香川県農業会議	087 (812) 0810 (直)
(財) えひめ農林漁業担い手育成公社	089 (945) 1542	愛媛県農業会議	089 (921) 4438 (直)
(財) 高知県農業公社	088 (823) 8618	高知県農業会議	088 (824) 8555 (直)
(財) 福岡県農業推進機構	092 (716) 8355	福岡県農業会議	092 (641) 7590 (直)
(財) 佐賀県青年農業者育成センター	0952 (25) 7106	佐賀県農業会議	0952 (23) 7057 (直)
(財) 長崎県農林水産担い手育成基金	095 (895) 2935	長崎県農業会議	095 (822) 9647 (直)
(財) 熊本県農業後継者育成基金	096 (385) 2679	熊本県農業会議	096 (384) 3333 (直)
(社) 大分県農業農村振興公社	097 (535) 0400	大分県農業会議	097 (532) 4385 (直)
(社) 宮崎県農業振興公社	0985 (51) 2631	宮崎県農業会議	0985 (29) 6333 (直)
(社) 鹿児島県農業・農村振興協会	099 (213) 7222	鹿児島県農業会議	099 (286) 5815 (直)
(財) 沖縄県農業後継者育成基金協会	098 (866) 2280	沖縄県農業会議	098 (867) 7385 (直)



●新規就農希望者の相談窓口

農業を始めるための情報を集めたり、就農相談のために、全国段階および都道府県段階に「新規就農相談センター」という相談窓口がある。下記と左表参照。

全国新規就農相談センター
〒105-0001 東京都港区虎ノ門1-25-5
虎ノ門34MTビル5F 全国農業会議所内
TEL. 03 (3507) 3088 (相談用)
FAX. 03 (3507) 3081
<http://www.nca.or.jp/Be-farmer/>

林業に 就くには？

山や森で働きたいと思ったとき、現実的な選択肢として「林業の職に就く」ことが挙げられる。林業とは木材を採るために苗を植え、育て、伐採して収益をあげる事業だ。そして、貴重な森林資源を次の世代につなげていく仕事でもある。山林をもたない人が一から林業を始めることは、現実的には難しい。ほとんどの場合、森林組合や民間の林業会社で森林作業等に従事することになる。それには一定の技術習得が必要だが、そのための支援は、国や県や地域で用意されている。まずは林業労働力確保支援センターに相談してみよう。

林業就業ステップ

情報収集

- 全国森林組合連合会のホームページで、求人情報をチェックする。
- 全国森林組合連合会、都道府県林業労働力確保支援センターに電話し、説明会などの情報を問い合わせる。
- 国や民間で開催する「就職フェア」の林業コーナーで説明を聞く。
- 全国各地の森林組合に問い合わせる。
- 求人誌やハローワークなどの情報をチェックする。
- ☆都道府県林業労働力確保支援センターでは、随時相談を受け付けている。

行動を起こす

- 各都道府県の林業労働力確保支援センターに相談する。
- 全国森林組合連合会や地方公共団体などが行っている林業体験教室に参加する。
- NPOやボランティア団体などが行っている市民ボランティアに参加する。
- 希望する地域が絞り込めたら直接森林組合に足を運んで話を聞く。
- 採用してくれそうな経営体に、直接にアタック、応募して選考を受ける。
- ☆林業は、森林組合や民間企業に就職するのが一般的。

いざ、森林作業へ

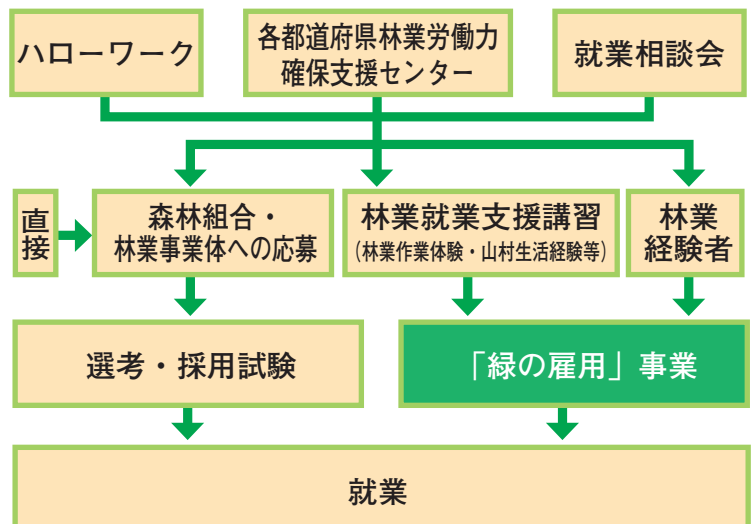
- 「緑の雇用」事業を利用し研修生になる。
- 森林組合や民間会社に就職。
- ☆「緑の雇用」事業は、国が行う林業本格就業前の1年間の研修。
- ☆森林組合とは森林の所有者が組織する協同組合のこと。
- ☆就職後に研修を受けることができたり、研修費用の補助が受けられる都道府県もある。

経験を積む

- 基幹的な林業従事者として、地域に定着して造林・間伐などの業務を身に付ける。
- ☆森林を育てるのは長い年月と膨大な費用がかかるため、独立は困難。森林組合や民間企業の中でステップアップしていく。



林業就職 活動フロー



※「緑の雇用」事業、「林業就業支援講習」は通年募集ではないため、詳しくは各都道府県の林業労働力確保支援センターに問い合わせを。

緑の雇用とは？

「緑の雇用」とは、林野庁の補助を受けて全国森林組合連合会が実施する「緑の雇用担い手対策事業」のこと。林業の仕事は、苗木の植え付けから木材の伐採まで、多様な技術を身に付ける必要がある。そこで森林組合等の林業事業者体採用された人々に対し、事業者体を通じて支援を行うものだ。支援を受けるには「ハローワーク、林業労働力確保支援センター、学校など公的機関を通じて森林組合などの林業事業者体採用された者」という条件がある。

林業を営む組織とその仕事内容

森林組合

森林組合は森林所有者の協同組織で、現在、全国に約800組合ある。組合員が所有する森林を中心に、地域の森林資源の管理・運営を行うため、造林・育林、伐採の作業を請負う。また、地域特産の林産物販売など、経営の多角化を図っている組合もある。

民間の林業会社

民間の林業経営体は、個人規模の林業を含め全国で280万以上ある。このうち、企業は約4万4000社。こうした企業に就職した場合は、造林や育林、林道などの環境整備、伐採等が仕事となる。また、木材の加工を専門に行う企業も林業に含まれる。

その他

農林水産大臣認定の資格となる森林インストラクターは、森林等に関する知識を広め、ガイドや野外活動の指導を行う。窓口は(社)全国森林レクリエーション協会。また、樹木医は農林水産省が認定した公益法人等が認定する公的資格。地域の樹木や樹林保護の研究や、診断・治療を行う。

●林業全般について情報を集める

林業労働力確保支援全国センター	電話番号	〒	所在地
全国森林組合連合会	03 (3294) 9713	101-0047	東京都千代田区内神田1-1-12コープビル

●地域の林業について情報を集める

都道府県	都道府県林業労働力確保支援センター	電話番号	〒	所在地
北海道	(社)北海道造林協会	011 (200) 1381	060-0004	札幌市中央区北4条西5丁目(道林業会館6F)
青森県	(社)青い森農林振興公社	017 (732) 5288	030-0801	青森市新町2-4-1(青森県共同ビル6F)
岩手県	(財)岩手県林業労働対策基金	019 (653) 0306	020-0021	盛岡市中央通3-15-17
宮城県	(財)みやぎ林業活性化基金	022 (217) 4307	980-0011	仙台市青葉区上杉2-4-46
秋田県	(財)秋田県林業労働対策基金	018 (864) 0161	010-0931	秋田市川元山下町8-28(県森連会館3F)
山形県	(財)山形県林業公社	023 (623) 3505	990-0044	山形市緑町1-9-30(緑町会館6F)
福島県	(社)福島県林業協会	024 (521) 3245	960-8043	福島市中町5-18(県林業会館内)
茨城県	(社)茨城県林業協会	029 (225) 5949	310-0011	水戸市三の丸1-3-2(県林業会館内)
栃木県	(財)栃木県森林整備公社	028 (643) 5330	320-0024	宇都宮市栄町5-7
群馬県	(財)群馬県森林・緑整備基金	027 (360) 6206	370-3503	北群馬郡榛東村大字新井2935
埼玉県	(社)埼玉県農林公社	0494 (25) 0291	368-0034	秩父市日野田町1-1-44(埼玉県秩父農林振興センター内)
千葉県	(社)千葉県緑化推進委員会	0438 (60) 1521	299-0265	袖ヶ浦市長浦拓2号580-148
東京都	(財)東京都農林水産振興財団	042 (528) 0643	190-0013	立川市富士見町3-81
神奈川県	(社)かながわ森林づくり公社	0465 (85) 1881	258-0021	足柄上郡開成町吉田島2489-2
新潟県	(社)新潟県農林公社	025 (285) 7711	950-0965	新潟市新光町15-2
富山県	(社)富山県農林水産公社	076 (441) 6747	930-0096	富山市舟橋北町4-19(県森林水産会館6F)
石川県	(財)石川県林業労働対策基金	076 (237) 0121	920-0209	金沢市東蚊爪町1-23-1
福井県	(財)福井県林業従事者確保育成基金	0776 (38) 0345	918-8567	福井市江端町20-1
山梨県	(財)山梨県林業公社	055 (230) 1400	400-0031	甲府市丸の内1-9-11(県民会館内)
長野県	(財)長野県林業労働財団	026 (225) 6080	380-8567	長野市大字中御所字岡田30-16(県林業センター内)
岐阜県	(社)岐阜県森林公社	058 (277) 1063	500-8384	岐阜市藪田南5-14-53(県民ふれあい会館9F)
静岡県	(社)静岡県山林協会	054 (255) 4485	420-8601	静岡市葵区追手町9-6(県庁西館9F)
愛知県	(財)愛知県林業振興基金	052 (953) 3608	460-0002	名古屋市中区丸の内3-5-16
三重県	(財)三重県農林水産支援センター	059 (259) 0855	514-1101	津市久居明神町2501-1
滋賀県	(財)びわ湖造林公社	077 (522) 8349	520-0807	大津市松本1-2-1(大津合同庁舎6F)
京都府	(財)京都府林業労働支援センター	075 (821) 9277	604-8424	京都市中京区西ノ京橋ノ口町123
大阪府	(社)大阪府木材連合会	06 (6538) 7524	550-0013	大阪市西区新町3-6-9
兵庫県	(財)兵庫県営林緑化労働基金	078 (361) 8010	650-0004	神戸市中央区中山手通7-28-33
奈良県	(財)奈良県林業基金	0742 (27) 4860	630-8301	奈良市高畑町1116-6(なら土連会館内)
和歌山県	(社)わかやま森林と緑の公社	0739 (83) 2022	649-2103	西牟婁郡上富田町生馬1504-1
鳥取県	(財)鳥取県林業担い手育成財団	0857 (28) 0121	680-0947	鳥取市湖山町西2-413
島根県	(社)島根県林業公社	0852 (32) 0253	690-0886	松江市母衣町55-4(松江商工会議所ビル6F)
岡山県	(財)岡山県林業振興基金	086 (225) 9382	700-0866	岡山市岡南町2-5-10
広島県	(財)広島県農林振興センター	082 (541) 6187	730-0051	広島市中区大手町4-2-16
山口県	(財)やまぐち森林担い手財団	083 (932) 5286	753-0048	山口市駅通り2-4-17(県林業会館内)
徳島県	(財)徳島県林業労働力確保支援センター	088 (622) 8158	770-0939	徳島市かちどき橋1-41(県森連内)
香川県	香川県森林組合連合会	087 (861) 4352	760-0008	高松市中野町23-2
愛媛県	(財)えひめ農林漁業担い手育成公社	089 (934) 6153	790-0003	松山市三番町4-4-1(県林業会館4F)
高知県	(財)高知県山村林業振興基金	0887 (57) 0366	782-0078	香美郡土佐山田町大平80(森林総合センター内)
福岡県	(財)福岡県水源の森基金	092 (712) 1443	810-0001	福岡市中央区天神3-10-25(森連ビル内)
佐賀県	(財)佐賀県森林整備担い手育成基金	0952 (25) 7133	840-0041	佐賀市城内1-1-59(県庁林業課内)
長崎県	(社)長崎県林業協会	095 (861) 5185	850-0063	長崎市飽の浦町5-3
熊本県	(財)熊本県林業従事者育成基金	096 (340) 1151	862-0950	熊本市水前寺6-5-19(県住宅供給公社ビル204号)
大分県	(財)大分県森林整備センター	097 (546) 3009	870-0844	大分市大字古国府字内山1337-15
宮崎県	(社)宮崎県林業労働機械化センター	0985 (29) 6008	880-0804	宮崎市宮田町13-16(県庁10号館)
鹿児島県	(財)鹿児島県林業担い手育成基金	0995 (54) 3131	899-5302	姶良郡蒲生町上久徳182-1
沖縄県	(社)沖縄県林業協会	098 (888) 0677	900-0024	那覇市字古波蔵112(雇用改善指導相談室)

森林作業 のサイクル

森林作業って実際、どんなことをやるんだろう？「枝打ち」や「下刈り」などは想像できて「間伐」といわれるとわからない人が多いのでは？ここでは、季節ごとに変わる作業の1年をわかりやすくイラストで紹介しよう。このなかで、植え付けと伐採は毎年行われるわけではなく、木を育てるための作業が森林作業のメインとなる。また、このほかに林道の整備や倒木の処理なども森林作業に含まれる。



① 植え付け

苗木を一本一本植え付ける作業。主に苗木の根が活動を始める春に行われる。植林は、将来の森林を育てるという意味でも、公益性の高い作業である。現段階では、すべて手作業によって行われている。



② 下刈り

梅雨から夏にかけて、苗木のまわりに生い茂る雑草を取り除く作業。木を健康やかに育てるためには欠かせない作業だが、夏の暑いなかで行うため体力を必要とする。主に刈払機を使って行う。



③ 除伐

秋は除伐作業と枝打ちの季節。除伐とは、植え付けた苗木の生長を妨げるほかの樹木や、雪で曲がったり途中で折れたりして健全に生長しそうな立木を取り除く作業のこと。



④ 枝打ち

より質の高い木材を生産するため、不要な枝を切り落とすのが枝打ち。太陽の光を充分に受け取ることができるようにするとともに、雑草を育て表土の流出も防ぐ不可欠な作業。



⑤ 間伐

木の密生を防ぎ、太陽の光を森林のすみずみまでいざわたらせ、健康な樹木が育つように間引きをする伐採を間伐という。枝打ち同様、長い時間をかけて栄養分を豊富に蓄えた表土が流されないようにするためにも重要だ。



⑥ 伐採（主伐）

住宅などの材料にする目的で、利用可能な大きさになった樹木を切り倒す作業。主伐ともいう。良質の木材を取獲するために、雨が少なく空気が乾燥している秋から春にかけて行う。



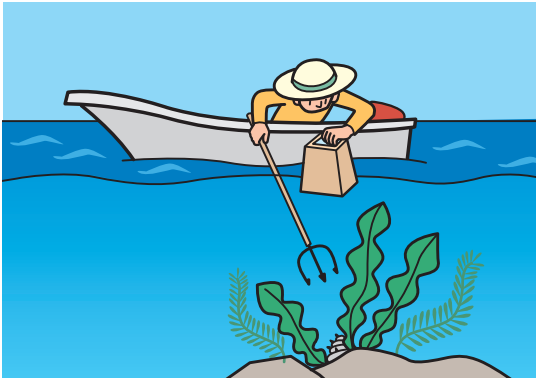
⑦ 集材・造材

間伐・伐採した樹木や造材した丸太を1カ所に集める作業が集材。造材は、間伐・伐採した木の枝を切り落とす「枝払い」と、決められた長さの丸太にする「玉切り」を行う作業を指す。チェーンソーを使って行われるほか、プロセッサなど大型の高性能機械を使うこともある。

代表的な漁法

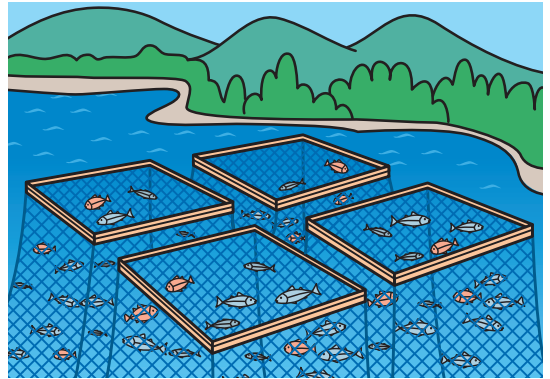
巻き網？ 刺し網？ 定置網？ 耳にしたことはあっても、実際どのような漁なんだろう？ ここでは代表的な漁法をイラストで紹介しよう。もちろん、漁法はこれだけではなく、マグロ延縄やカツオ一本釣りなど魚によって特定の漁法もあるし、地域ごとの伝統漁法もある。魚にさまざまな種類があるように漁もまた多くの方法が発達してきたのだ。

採貝・採藻



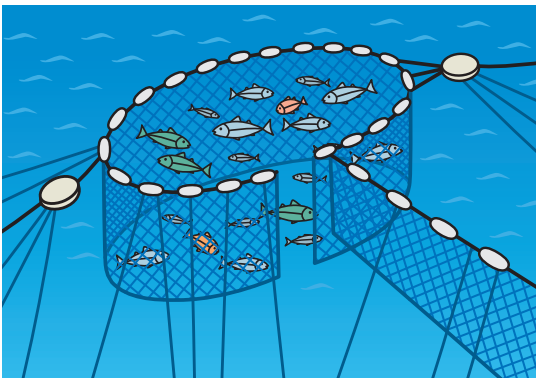
海に潜ったり、海底を探索したりして、貝や海藻を採る。場所や種類によってさまざまな方法がとられる。コンブなどの藻類やアサリなどの貝類を、かぎ、はさみ、鎌などの道具を使って採ったり、アワビやサザエなどを素潜りで採取する方法などがある。

養殖



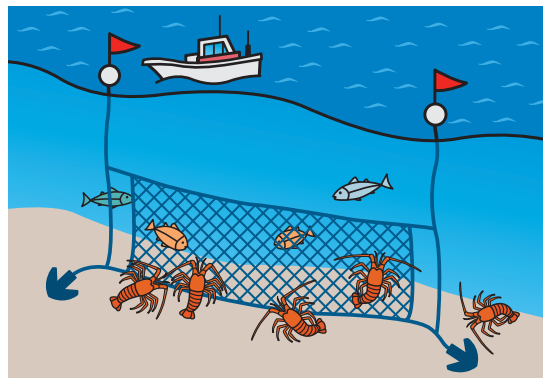
魚や貝、海藻をいけすなどに入れて、出荷可能な大きさに生長するまで人工的に育てる。海水での養殖は、ハマチ、カンパチ、タイ、フグなどの魚類、カキ、ホタテ、真珠などの貝類、海苔、ワカメ、コンブなどの藻類がよく知られている。他の漁業のように船に乗る危険はないものの、消費者の目が厳しくなるなか、品質管理などの努力を要する。

定置網



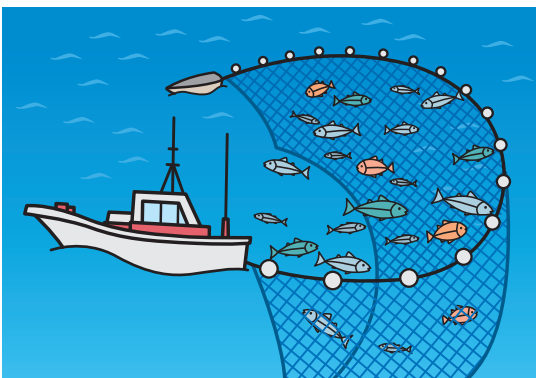
回遊する魚を海底に固定した網の中へ誘導して捕らえる漁法のこと。海中を泳ぐ魚は、定置網本体から外へ伸びた垣網にぶつかると、それに沿って囲い網に入り込む。サケ、ブリ、アジ、サバなどの回遊魚を捕るのに使う。大きく分類すると3種類あり、水深のあるところで広範囲に行う大型定置網、沿岸近くで行う小型定置網、北海道でサケ専門に行われるサケ定置網がある。

刺し網



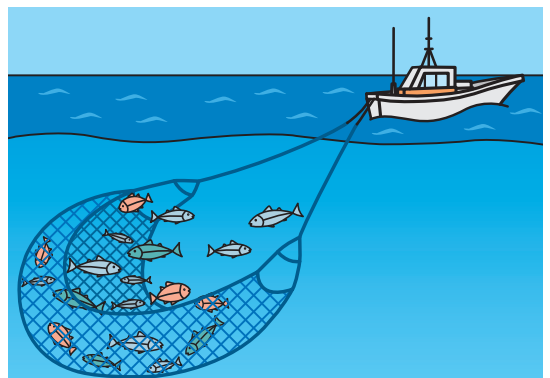
海中に網を張り、通過しようとする魚をひっかけ、絡め捕る漁法。魚の種類によって、網目の大きさや網を張る深さが異なる。タイやヒラメ、イセエビなどを捕ることができる。目印として海面に浮きや旗を立てておく。波などで見えづらいこともあるため、海面近くに設置されている場合には絡網しないよう注意が必要となる。

巻き網



魚の群れを見つけたら、網を張って囲い込み、底から網を絞るようにして漁獲する漁。魚群を探る探索船、網を積んだ本船、捕った魚を港へ運ぶ運搬船がチームとなって行う大がかりな漁だ。魚探などで魚群を探し出すと、投網から水揚げまで一連の作業を一気に行う。主にイワシ、アジ、サバ、カツオ、マグロなどを捕る。

底びき網



2本のひき網の付いた網を海底に沈め、船でひきながら、魚介類を捕る。ひき網を長くして、できるだけ広く網を張り、船の速度を落としてゆっくりと寄せながら魚介類を集めてひき揚げる。海底にすみカレイやヒラメ、貝類、エビ類を捕るための漁。主に2隻で行う沖台底びき網と1隻で行う小型底びき網がある。

漁業に就くには？

「漁師って憧れるよな」そんな気持ちに一度でもなったことがあるなら、漁師という職業をもっと身近に考えてみては？ 「漁師はツテがなければできない」とあきらめることはない。これまでまったく漁業に関係ない人生を歩んできた人でも、漁師になるチャンスはある。

そのサポートをしてくれる機関が全国漁業就業確保育成センターだ。これから漁師を目指す人に、必要な情報を提供したり、研修を行ったり、講習会を開いたりしている。一口に漁師といっても漁法や魚種は多種多様。まずは、全国漁業就業確保育成センターが発信する情報の収集から始めてみてはどうだろうか。

漁業

就業ガイド

まずは、情報収集

- ・全国漁業就業確保育成センターの…
 - ホームページを見る
 - パンフレットを入手する
 - 話を聞く
- などして、漁法や魚種、地域、漁業についてよく調べる。就業者の体験談なども参考にしながら、自分が目指す漁業を見きわめていく。沿岸漁業、沖合漁業、遠洋漁業はそれぞれライフスタイルが全く違うので、その点もよく考えよう。
- 全国漁業就業確保育成センター <http://www.ryoushi.jp/>

行動を起こす

- ・漁業チャレンジ準備講習会に参加する。
- ・漁業就業支援フェアに参加する。
- ・求人情報をあたる。
 - 全国漁業就業確保育成センターのホームページ、船員求人情報ネット、ハローワーク、就職情報誌などで探す。
 - 各地にある漁業就業確保育成センターや全国の漁協などに直接、問い合わせる。

沖合漁業・遠洋漁業

船に乗る

- ・漁業会社の乗組員としてスタート。甲板部か機関部の新人として働くが、いずれも中心となるのは漁労作業。
 - 甲板員は、漁労作業、船の運航保全、見張りなどを行う。
 - 機関員は、エンジンの操作、保守点検や修理などを行う。

まずは、船員としてキャリアを積み、必要な資格を取る

- ・船長や機関長になるには三級海技士の資格が必要。水産高校などを経ていない人も3年以上の乗船履歴があれば受験できるので、自分の目指す先を見きわめて勉強しよう。
 - 甲板員なら航海士の資格(海技士・航海)を目指して勉強しよう。
 - 機関員なら機関士の資格(海技士・機関)を目指して勉強しよう。

船のリーダーになる

- ・漁船の船団の最高責任者は漁労長。尊敬を込めて大船頭(おおせんどう)とも呼ばれる憧れのポジションだ。船長がその船の運航についてのみ指揮を執るのに対し、漁労長は漁の指揮、船の運航などすべてをとりしきる。最近では船長が漁労長を兼ねることが多い。

沿岸漁業

漁師になる

- ・個人経営の漁師の見習いや養殖業の新人として働く。
- ・定置網、巻き網、底びき網など比較的大きな船の乗組員として働く。

漁師のキャリアを積み、必要な資格を取る

- ・漁法や漁業技術はその土地により異なる。地域の漁業者としてキャリアを積もう。
- ・漁協の組合員になる要件を満たす。
 - 「年間90～120日以上漁業を行った実績」「その土地に定住して漁業を続ける意志がある」「漁協の理事会の承認」などがあるが、地域によって条件が異なるので、よく聞いて確認しよう
- ・必要に応じて船舶免許、漁業無線等を取得する。

独立して、自分の船を持つ

- ・船を持つには資金が必要だ。小さな船でも数百万円はするし、中古船を安く譲り受ける場合でも整備などに費用がかかるので、独立を目指すなら資金を準備しておこう。
- ・地域や漁業の種類によって、必要とされる知事の許可等を取得する。

漁業は大きく分けて3タイプ

日帰りの沿岸漁業

漁場

基本的に日帰りできる場所。「目の前の海で捕る」という、古くからあるもっとも一般的な漁業だ。

操業日数

日帰りだが、早朝に出航して昼頃戻ってくる漁や、夕方出て翌朝帰ってくる漁、あるいは昼間に行う漁など、操業時間帯はさまざま。魚に合わせて働く。

漁法

主な漁法は、定置網/中型巻き網/小型底びき網/養殖/一本釣り/刺し網/採貝・採藻だが、地域によってもさまざまな漁法がある。ほとんどの沿岸漁業者は個人経営で、従業員は家族の場合が多い。1~2名の乗船で外洋に出ないため、船は小さい。日本の漁師の85%が沿岸漁業者。

少し遠出する沖合漁業

漁場

日本近海の沖合いがほとんどだが、範囲は広い。港から数時間程度の近場もあれば、漁によってはロシア水域の一部にまで及ぶ。

操業日数

漁場までの距離や漁法、捕る魚によってかなり幅がある。巻き網漁が1~2日、イカ釣り漁で4~5日。底びき網漁は、日帰り操業もあれば2週間程度の操業もある。

漁法

主な漁法は、大中型巻き網漁/沖合底びき網漁/沖合イカ釣り漁/近海マグロ漁/近海カツオ漁/サンマ棒受網漁。比較的近場で操業する船は、人も食料も多くは積まないの、20~30トンくらい。何十日も外洋の荒波にもまれる船は、120~140トンになる。

地球の裏側まで行く遠洋漁業

漁場

赤道直下の太平洋からインド洋、ニュージーランドやアルゼンチン近海の南太平洋、さらには北大西洋からアフリカ近海まで、まさに世界の海が仕事場。

操業日数

漁場に到着するまで10日~1カ月かかる(船だけ先に行かせて漁師は飛行機で移動することもある)。一度出航すると、短くて1カ月、長ければ1年半は戻ってこない。定期的に近くの港に寄り、休養する。

漁法

主な漁法は、遠洋マグロ漁/遠洋カツオ漁/大型イカ釣り漁。「長い日数をかけても採算の合う魚」ということで、マグロとカツオが2本柱。長い航海で大量の魚を積み込むため、船は非常に大きい。遠洋マグロ船が200~500トン、遠洋カツオ船で400~500トン。

●漁業全般について情報を集める

全体的な漁業就業の相談窓口	電話番号	〒	所在地
全国漁業就業確保育成センター	03 (3585) 6319	107-0052	東京都港区赤坂1-9-13三會堂ビル8階(社) 大日本水産会内

●地域の漁業について情報を集める

地域	都道府県漁業就業確保育成センター	電話番号	〒	所在地
北海道	北海道漁業就業確保育成センター	011 (271) 5051	060-0003	札幌市中央区北3条西7丁目 水産ビル(社) 北海道水産会内
東北	青森県沿岸漁業就業確保育成センター	017 (734) 9593	030-8570	青森市長島1丁目1-1 青森県農林水産部水産振興課内
	青森県沖合・遠洋漁業就業確保育成センター※	0178 (33) 3314	031-0822	八戸市白銀町字三島下95 八戸水産会館3F 八戸漁業指導協会
	岩手県漁業就業確保育成センター	019 (629) 5817	020-8570	盛岡市内丸10-1 岩手県林業水産部水産振興課内
	秋田県漁業就業確保育成センター	0185 (27) 3003	010-0531	男鹿市船川港台島字鶴ノ崎16番地 秋田県水産振興センター内
	山形県漁業就業確保育成センター	0234 (24) 6161	998-0838	酒田市山居町2丁目14-23 山形県庄内総合支庁水産課内
福島県漁業就業確保育成センター	024 (521) 7377	960-8065	福島市杉妻町2-16 福島県農林水産部水産課内	
関東	茨城県漁業就業確保育成センター	029 (301) 4070	310-8555	水戸市笠原町978-6 茨城県農林水産部漁政課内
	千葉県漁業就業確保育成センター	043 (242) 6811	260-0026	千葉市中央区千葉港4-3 水産会館千葉県漁業協同組合連合会内
北陸	新潟県漁業就業確保育成センター	025 (243) 3681	950-0078	新潟市万代島4-1 新潟県漁業協同組合連合会内
	富山県漁業就業確保育成センター	076 (431) 9595	930-0096	富山市舟橋北町4-19(社) 富山県農林水産公社内
	石川県漁業就業確保育成センター	076 (234) 8818	920-0022	金沢市北安江3丁目1-38 石川県漁連内
	福井県漁業就業確保育成センター	0776 (24) 1203	910-0005	福井市大手2丁目8-10 福井県漁業協同組合連合会内
中部	静岡県漁業就業確保育成センター	054 (221) 2744	420-8601	静岡市葵区追手町9-6 静岡県農業水産部水産振興室内
	愛知県漁業就業確保育成センター	0533 (68) 5196	443-0021	蒲郡市三谷町若宮97 愛知県水産試験場企画普及室内
	三重県漁業就業確保育成センター	059 (259) 0850	514-1101	津市久居明神町2501-1(財) 三重県農林水産支援センター(組い手支援グループ)
近畿	和歌山県漁業就業確保育成センター	073 (441) 3000	640-8585	和歌山市小松原通1-1 和歌山県農林水産部水産課内
中国	鳥取県漁業就業確保育成センター	0857 (26) 7313	680-8570	鳥取市東町1-220 鳥取県農林水産部水産振興局水産課内
	島根県漁業就業確保育成センター	0852 (21) 0001	690-0007	松江市御手船場町575 漁業協同組合JFしまね内
	山口県漁業就業確保育成センター	0832 (31) 2212	750-0065	下関市伊崎町1-4-24 山口県漁業協同組合内
四国	香川県漁業就業確保育成センター	087 (832) 3472	760-8570	高松市番町4-1-10 香川県農林水産部水産課内
	高知県漁業就業確保育成センター	088 (821) 4828	780-0850	高知市丸ノ内1-7-52 高知県水産経営指導課内
	徳島県漁業就業確保育成センター	088 (621) 2474	770-8570	徳島市万代町1丁目1番地 徳島県農林水産部水産課内
九州	福岡県漁業就業確保育成センター	092 (643) 3560	812-8577	福岡市博多区東公園7-7 福岡県水産振興課内
	長崎県漁業就業確保育成センター	095 (824) 3624	850-8570	長崎市江戸町2-13 長崎県水産振興課内
	熊本県漁業就業確保育成センター	096 (356) 8551	860-0053	熊本市田崎2丁目5-31 熊本県漁業協同組合連合会内
	大分県漁業就業確保育成センター	097 (532) 6611	870-0021	大分市府内町3-5-7 大分県漁業協同組合内
	宮崎県漁業就業確保育成センター	0985 (28) 6111	880-0858	宮崎市港2-6 宮崎県漁業協同組合連合会内
	鹿児島県漁業就業確保育成センター	099 (286) 3426	890-8577	鹿児島市鴨池新町10-1 鹿児島県農林水産部水産振興課内
沖縄	沖縄県漁業就業確保育成センター	098 (866) 2300	900-8570	那覇市泉崎1-2-2 沖縄県農林水産部水産課内

※印は沖合・遠洋についてのみの問い合わせ先。

I・J・Uターニングガイド

このコーナーでは、Iターン、Jターン、Uターンし、地方で企業等への就職、農林漁業への就業、田舎暮らし（定住）を希望する人たちに、関連情報を提供する窓口を都道府県の主な主要都市ごとにまとめている。

農業・林業・漁業の就業関連情報、地元企業の求人情報の分類に分けて、窓口ごとに提供できる情報に●印をつけている。

身近にあるこうした窓口を積極的に活用して、情報を収集しよう。

最近、「自然や生き物が好き」「田舎に住みたい」といった人とともに、「農林水産業にビジネスチャンスを感じる」などという若者が増え、農林水産業が職業の選択肢の一つとして認知されるという動

きが出ている。また、Iターン・Jターン・Uターンして、地方の企業で働きたいという人も増えてきた。

これらの社会的ニーズに加え、今後は2007年以降『団塊の世代』約700万人が大量に定年に達する、いわゆる「2007年問題」を迎えたり、国民の食の安全や環境に対する関心の高まりから、都市から農山漁村への定住を求める田舎暮らしなどの傾向も強まっている。

また、05年3月に国土交通省が行ったアンケートでは、都市住民が都会での就業を続け、生活のかなりの部分を農山漁村で過ごす「二地域居住」という新しいライフスタイルのニーズが年々増加しているという結果も出ている。

地域に定住し就業するということは、同時に農山漁村に住み、暮らすことを意

味する。つまり地域社会の一員となり、例えば農業に就けば、農業用水などの利用・管理にともなう共同作業をし、定住すれば地域の伝統行事や冠婚葬祭などの習慣にも参加・協力する。隣人と触れ合い、情報交換することで地域社会にとけ込むことが大切になってくる。それは現代の都会人が、過去に置き忘れ、もつとも苦手にしてしまったことともいえる。そのためには、なんでも相談できる人をその地域内に確保することが大事になるし、地元住民とも積極的に付き合うことが重要となる。

こうしたことから、今後、多くの人がIターン・Jターン・Uターンすることによって、都市住民は「こころの時代」と呼べる多様なライフスタイルを農山漁村で創造することができ、農山漁

村側は地域コミュニティ活動や地域文化活動などの新たな担い手を得て活性化していくと思われる。これら双方のニーズをつなげることで新たな時代にあった社会をつくり上げることができらるだろう。



所在地

不二ビル8階 (財) 都市農山漁村交流活性化機構内
有楽町電気ビル 南館1F

都道府県会館15階
大阪駅前第1ビル
都道府県会館7階
大阪駅前第一ビル9階
南海東京ビル1階 いわて銀河プラザ内
大阪駅前第一ビル9階 岩手県大阪事務所内
岩手県庁2階
都道府県会館12階
都道府県会館7階秋田県東京事務所内
大阪駅前第1ビル9階
都道府県会館13階山形県東京事務所内
大阪駅前第1ビル8階

七十七ビル3階
セントラルビル3階
都道府県会館13階 山梨県東京事務所内
大阪駅前第3ビル21階 山梨県大阪事務所内
東京富山会館ビル5階
近畿富山会館3階
都道府県会館14階
住友生命御堂筋ビル2階
中日ビル4階 石川県名古屋事務所内
都道府県会館10階

都道府県会館12階
表参道・新潟館ネスバス2階
県庁労働雇用課内
都道府県会館13階 静岡県東京事務所内
アスト3階
京都テルサ西館3階
神戸クリスタルタワー12階
都道府県会館12階
都道府県会館10階
大阪駅前第3ビル22階
福島ビル1階 にほんばし島根館内
島根ビル2階 島根県大阪事務所内
ごうぎん広島ビル3階 島根県広島事務所内
都道府県会館10階 岡山県東京事務所内
岡山県産業ビル4階 岡山県大阪事務所内
虎ノ門琴平タワー22階 広島県東京事務所内
大阪駅前第1ビル8階 広島県大阪情報センター内

日本橋プラザビル1階 おいでませ山口館
阪神産経桜橋ビル2階 山口県大阪事務所内
都道府県会館14階 徳島県東京事務所内
徳島ビル4階 徳島県大阪事務所内
都道府県会館9階
大阪駅前第1ビル7階
都道府県会館11階
肥後橋センタービル1階
都道府県会館11階
大阪駅前第1ビル9階
都道府県会館14階
大阪駅前第1ビル8階

銀座熊本館内
大阪駅前第3ビル21階
新西銀座ビル8階
大阪駅前第3ビル21階
福岡天神センタービル10階
都道府県会館15階
大阪駅前第1ビル9階 宮崎県大阪事務所内
千代田ビル9階 かごしま遊楽館
千代田ビル9階 かごしま遊楽館
大阪駅前第1ビル9階11号 鹿児島県大阪事務所内
大阪駅前第1ビル9階11号 鹿児島県大阪事務所内
博多ビル8階 鹿児島県福岡事務所内

●道府県I・J・Uターン就職情報等提供・相談窓口

地域	団体名	農業 就業 情報	林業 就業 情報	漁業 就業 情報	定住 情報	地元企 業求人 情報	電話番号	
全国	ふるさとプラザ東京	全国のグリーンツーリズム(ふるさと体験)情報提供					03-3548-2310	東京都中央区八重洲1-5-3
	ふるさと情報プラザ	全国の自治体観光パンフレット等の提供					03-3284-0855	東京都千代田区有楽町1-7-1
北海道	北海道IJU(移住)情報センター	●			●	●	03-5212-9210	東京都千代田区平河町2-6-3
	北海道東京事務所大阪支所	●			●	●	06-6344-4151	大阪市北区梅田1-3-1-900
青森県	青森県東京事務所	●			●	●	03-5212-9113	東京都千代田区平河町2-6-3
	青森県大阪情報センター	●			●	●	06-6341-2184	大阪市北区梅田1-3-1-900
岩手県	岩手県Uターンセンター	●			●	●	03-3524-8284	東京都中央区銀座5-15-1
	いわてUターンセンター	●			●	●	06-6341-3258	大阪市北区梅田1-3-1-900
	(財)ふるさといわて定住財団	●	●		●	●	019-653-8976	盛岡市内丸10-1
宮城県	宮城県東京事務所内東京情報センター				●	●	03-5212-9048	東京都千代田区平河町2-6-3
秋田県	Aターンプラザ秋田				●	●	03-5251-9115	東京都千代田区平河町2-6-3
	秋田県大阪事務所				●	●	06-6341-7897	大阪市北区梅田1-3-1-900
山形県	山形県Uターン情報センター	●	●	●	●	●	03-5212-8996	東京都千代田区平河町2-6-3
	山形県大阪事務所	●	●	●	●	●	06-6341-6816	大阪市北区梅田1-3-1-800
福島県	ふるさと福島就職情報センター					●	03-3545-6140	東京都中央区銀座4-14-11
群馬県	ぐんまUターンコーナー	●	●			●	03-3231-4836	東京都中央区京橋1-1-5
山梨県	ふるさと山梨就職相談室	●	●		●	●	03-5213-2890	東京都千代田区平河町2-6-3
	ふるさと山梨就職情報コーナー	●				●	06-6344-5961	大阪市北区梅田1-1-3
富山県	富山県東京Uターン情報センター					●	03-3816-1655	東京都文京区白山5-1-3
	富山県大阪Uターン情報センター					●	06-6445-2811	大阪市西区靫本町1-9-15
石川県	石川県Uターンサポートセンター	●	●	●		●	03-5212-9016	東京都千代田区平河町2-6-3
	石川県大阪Uターン相談室	●	●	●		●	06-6363-3077	大阪市北区西天満4-14-3
	石川県名古屋Uターン相談室					●	052-261-6067	名古屋市中区栄4-1-1
福井県	福井県東京事務所	●	●	●	●	●	03-5212-9074	東京都千代田区平河町2-6-3
	福井県大阪事務所	●	●	●	●	●	06-6231-1024	大阪市中央区瓦町2-2-14
長野県	長野県東京Iターン相談室	●	●	●	●	●	03-5212-9187	東京都千代田区平河町2-6-3
新潟県	にいがたUターン情報センター	●	●	●	●	●	03-5771-7713	東京都渋谷区神宮前4-11-7
岐阜県	岐阜県労働雇用課					●	058-271-4135	岐阜市藪田南2-1-1
静岡県	静岡Uターン就職情報センター					●	03-5212-9035	東京都千代田区平河町2-6-3
三重県	おしごと広場みえ					●	059-222-3309	津市羽所町700
京都府	京の田舎暮らし・ふるさとセンター	●			●	●	075-682-1800	京都市南区東九条下殿田町70
兵庫県	ひょうご・しごと情報広場 若者しごと倶楽部					●	078-366-3731	神戸市中央区東川崎町1-1-3
和歌山県	きのくにUターンセンター	●	●	●	●	●	03-5212-9057	東京都千代田区平河町2-6-3
鳥取県	ふるさと鳥取Uターンコーナー(東京)				●	●	03-5215-5117	東京都千代田区平河町2-6-3
	ふるさと鳥取Uターンコーナー(大阪)	●	●		●	●	06-6455-0233	大阪市北区梅田1-1-3-2200
島根県	東京ふるさと定住・雇用情報コーナー				●	●	0120-60-2357	東京都中央区日本橋室町1-5-3
	大阪ふるさと定住・雇用情報コーナー				●	●	0120-70-2357	大阪市北区西天満3-13-18
	広島ふるさと定住・雇用情報コーナー	●	●	●	●	●	082-541-2410	広島市中区立町1-23
岡山県	ふるさと岡山就職相談コーナー	●	●	●	●	●	03-5212-9081	東京都千代田区平河町2-6-3
	ふるさと岡山就職相談コーナー	●	●	●	●	●	06-6261-3206	大阪市中央区備後町3-2-13
広島県	東京ふるさと就職情報コーナー					●	03-3580-0851	東京都港区虎ノ門1-2-8
	大阪ふるさと就職情報コーナー					●	06-6345-5821	大阪市北区梅田1-3-1-800
	ひろしま夢ぶらざ田舎ぐらし相談センター				●	●	082-544-1122	広島市中区本通8-28
山口県	ふるさと山口・東京Uターン相談コーナー	●	●	●	●	●	03-3231-1863	東京都中央区日本橋2-3-4
	ふるさと山口・大阪Uターン相談コーナー	●	●	●	●	●	06-6341-0755	大阪市北区梅田2-4-13
徳島県	徳島県Uターンコーナー(東京)	●				●	03-5212-9022	東京都千代田区平河町2-6-3
	徳島県Uターンコーナー(大阪)	●	●			●	06-6251-3273	大阪市中央区南船場3-9-10
香川県	香川県東京人材Uターン・コーナー	●				●	03-5212-9100	東京都千代田区平河町2-6-3
	香川県大阪人材Uターン・コーナー	●				●	06-6342-4855	大阪市北区梅田1-3-1-700
愛媛県	愛媛県東京事務所					●	03-5212-9071	東京都千代田区平河町2-6-3
	愛媛県大阪事務所					●	06-6441-2829	大阪市西区江戸堀1-9-1
佐賀県	佐賀県東京事務所	●			●	●	03-5212-9073	東京都千代田区平河町2-6-3
	佐賀県大阪事務所	●				●	06-6344-8031	大阪市北区梅田1-3-1-900
長崎県	長崎県東京事務所					●	03-5212-9025	東京都千代田区平河町2-6-3
	長崎県大阪事務所					●	06-6341-0012	大阪市北区梅田1-3-1-800
	長崎県地域振興部地域政策課	●	●	●	●	●	095-895-2243	長崎市江戸町2-13
熊本県	熊本県Uターン就職情報コーナー	●	●	●	●	●	03-3572-5022	東京都中央区銀座5-3-16
	熊本県大阪事務所	●				●	06-6344-3883	大阪市北区梅田1-1-3-2100
大分県	銀座おおいた情報館Uターンコーナー	●	●	●	●	●	03-6228-8770	東京都中央区銀座2-2-2
	大分県大阪事務所	●	●	●	●	●	06-6345-0071	大阪市北区梅田1-1-3-2001
	大分県福岡事務所	●	●	●	●	●	092-721-0041	福岡市中央区天神2-14-8
宮崎県	ふるさと宮崎就職相談窓口(東京)	●	●	●	●	●	03-5212-9007	東京都千代田区平河町2-6-3
	ふるさと宮崎就職相談窓口(大阪)	●	●			●	06-6345-7631	大阪市北区梅田1-3-1-900
鹿児島県	鹿児島県かごしま遊楽館	●	●			●	03-3506-9177	東京都千代田区有楽町1-6-4
	ふるさと人材相談室(東京)				●	●	03-3506-9177	東京都千代田区有楽町1-6-4
	鹿児島県新規就農大阪相談所	●				●	06-6341-5618	大阪市北区梅田1-3-1-900
	鹿児島県ふるさと人材相談室大阪事務所				●	●	06-6341-5618	大阪市北区梅田1-3-1-900
	鹿児島県新規就農福岡相談所	●				●	092-441-2852	福岡市博多区博多駅中央街8-36

アンテナショップの紹介

ここで紹介しているのは、道府県などが、東京などに開設しているアンテナショップ。

i j u info サポーターと称しているのは、本誌の展示・配布にご協力いただいているからだ。

地元の観光情報や特産品の展示や販売、ふるさとの味を食べさせてくれる飲食店に分類し、そのアンテナショップで提供しているものに●印をつけている。

I ターン、J ターン、U ターンを考えている地域のアンテナショップを訪ね、情報を集めたり、ふるさとの味を楽しもう。

住所

東京交通会館1階
北陸銀行ビル1階
ダイヤ八重洲口ビル1階
青森県会館1階
南海東京ビルディング1階
都道府県会館7階
虎ノ門三井ビル1階
東池ビル1・2階
出光ナガホリビル1階
七十七ビル3階 ふるさと回帰支援センター内
ニュー新橋ビル1階
都道府県会館11階 栃木県東京事務所内
日動八重洲ビル3階
日本橋プラザビル1階

東京交通会館2階

東京交通会館地下1階
東宝ツインタワービル1階
東京交通会館B1階
福島ビル1階
日本橋プラザビル1階
新橋マリンビル1・2階
カネシンビル1階

新宿サザンテラス内
千代田ビル1~3・9階
東京交通会館3階



やまがたプラザゆとり都

銀座線虎ノ門駅3番出口から徒歩1分。店内には、山形県の旬の特産品や工芸品を豊富に取り揃えています。また、そば処「出羽香庵」では、のど越し・香りともに最高の山形名物「板そば」をご賞味いただけます。お昼のランチに会社の帰りにお気軽にお立ち寄りください。

- 営業時間 10:30~19:30 (日・祭日は19:00まで)
- 休日 日・祝祭日・年末年始
- URL <http://www.mmy.ne.jp/yutorito/>

あおもり北彩館東京店

豊かな自然と伝統の技から生まれた、なつかしくもおいしい特産品や職人の情熱が生み出す工芸品を展示・販売しています。同じフロアには「青森県東京観光案内所」があり、ご旅行を考えられている方はぜひチェックしてください。また、定期的に青森の旬の物産イベントも開催しているので、何度お越しいただいても楽しめるショップです。

- 営業時間 9:00~19:00
- 休日 年末
- URL <http://www.aomori-bussan.or.jp/antenna/hokusaikan/index.php>

読者
プレゼント
コーナー

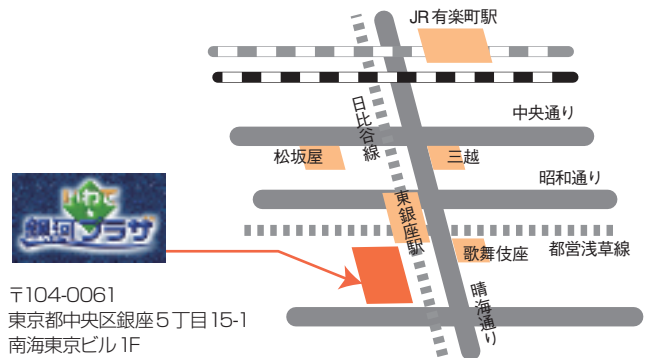
ココにあり！ ふるさとの逸品 岩手伝統の味！

「いわて銀河プラザ」は、銀座の歌舞伎座前！大人気の岩手特選弁当から伝統工芸品まで、ここでしか買えないものが



いっぱい。新商品や恒例の企画イベントは、ホームページで随時更新中。皆様のお越しを心よりお待ちしております。

今回は、岩手県白沢の味「南部せんべい」を5名の方にプレゼントします。食べた後も使えるかわいい缶入りです。ふるってご応募ください。



〒104-0061
東京都中央区銀座5丁目15-1
南海東京ビル1F
営業時間 10:30~19:00
<http://www.pref.iwate.jp/hp0401/>

応募方法：ハガキに、氏名、年齢、郵便番号、住所、電話番号、本誌の感想等をご記入の上、「iju info プレゼント係」(〒105-0001 東京都港区虎ノ門1-25-5 虎ノ門34MTビル5F 全国農業会議所)までお送りください。締切は9月18日(当日消印有効)。当選者の発表は、プレゼントの発送をもってかえさせていただきます。

●なお、応募ハガキのなかから、文章を抜粋して読者ページに掲載することがあります。その場合は住所(県名のみ)、氏名、年齢を掲載しますので、あらかじめご了承ください(プレゼント抽選の権利は失いません)。

地域	団体名	観光情報	地元産品 展示・販売	飲食	電話番号	
全国	むらからまちから館	●	●		03(5208)1521	東京都千代田区有楽町2-10-1
北海道	まるごと北海道物産本舗雷門店		●	●	03(3842)0510	東京都台東区雷門2-12-10
	北海道フーディスト八重洲店		●	●	03(3275)0770	東京都中央区八重洲2-2-1
青森県	あおもり北彩館東京店	●	●		03(3237)8371	東京都千代田区富士見2-3-11
岩手県	いわて銀河プラザ	●	●		03(3524)8282	東京都中央区銀座5-15-1
秋田県	秋田県東京事務所産業情報課	●	●		03(5212)9115	東京都千代田区平河町2-6-3
山形県	やまがたプラザゆとり都	●	●	●	03(3504)8711	東京都千代田区霞が関3-8-1
宮城県	宮城ふるさとプラザ「コ・コ・みやぎ」	●	●	●	03(5956)3511	東京都豊島区東池袋1-2-2
青森・岩手・秋田	青森・岩手・秋田 きた東北発見プラザjengo	●	●	●	06(6241)7144	大阪府大阪市中央区南船場3-4-26
福島県	ふくしまふるさと情報センター	●	●		03(3543)0333	東京都中央区銀座4-14-11
	いわき・ら・ら(いわき市東京事務所)	●	●		03(3592)2247	東京都港区新橋2-16-1
栃木県	とちぎ企業・観光誘致センター	●	展示のみ		03(5212)8715	東京都千代田区平河町2-6-3
群馬県	群馬観光物産プラザ	●	●		03(3231)4836	東京都中央区日本橋3-4-12
山梨県	富士の国やまなし館	●	●		03(3241)3776	東京都中央区日本橋2-3-4
福井県	ふくい南青山291	●	●		03(5778)0291	東京都港区南青山5-4-41
長野県	長野県東京観光情報センター	●	●		03(3214)5651	東京都千代田区有楽町2-10-1
新潟県	表参道・新潟館ネスパス	●	●	●	03(5771)7711	東京都渋谷区神宮前4-11-7
富山県	いさいき富山館	●	●		03(3231)5032	東京都千代田区有楽町2-10-1
石川県	加賀・能登・金沢江戸本店	●	●		03(3500)3883	東京都千代田区有楽町1-5-2
和歌山県	わかやま喜集館	●	●		03(3216)8000	東京都千代田区有楽町2-10-1
島根県	にほんばし島根館	●	●		03(5201)3310	東京都中央区日本橋室町1-5-3
山口県	おいでませ山口館	●	●		03(3231)1863	東京都中央区日本橋2-3-4
香川・愛媛県	香川・愛媛せとうち旬彩館	●	●	●	03(3574)2028	東京都港区新橋2-19-10
高知県	コウチ・マーケット	●	●		03(5565)1295	東京都中央区築地4-1-10-5
熊本県	熊本県東京事務所 銀座熊本館	●	●		03(3572)5022	東京都中央区銀座5-3-16
宮崎県	新宿みやざき館「KONNE」	●	●	●	03(5333)7764	東京都渋谷区代々木2-2-1
鹿児島県	かごしま遊楽館	●	●	●	03(3506)9177	東京都千代田区有楽町1-6-4
沖縄県	(財)沖縄観光コンベンションビューロー東京事務所	●	●		03(5220)5311	東京都千代田区有楽町2-10-1



熊本県東京事務所 銀座熊本館

熊本を感じるならココ！銀座熊本館は、熊本県の地元産品販売から観光情報・Uターン就職情報、イベントスペースなど多彩なサービスを提供しております。焼酎やお菓子の他、安全・安心な熊本産の農林水産物などの人気商品もずらり。産品を見ることで熊本の農林水産の今を感じる事ができます。場所は、銀座ソニービルの隣と分かりやすい所です。みなさん、来てはいよ～。

- 営業時間 10:00～19:00
- 休日 月曜日、年末年始
- URL <http://www.kumamotokan.or.jp/>

にほんばし島根館

本館では四季折々の島根の「旬」をいつでも体感できます！旬のものを提供し、全館通じて島根を体感できる空間としています。旬の県産品の紹介・販売、旬の海の幸、山の幸をふんだんに使った飲食メニューの提供、観光スポットや旅の相談からUターン情報まで幅広く紹介しています。日本橋三越正面に位置する便利なロケーションですので、ぜひ一度遊びに来て下さい！

- 営業時間 10:30～19:00
- 休日 年末年始
- URL <http://www.shimanekan.jp/>

(財)沖縄観光コンベンションビューロー東京事務所

財団法人沖縄観光コンベンションビューロー東京事務所は「南の島」の案内所です。観光ガイドブック・観光施設・ホテル等の資料を取り揃え、沖縄についてのご質問にお答えします。日本で唯一の亜熱帯の島“沖縄”独特の自然、文化、芸能の島人(しまんちゅ)が笑顔で貴方をお迎えいたします。

- 営業時間 9:00～17:30
- 休日 土、日、祝祭日、年末年始
- URL <http://www.ocvb.or.jp/index.php>

おいでませ山口館

山口館は、東京駅八重洲口から歩いて4分、高島屋日本橋本店の近くにあります。館内には、下関のふく、山陰のウニをはじめ、蒲鉾や外郎など、特色ある山口県産の食品や、全国に誇る萩焼、さらには、赤間硯や大内人形をはじめとする民芸品等を豊富に品揃えています。エントランスホールは、通常、コミュニケーションスペースとして開放していますが、「秋の萩焼まつり」、「福ふくまつり」、「涼味フェア」など、様々なイベントも開催しています。観光案内コーナーでは、首都圏の皆様様々な情報を提供しています。Uターン相談コーナーでは、山口県の最新の雇用情報の提供とともに、困窮世代のUターン相談も行っております。

- 営業時間 11:00～19:00
- 休日 年末年始
- URL <http://www.oidemase-t.jp/>

農林漁業就業・ふるさと情報

次号予告

2007 冬号 (2007 年 10 月下旬発行)



北陸地方の
IJU ライフ

送付のご案内 (無料)

「iju info」は季刊誌 (年4回発行) です。
1 月末、4 月末、7 月末、10 月末に発行いたします。
本誌は、お申し込み頂いた方に無料で送付いたします。
送付を希望される方は、本誌の WEB サイトからお申し込みください。

URL <http://web-iju.info/>
携帯 <http://web-iju.info/i/>

また、FAX もしくは郵送でのお申し込みも受け付けています。
郵便番号、住所、氏名、電話番号をご記入のうえ、下記まで送付ください。
ご登録頂いた個人情報は、「iju info」の送付以外には使用いたしません。
また、個人情報保護法に基づき、発行所である全国農業会議所が定める個人情報保護規程により適正に運用いたします。

【iju info】に関するお問い合わせ
全国農業会議所 iju info メディアチーム
〒105-0001 東京都港区虎ノ門 1-25-5 虎ノ門 34MT ビル
TEL. 03 (5251) 3907 FAX. 03 (5156) 0363



本誌は全国農業会議所もしくは全国新規就農相談センターに情報提供に関する登録をいただいた方に送付しております。

※全国農業会議所とは？

全国農業会議所は、市町村に設置されている農業委員会、都道府県の農業会議と併せて構成される農業委員会系統組織のナショナルセンターです。3段階とも「農業委員会等に関する法律」で定められた組織で、公職選挙法を準用した農業者の代表である農業委員を基礎として構成されています。

3段階の組織を通じて、農業者や地域の声を結集し、農地・構造・経営対策を積極的に推進することで、農業・農村の発展と農業者の経営確立、さらに社会・経済の発展をめざしています。

農業委員会系統組織は 1987 年度から農業内外からの新規就農希望者の相談活動に取り組んできました。

その就農相談の窓口として、農林水産省の支援を受け、全国農業会議所内に全国新規就農相談センター、都道府県農業会議内に都道府県新規就農相談センター (都道府県青年農業者等育成センターと共同窓口) を設置しています。

発行人／谷脇修
編集人／砂田嘉彦
プランニング／池田辰雄・富永章・中園良行
阿久津正・石井葉子・植田智己・碓水晴之・黒谷伸・白川智一・堀部篤・山村勝廣
取材協力／大浦佳代・神山安雄・佐藤亮子
発行／全国農業会議所 〒105-0001 東京都港区虎ノ門 1-25-5 虎ノ門 34 MT ビル
協力／都道府県農業会議
印刷・編集協力／株式会社丸井工文社 デザイン／有限会社アイランドコレクション
本誌に関するお問い合わせ TEL. 03 (5251) 3907

iju info は全国農業会議所の登録商標です。® iju info

全国農業

NATIONAL
AGRICULTURAL
NEWS

新聞

週刊 金曜日発行
月600円、年7,200円
(消費税込)

■購読の申込みは市町村農業委員会へお気軽に連絡ください。

■発行所
全国農業会議所
〒105-0001
東京都港区虎ノ門1-25-5
虎ノ門34MTビル
電話 03-5251-3910
ホームページ
<http://www.nca.or.jp/shinbun>

この国の
農と食を
伝えます。

全国農業新聞は農業者の
公的代表機関である
農業委員会系統組織が発行する
週刊の農業総合専門紙です。

農業者の視点でお届けします

- 1 特徴のある週刊新聞> 解説に力点をおいたニュース報道と企画編集
- 2 時代に鋭く斬り込む> 農政・農業・農村の動き、問題をタイムリーに
- 3 経営に役立つ> 経営者マインドと実務情報
- 4 喜びや悩みを共感できる> 読者の心に訴える
- 5 深みと味がある> 単なる情報で終わらない
- 6 読みやすく親しみやすい> 老若男女が楽しく読める



農業を通して独立することができました。



空気のきれいな場所に暮らすようになって、
家族が健康になりました。



夫婦で協力して作物を作る達成感は、
他の職業では味わえません。



夢・いのち・チカラ。
育むのは、



自然のなかで土いじりをしていると、心が安らぎます。



自然が相手の農業にはマニュアルがない。
だから毎日がおもしろい。



就農してはじめての出荷。
今でも忘れられない感動の出来事です。



農業を仕事にするための総合イベント

新・農業人フェア7

入場無料

入退場自由

服装自由

履歴書不要

家族・友人連れ歓迎

農業法人等合同会社説明会

農業法人等への就職希望者のために、従業員を募集している農業法人等経営者と面談できるブースを設置します。

新規就農相談会

都道府県ごとのブース、受け入れ希望市町村ごとのブースなどを設置し、農業を始めるための個別相談に応じます。

職業紹介・派遣登録

農業法人等への就職希望者のために、求人情報を提供します。また、派遣社員として働きたい方の登録を行います。

農業インターンシップ

農業法人で就業体験を希望する人(学生・社会人)のためのブースを設置し、相談に応じます。

田舎の農地利用相談会

田舎に所有する農地の利用方法など農地に関する様々な相談に応じます。

チャレンジ！ファームスクール

合宿形式による農作業実習の概要について説明します。

新規就農セミナー

農業法人への就職、新規に農業を始めるためのガイダンス、新規就農者、農業法人就職者による事例発表などを行います。

2007年度開催情報

開催時間 10:30>16:00

※札幌会場のみ17:00まで開催しております。

東京	池袋サンシャイン	展示ホールA2・3	2007年 6月 9日(土)
	池袋サンシャイン	展示ホールA2・3	2007年 9月 15日(土)
	東京しごとセンター		2007年 11月 17日(土)
	池袋サンシャイン	展示ホールA2・3	2008年 3月 15日(土)
札幌	ロイトン札幌	ロイトンホール	2008年 2月 16日(土)
大阪	梅田スカイビル	アウラホール	2007年 5月 26日(土)
	OMM	展示ホールA・B	2007年 12月 22日(土)
	梅田スカイビル	アウラホール	2008年 2月 24日(日)

お問い合わせ：全国新規就農相談センター

TEL.03-3507-3088

<http://www.nca.or.jp/Be-farmer/>

主催：全国農業会議所・全国新規就農相談センター・(社)日本農業法人協会・研修農場ネットワーク
後援：農林水産省・厚生労働省

田舎暮らしフェア

同時開催

10:30>16:00

※札幌会場のみ17:00まで開催しております。

セカンドライフとして田舎暮らしを希望する方のために、相談会やセミナーを開催します。

東京	池袋サンシャイン '07 9/15(土)	池袋サンシャイン '08 3/15(土)	札幌	ロイトン札幌 '08 2/16(土)	大阪	OMMビル '07 12/22(土)	梅田スカイビル '08 2/24(日)	※会場・ホールは「新・農業人フェア」と同様です。
----	----------------------	----------------------	----	--------------------	----	--------------------	---------------------	--------------------------